

子ども・子育て支援に関する
アンケート調査報告書

平成26年3月

本庄市

目 次

第1部 調査概要	1
1. 調査の目的	1
2. 調査の方法及び対象者	1
3. 調査の方法及び回収状況	1
4. 分析・表示について	1
第2部 調査結果報告	5
◆◆就学前児童保護者◆◆	5
1. 住まいの地域について	5
（1）居住地区	5
2. 子どもとご家族の状況について	6
（1）子どもの年齢	6
（2）きょうだいの人数	7
（3）調査票回答者	8
（4）調査回答者の配偶関係	8
（5）子育てを主に行っている人	9
3. 子どもの育ちをめぐる環境について	10
（1）子育てに日常的に関わっている人・施設	10
（2）子育てに影響する環境	10
（3）子どもをみてもらえる親族・知人の有無	11
（3-1）親族にみてもらっている状況	12
（3-2）友人・知人にお子さんをみてもらっている状況	13
（4）子育てに関して相談できる人・場所の有無	14
（4-1）子育てに関する相談先	14
（5）子育てをする上での周囲からのサポート	15
4. 保護者の就労状況について	16
（1）保護者の就労状況【母親】	16
（1-1）就労日数・就労時間【母親】	17
（1-2）家を出る時刻・帰宅時刻【母親】	17
（2）保護者の就労状況【父親】	18
（2-1）就労日数・就労時間【父親】	19
（2-2）家を出る時刻・帰宅時刻【父親】	19
（3）フルタイムへの転換希望	20
（4）就労希望【母親】	21

(5) 就労希望【父親】	23
5. 平日の定期的な教育・保育事業の利用状況について	24
(1) 平日の定期的な教育・保育事業の利用状況	24
(1-1) 現在利用している平日の定期的な教育・保育事業	24
(1-2) 現在利用している教育・保育事業の利用状況と利用希望	25
(1-3) 現在、利用している教育・保育事業の実施場所	26
(1-4) 平日に定期的に教育・保育の事業を利用している理由	26
(1-5) 平日に定期的に教育・保育の事業を利用していない理由	27
(2) 平日の定期的な教育・保育事業の今後の利用希望	28
(2-1) 教育・保育事業を利用したい場所	28
6. 地域の子育て支援事業の利用状況について	29
(1) 地域子育て支援拠点事業の利用状況	29
(2) 地域子育て支援拠点事業の今後の利用希望について	30
(3) 子育て支援の事業の認知度、利用状況、今後の利用意向	31
7. 土曜・休日や長期休暇中の「定期的」な教育・保育事業の利用希望について	34
(1) 土曜日、日曜日・祝日の定期的な教育・保育事業の利用希望	34
(1-1) 土曜日、日曜日・祝日に定期的な教育・保育事業をたまに利用したい理由	35
(2) 長期の休暇期間中の教育・保育事業の利用希望	35
(2-1) 長期の休暇期間中の教育・保育事業をたまに利用したい理由	36
8. 子どもの病気の際の対応について（※平日の教育・保育を利用している方のみ）	37
(1) 病気やケガで教育・保育の事業が利用できなかった経験	37
(1-1) 病気やケガで教育・保育の事業が利用できなかった際の対処方法	37
(1-2) 病児・病後児保育施設等の利用希望	39
(1-3) 病児・病後児保育施設の望ましい事業形態	40
(1-4) 病児・病後児保育施設を利用したいと思わない理由	40
(1-5) 父母のいずれかが仕事を休んで看たいと思ったか	41
(1-6) 仕事を休んで看ることが非常に難しいと思う理由	42
9. 不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用について	43
(1) 私用等の目的での不定期の教育・保育事業の利用状況	43
(1-1) 不定期の教育・保育事業を利用していない理由	44
(2) 私用等の目的での不定期の教育・保育事業の利用希望	44
(2-1) 不定期の教育・保育事業の望ましい事業形態	46
(3) 子どもを泊りがけで家族以外の人にみてもらった経験	46
(3-1) 親族・知人に泊りがけで子どもをみてもらうことの困難度	48
10. 小学校就学後の放課後の過ごし方について（※5歳以上の方のみ）	48
(1) 低学年時の放課後の過ごし方の希望	48
(2) 高学年時の放課後の過ごし方の希望	50
(3) 土曜日、日曜日・祝日の放課後児童クラブの利用希望	52
(4) 長期休暇中の放課後児童クラブの利用希望	53

11. 育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度について	54
(1) 育児休業の取得状況	54
(1-1) 育児休業給付、健康保険・厚生年金保険料免除制度の認知度	56
(1-2) 育児休業取得後の職場復帰の状況	56
(1-3) 育児休業取得後の職場復帰のタイミング	57
(1-4) 育児休業からの職場復帰の時期	58
(1-5) 3歳まで休暇を取得できる制度があった場合の希望の取得時期	59
(1-6) 希望の時期に職場復帰しなかった理由	60
(1-7) 短時間勤務制度の利用状況	61
(1-8) 短時間勤務制度を利用しなかった理由	62
(1-9) 1歳児で必ず利用できる事業があった場合の育児休業の取得希望	63
(2) 地域における子育て環境や支援の満足度	63
12. 地域医療について	64
(1) かかりつけ医の有無	64
(1-1) かかりつけ医がない理由	64
13. 子どもについて	65
(1) 子どもの人数、希望する子どもの人数	65
14. 子育ての様子について	67
(1) 子育ての楽しさ	67
(2) ゆったりと子どもと過ごす時間	67
(3) 家族のコミュニケーションが図れているか	68
(4) 家族で協力して子育てしているか	68
15. 公園の過ごし方について	69
(1) 公園の利用状況	69
(2) 公園を利用しない理由	69
(3) 公園を利用している子ども	70
16. 学童クラブの設置について	70
(1) 学童クラブの希望設置場所	70

◆◆小学生保護者◆◆ 71

1. 子どもとご家族の状況について	71
(1) 子どもの学年	71
(2) きょうだいの人数	71
(3) 家族構成	73
(4) 子どもを預かってもらえる人の有無	74
(5) 親族、友人、知人にみてもらっている状況	74
(6) 子どもの世話を主にしている人	75
(7) 居住地区	75
2. 保護者の就労状況について	76

(1) 保護者の就労状況	76
(2) 母親の就労希望	80
(3) 母親の希望する就労形態	81
(4) 現在働いていない理由	82
3. 放課後児童クラブ（学童保育）の利用及び放課後の過ごし方について	83
(1) 放課後児童クラブの利用の有無	83
(2) 放課後児童クラブの利用状況	83
(3) 放課後児童クラブを利用していない理由	85
(4) 放課後児童クラブの利用意向	86
(5) 放課後児童クラブを今後利用したい理由	87
(6) 小学校高学年時の放課後の過ごし方	88
(7) 低学年時の放課後の過ごし方の希望	89
(8) 高学年時の放課後の過ごし方の希望	91
(9) 土曜日、日曜日・祝日の放課後児童クラブの利用希望	93
(10) 長期休暇中の放課後児童クラブの利用希望	94
4. 病児・病後児の対応について	95
(1) 「病児・病後児保育」という言葉の認知度	95
(2) 病気やケガで学校を休んだことの有無	96
(3) 病気やケガで学校を休んだ際の対処方法	96
(4) 病児・病後児保育施設等の利用希望	98
(5) 親が休んだときの職場環境	98
(6) 病児・病後児保育の満足度	99
5. 一時預かりについて	100
(1) 私用等の目的での一時預かりの有無	100
(2) 今後の一時預かりの希望	101
6. 宿泊を伴う一時預かりについて	102
(1) 宿泊を伴う一時預かりの有無	102
(2) 宿泊を伴う一時預かりの有無	102
7. ベビーシッターの利用について	104
(1) ベビーシッターの利用の有無	104
(2) ベビーシッターの利用目的	104
(3) ベビーシッターの利用頻度	104
(4) ベビーシッターの今後の利用希望	104
8. 家事・育児について	105
(1) 自分の家事・育児に関する満足度	105
(2) 配偶者の家事・育児に関する満足度	106
9. 子育て支援サービスについて	107
(1) 子育て支援サービスについて	107
(2) ファミリーサポートセンターの利用希望	110

(3) 放課後子ども教室の利用希望	110
(4) 子育て支援サービスの満足度	111
(5) 子育て支援に関する言葉の認知度	112
10. 地域医療について	113
(1) かかりつけ医の有無	113
(2) かかりつけ医がない理由	113
11. 地域社会への関わりについて	114
(1) 地域活動への参加状況	114
12. 子育ての楽しさなどについて	116
(1) 子育ての楽しさ	116
(2) 有効だと思う子育て支援・対策	117
(3) 希望した時期に保育サービスを利用できたか	118
(4) 子育てについての相談相手の有無	118
(5) 子育てについての相談相手	119
13. 「仕事時間」と「生活時間」の優先度について	119
(1) 「仕事時間」と「生活時間」の優先度	119
14. その他	120
(1) 調査票回答者	120

資料編 調査票

第 1 部 調査概要

第1部 調査概要

1. 調査の目的

本庄市では、誰もが住み慣れた地域で、安心して子育てできるまちづくりのため、市民・関係機関、団体と行政が連携し、地域住民がお互いに助け合える新しい福祉行政を目指し、「(仮称)本庄市子ども・子育て支援事業計画」を策定します。平成25年度の計画策定に向け、「本庄市子ども・子育て支援事業計画に関するアンケート」を実施しました。

2. 調査の方法及び対象者

幼稚園・保育園・小学校を通して配布、回収。一部郵送による配布・回収。

3. 調査の方法及び回収状況

対象者	配布数	回収数	回収率
就学前児童のいる家庭	1,300件	951件	73.2%
小学校児童のいる家庭	1,200件	995件	82.9%
合計	2,500件	1,946件	77.8%

4. 分析・表示について

1. 比率は、小数点以下第2位を四捨五入しています。このため比率が0.05未満の場合には0.0と表記しています。また、合計が100.0%とならないこともあります。
2. 複数回答の項目については、原則として、その項目に対しての有効回答者の数を基数とし、比率算出を行っています。このため、比率計が100%を超えることがあります。
3. グラフ中の(n:○○)という表記は、その項目の有効回答者数で、比率算出の基礎となります。
4. クロス集計については、集計の都合上、無回答者を除いた集計となっている部分があるため、単純集計の結果と合致しない場合があります。

第 2 部 調查結果報告

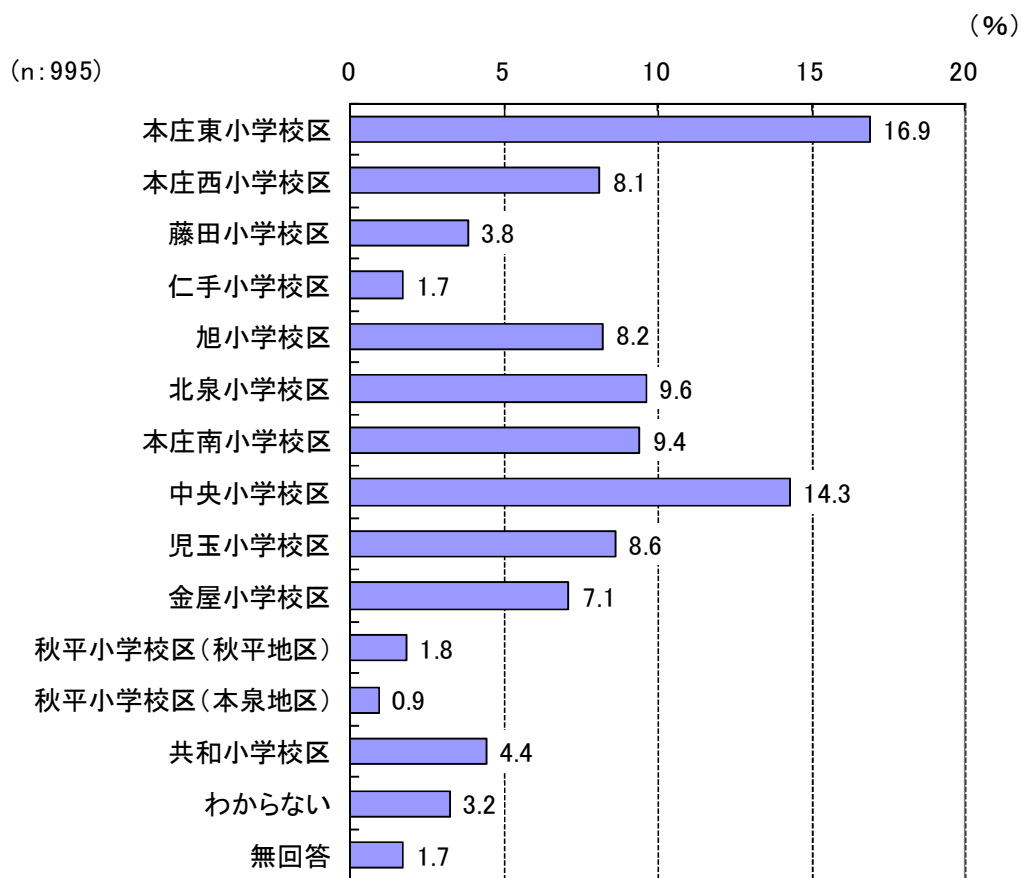
第2部 調査結果報告

◆◆就学前児童保護者◆◆

1. 住まいの地域について

(1) 居住地区

問1 お住まいの地区は次のうちどちらですか。(1つに○)

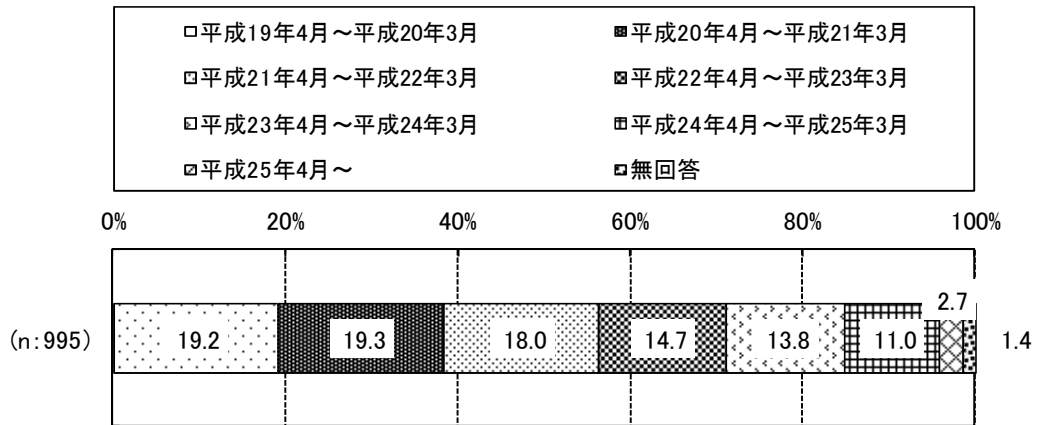


回答者の居住地区は、「本庄東小学校区」の16.9%が最も多く、次いで「中央小学校区」が14.3%、「北泉小学校区」が9.6%、「本庄南小学校区」が9.4%となっています。

2. 子どもとご家族の状況について

(1) 子どもの年齢

問2 宛名のお子さんの生年月月をご記入ください。



回答者の生年月日は「平成20年4月～平成21年3月」が19.3%、「平成19年4月～平成20年3月」が19.2%、「平成21年4月～平成22年3月」が18.0%で年齢が低くなるに従って回答割合も低くなっています。

(2) きょうだいの人数

問3 宛名のお子さんのきょうだいは何人いらっしゃいますか。宛名のお子さんを含めた人数を口内に数字でご記入ください。お2人以上のお子さんがいらっしゃる場合は、末子の方の生年月をご記入ください。

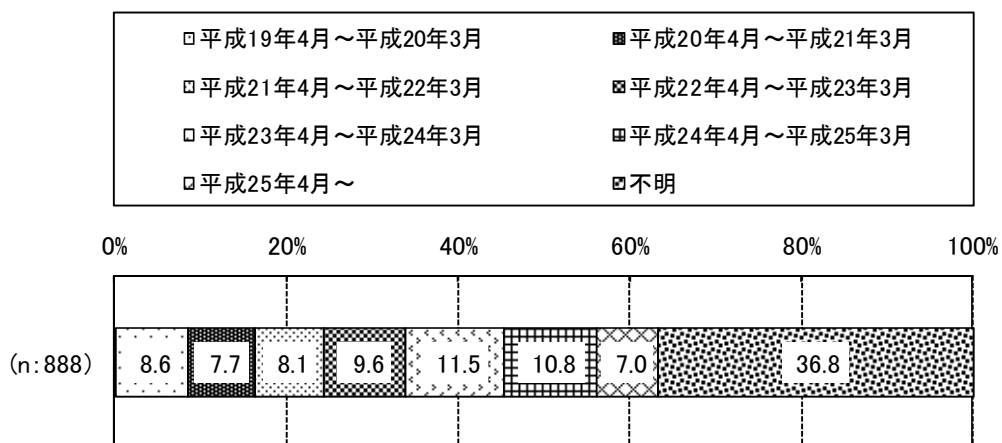
きょうだいの人数については、「2人」が42.3%で最も多く、次いで「1人」(31.0%)、「3人」(13.3%)となっています

また、きょうだいが1人以上いると回答した888人に、末子の年齢を尋ねたところ、「平成23年4月～平成24年3月」が11.5%で最も多くなっています。

●兄弟姉妹の数

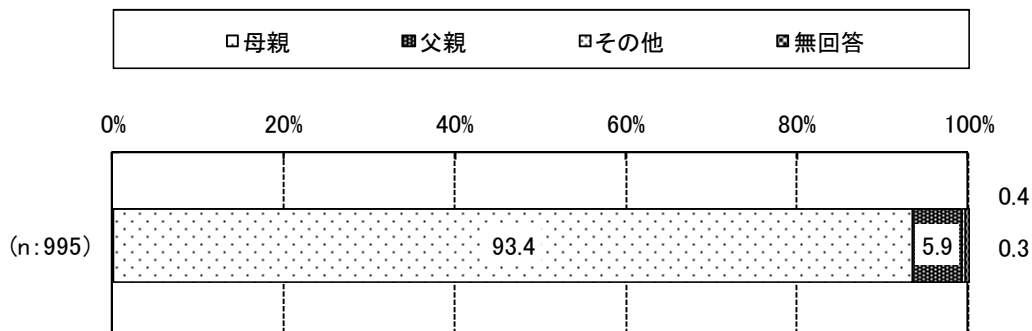
きょうだいの数		
0人	82	8.2%
1人	308	31.0%
2人	421	42.3%
3人	132	13.3%
4人以上	27	2.7%
無回答	25	2.5%

●末子の生年月



(3) 調査票回答者

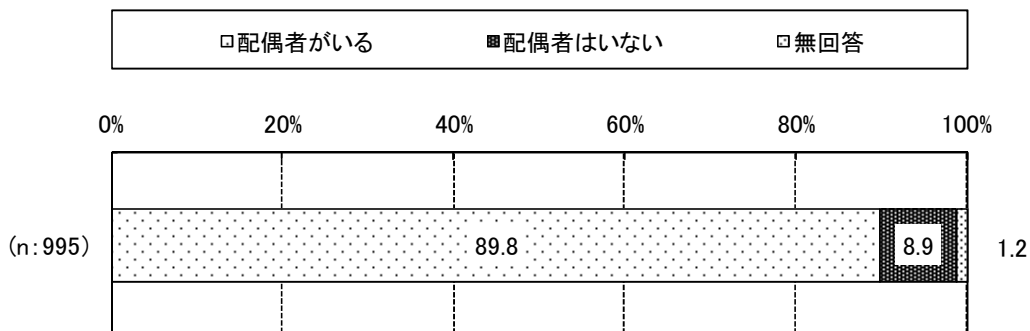
問4 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。宛名のお子さんからみた関係でお答えください。(1つに○)



調査票の回答者については、「母親」が93.4%、「父親」が5.9%、「その他」が0.4%となっています。

(4) 調査回答者の配偶関係

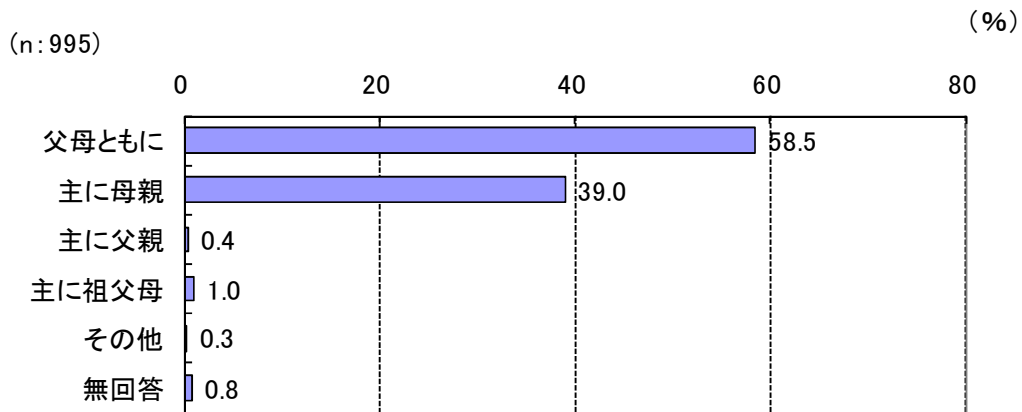
問5 この調査票にご回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。(1つに○)



調査票回答者の配偶関係については、「配偶者がいる」が89.5%、「配偶者がいない」が8.9%となっています。

(5) 子育てを主に行っている人

問6 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）を主に行っているのはどなたですか。お子さんからみた関係でお答えください。（1つに○）

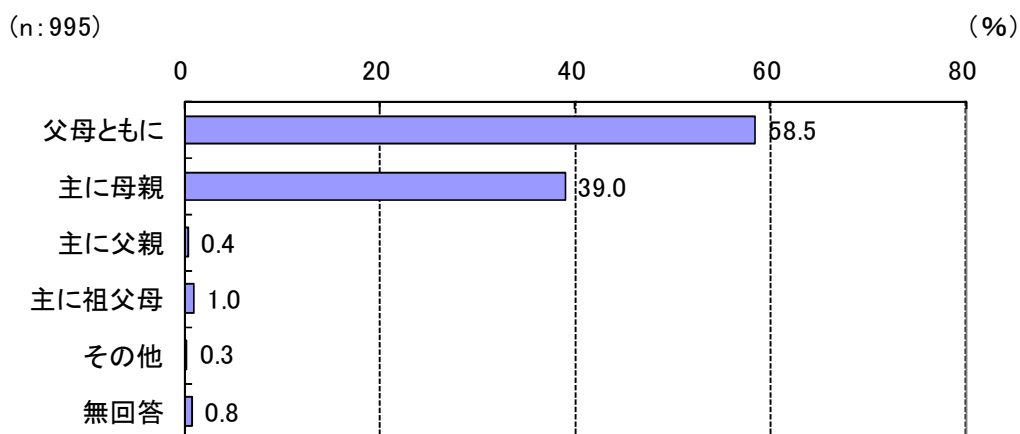


子育てを主に行っている人については、「父母ともに」が58.5%と過半数を占めています。以下、「主に母親」が39.0%、「主に父親」が0.4%「主に祖父母」が1.0%、となっています。

3. 子どもの育ちをめぐる環境について

(1) 子育てに日常的に関わっている人・施設

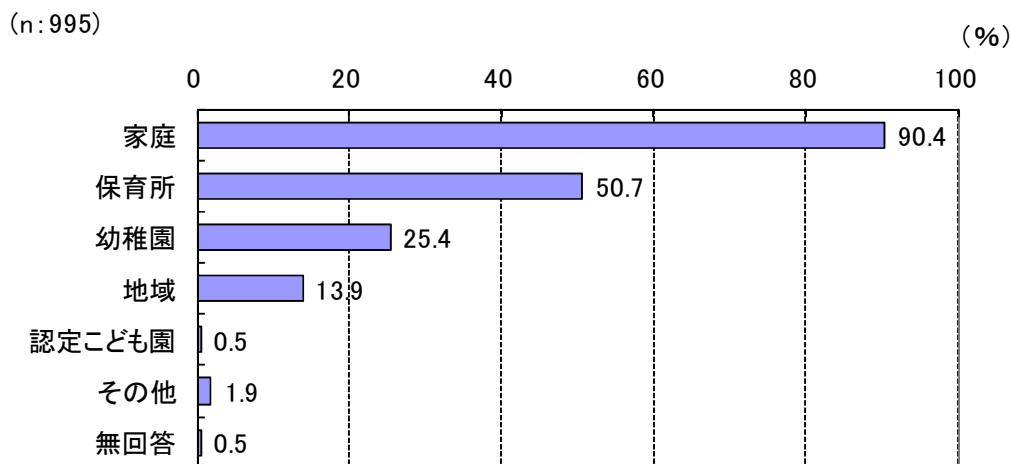
問7 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）に日常的に関わっている方はどなた（施設）ですか。お子さんからみた関係でお答えください。（あてはまる番号すべてに○）



子育てに日常的に関わっている人・施設については、「父母ともに」(55.1%)、「保育所」(42.8%)、「祖父母」(37.7%)などが多く挙げられています。

(2) 子育てに影響する環境

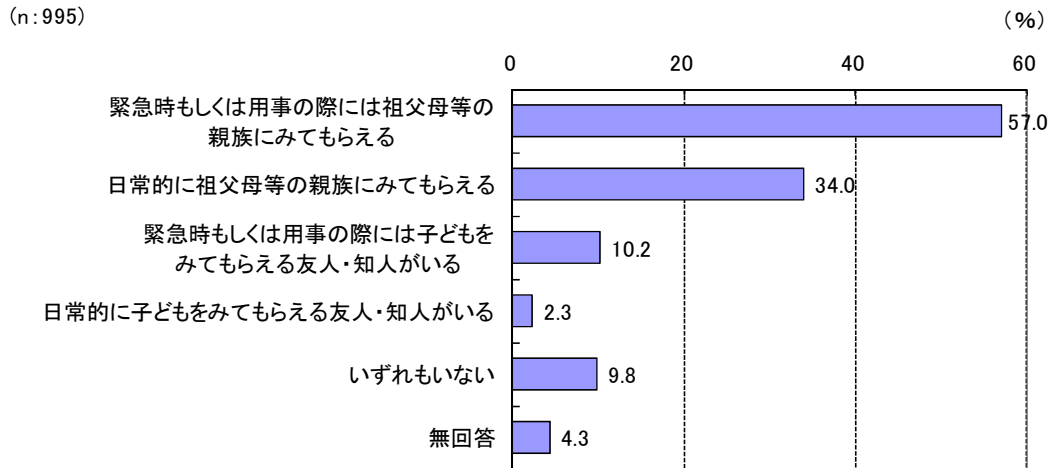
問8 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）に、もっとも影響すると思われる環境をお答えください。（あてはまる番号すべてに○）



子育てに影響する環境については、「家庭」(90.4%)、「保育所」(50.7%)、「幼稚園」(25.4%)などが多く挙げられています。

(3) 子どもをみてもらえる親族・知人の有無

問9 日頃、宛名のお子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。(あてはまる番号すべてに○)



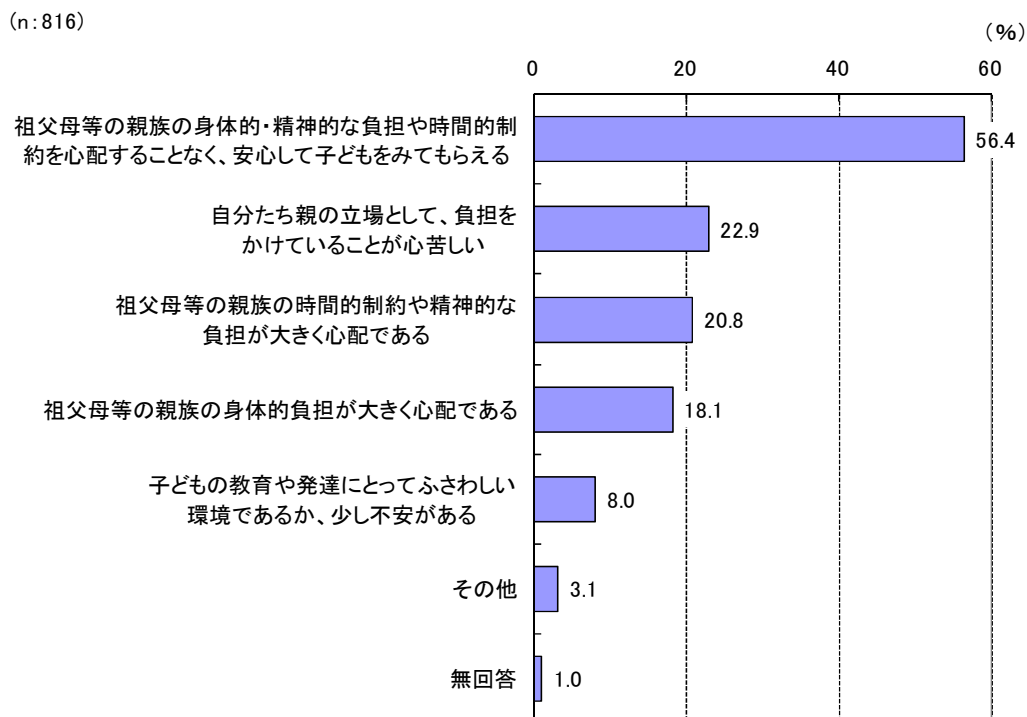
日頃、子どもを預かってもらえる親族の有無については、「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」が57.0%と最も多く、次いで「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」が34.0%、「緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる」が10.2%となっています。

(3-1) 親族にみてもらっている状況

問9-1 問9で「1」、「2」に○をつけた方のみ

祖父母等の親族にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。

(あてはまる番号すべてに○)



親族にみてもらっている状況については、「祖父母等の親族の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」が56.4%と最も多く、次いで「自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」が22.9%、「祖父母等の親族の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である」が20.8%となっています。

(3-2) 友人・知人にお子さんをみてもらっている状況

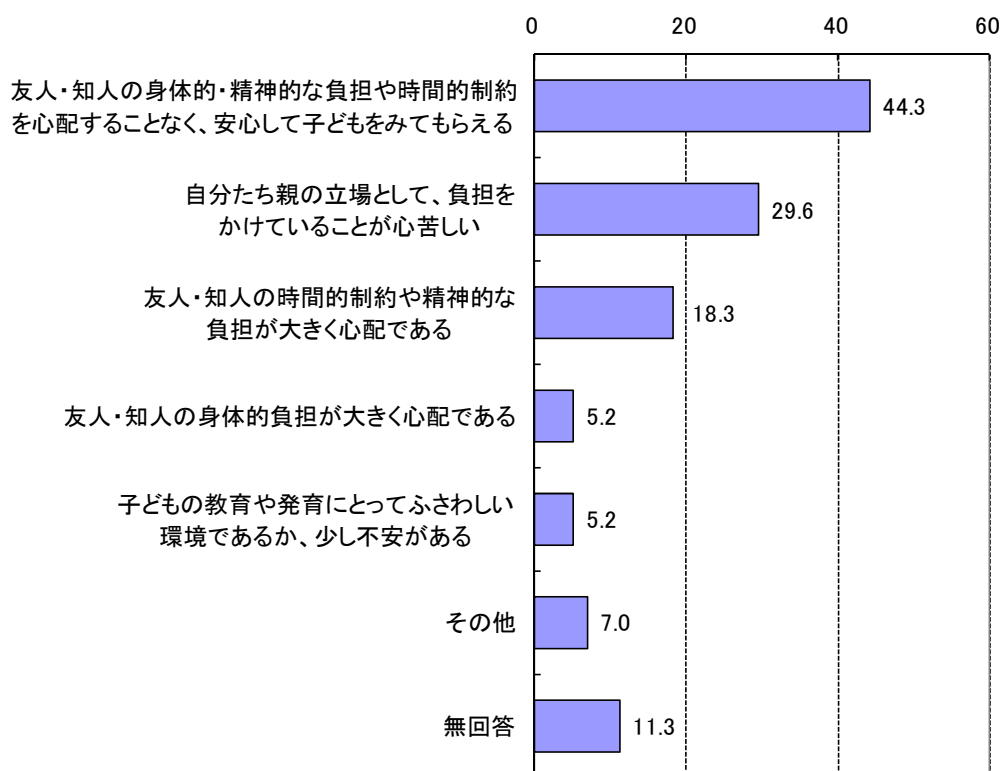
問9-2 問9で「3」、「4」に○をつけた方のみ

友人・知人にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。

(あてはまる番号すべてに○)

(n: 115)

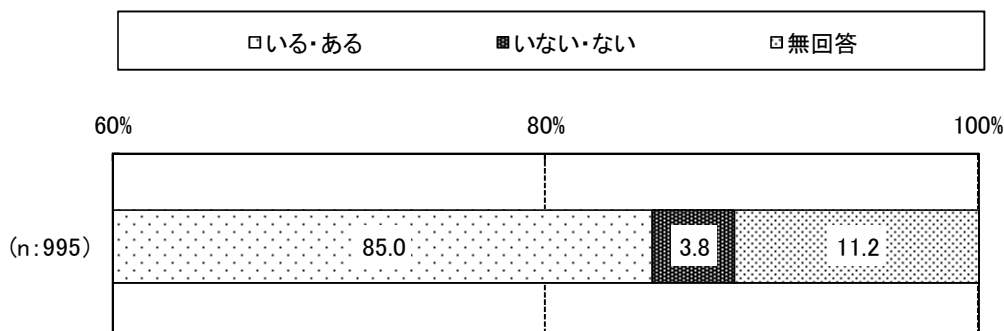
(%)



友人・知人にみてもらっている状況については、「友人・知人の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」が44.3%と最も多く、次いで「自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」が29.6%、「友人・知人の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である」が18.3%となっています。

(4) 子育てに関して相談できる人・場所の有無

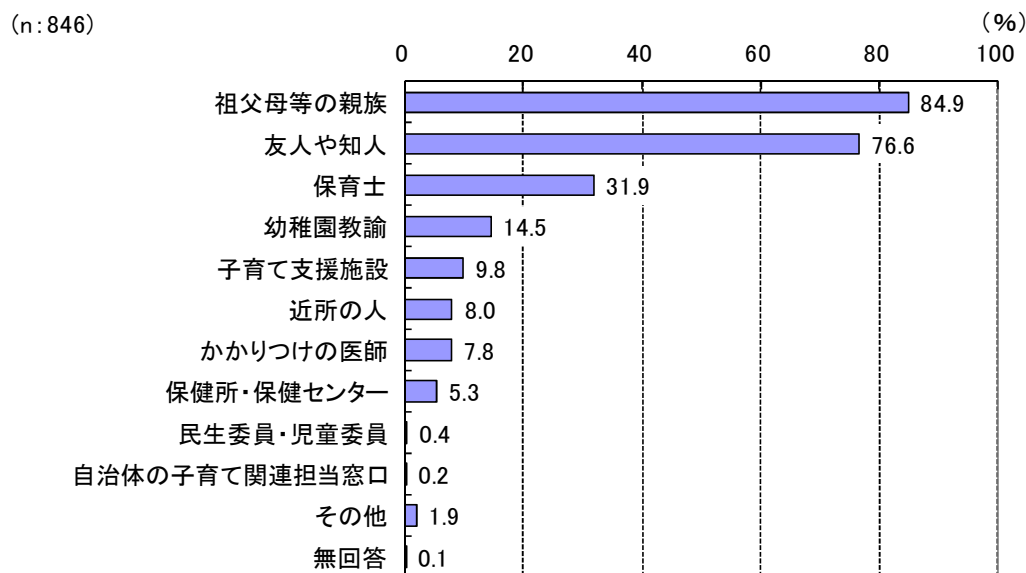
問10 宛名のお子さんの子育て(教育を含む)をする上で、気軽に相談できる人はいますか。また、相談できる場所がありますか。(1つに○)



子育てをする上で、気軽に相談できる人がいるか尋ねたところ、「いる・ある」が89.7%、「いない・ない」が4.4%となっています。

(4-1) 子育てに関する相談先

問10-1 問10で「1. いる・ある」に○をつけた方のみ
 お子さんの子育て(教育を含む)に関して、気軽に相談できる先は、誰(どこ)ですか。
 (あてはまる番号すべてに○)



子育てをする上で、気軽に相談できる人がいると回答した846人に、相談先を尋ねたところ、「祖父母などの親族」(84.9%)、「友人や知人」(76.6%)が特に多くあげられています。

(5) 子育てをする上での周囲からのサポート

問 11 子育て（教育を含む）をする上で、周囲（身近な人、行政担当者など）からどのようなサポートがあればよいとお考えでしょうか。ご自由にお書きください。

292 件の記述がありました。主な記述内容は以下のとおりです。

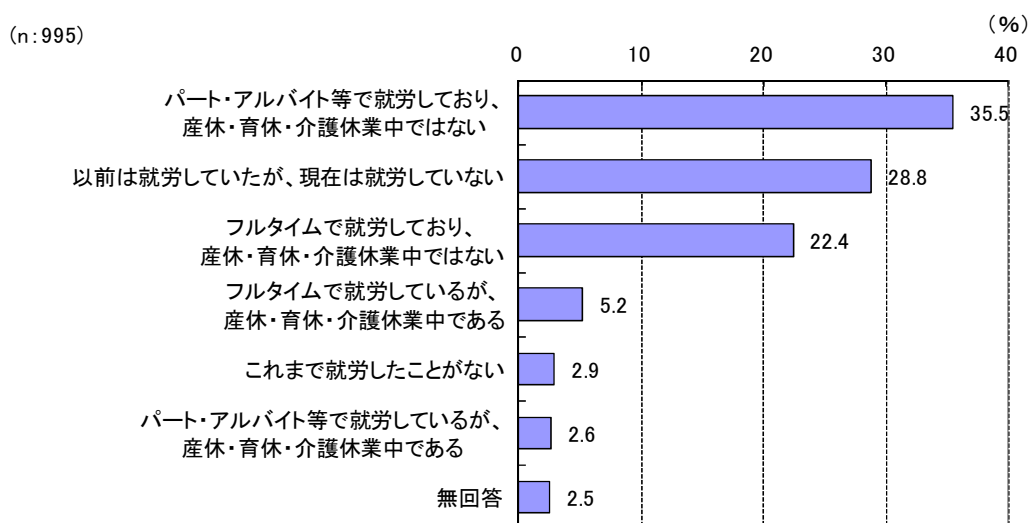
- ・特に病気をした時長期仕事が休めないなので、見てくれる保育園や場所があれば良い。
- ・休日にもっと多くにイベントが気軽に参加できるようであればありがたい。
- ・子育て中のお母さんの孤独を防ぐ為育児について気軽に相談し、一緒に考えてくれる環境が必要。私も育児に悩む事が多々ありますが保育園に入園し保育士の先生に色々話せる環境で気持ちが楽になりました。
- ・支援センターなどの支援施設が少なく、特に一才を超えたと行ける場所が無いのでいつでも行ける大型の施設があると良い。
- ・育児に悩んでいる人は多いと思います。子育て支援センターなどがもっと多くあると利用しやすいと思う。
- ・少しの時間でも気軽に預けられる場所があると良い。雨など外遊びが出来ない時の室内設備のある大きな遊び場があると良い。
- ・母親がたまに息抜きできる場所。格安で一時保育等。
- ・体調不良等で園の時間外に頼める人がいない時、面倒見てくれる場があると助かる。
- ・子育てなどで不安な事が出来たときに、相談できる（気持ちが吐き出せる）場所があれば良いと思います
- ・緊急時に手助けしていただだけ、日常も、話しかけや、時には親のようにしかっていただきたい また、安心して預けられる場を増やしてほしい
- ・月 2 回程度の強制的な親子の触れ合いをする所があれば、親子関係も上手く行くと思う。

4. 保護者の就労状況について

(1) 保護者の就労状況【母親】

問 12 宛名のお子さんの保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）をお答えください。

(1) 母親（1つに○）【父子家庭の場合は記入不要】



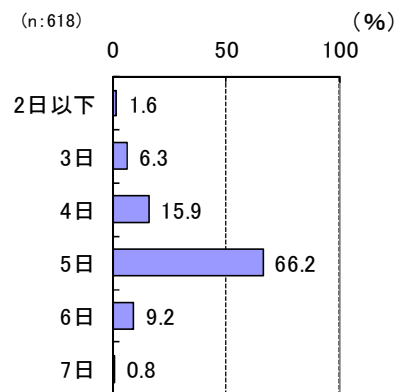
母親の就労状況では、「パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が35.5%で最も多く、次いで「以前は就労していたが、現在は就労していない」が28.8%を占めています。

また現在就労している人は全体の57.9%となっています。

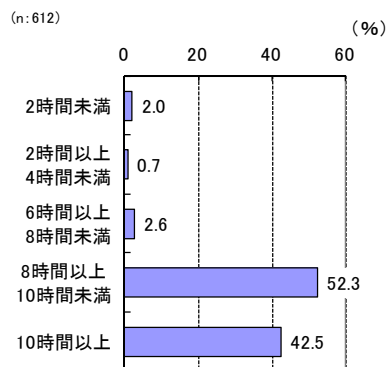
(1-1) 就労日数・就労時間【母親】

(1) - 1 (1) で「1」～「4」に○をつけた方のみ
 1週あたりの「就労日数」、1日あたりの「就労時間(残業時間を含む)」をお答えください。就労日数や就労時間が一定でない場合、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

● 1週あたりの就労日数



● 1日あたりの就労時間



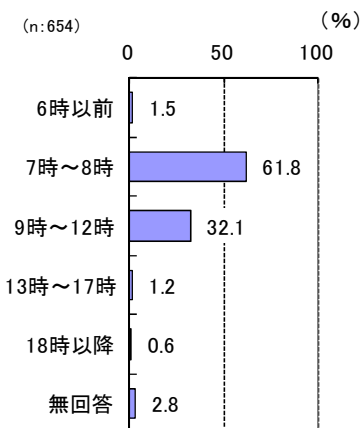
就労していると回答した母親 576 人の 1 週あたりの就労日数については、「5 日」が 66.2% と最も多くなっています。(無回答を除いた割合を示しています)

また、1 日あたりの就労時間については、「8 時間以上 10 時間未満」が 52.3% と最も多くなっています。(無回答を除いた割合を示しています)

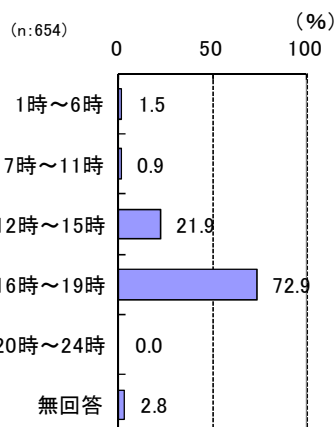
(1-2) 家を出る時刻・帰宅時刻【母親】

(1) - 2 (1) で「1」～「4」に○をつけた方のみ
 家を出る時間と帰宅時間をお答えください。時間が一定でない場合、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

● 家を出る時間



● 帰宅時間



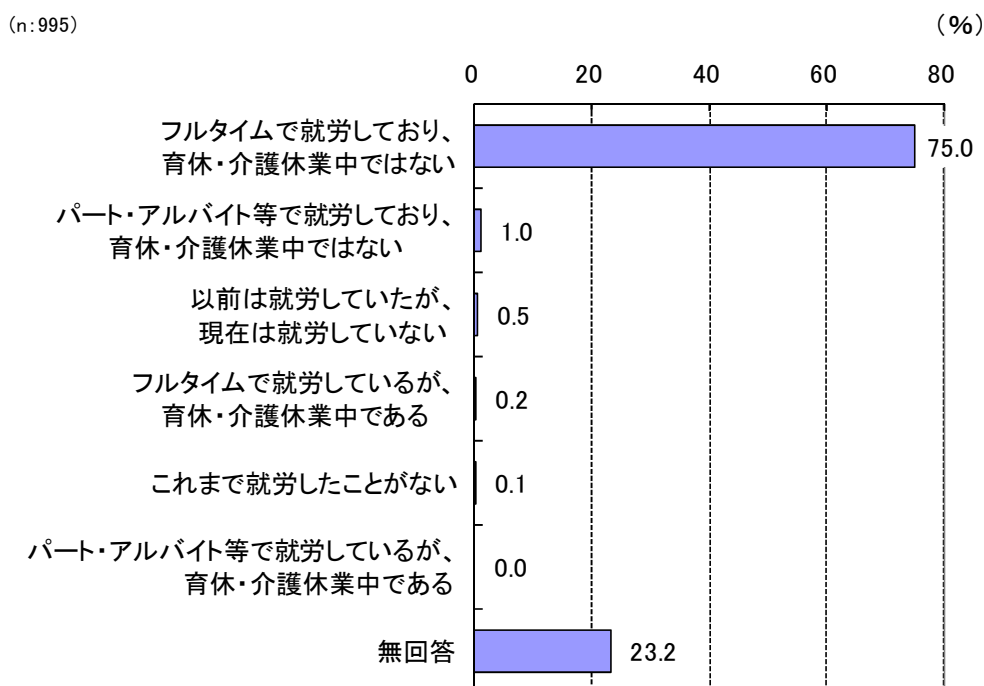
就労していると回答した母親 576 人の家をでる時刻については、「7時～8時台」(61.8%)、「9時～12時台」(32.1%) が特に多くなっています。

また、帰宅時刻については、「16時～19時台」(72.9%)、「12時～15時台」(21.9%) が特に多くなっています。

(2) 保護者の就労状況【父親】

問 12 宛名のお子さんの保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）をお答えください。

(2) 父親（1つに○）【母子家庭の場合は記入不要】



父親の就労状況では、「フルタイムで就労しており、育休・介護休業中ではない」が最も多く 75.0%を占めています。

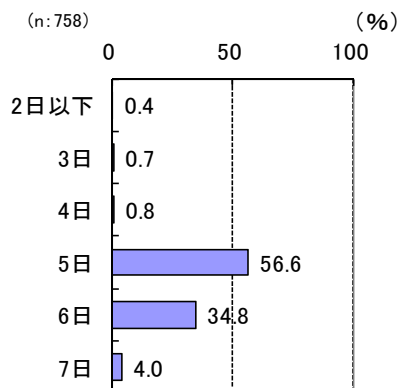
また現在就労している人は全体の 76.0%となっています。

(2-1) 就労日数・就労時間【父親】

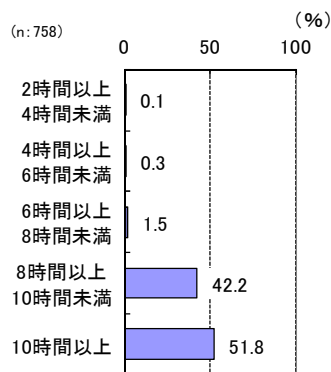
(2) - 1 (2) で「1」～「4」に○をつけた方のみ

1週あたりの「就労日数」、1日あたりの「就労時間(残業時間を含む)」をお答えください。就労日数や就労時間が一定でない場合、もっとも多いパターンについてお答えください。育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

● 1週あたりの就労日数



● 1日あたりの就労時間



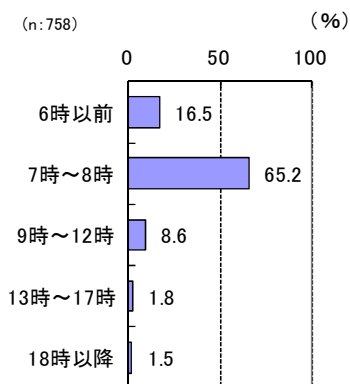
就労していると回答した母親 343 人の 1 週あたりの就労日数については、「5 日」が 56.6%と最も多くなっています。また、1 日あたりの就労時間については、「10 時間以上」が 51.8%と最も多くなっています。

(2-2) 家を出る時刻・帰宅時刻【父親】

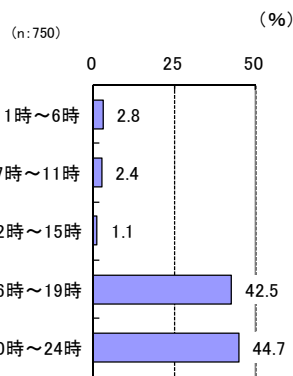
(2) - 2 (2) で「1」～「4」に○をつけた方のみ

家を出る時間と帰宅時間をお答えください。時間が一定でない場合、もっとも多いパターンについてお答えください。育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

● 家を出る時間



● 帰宅時間

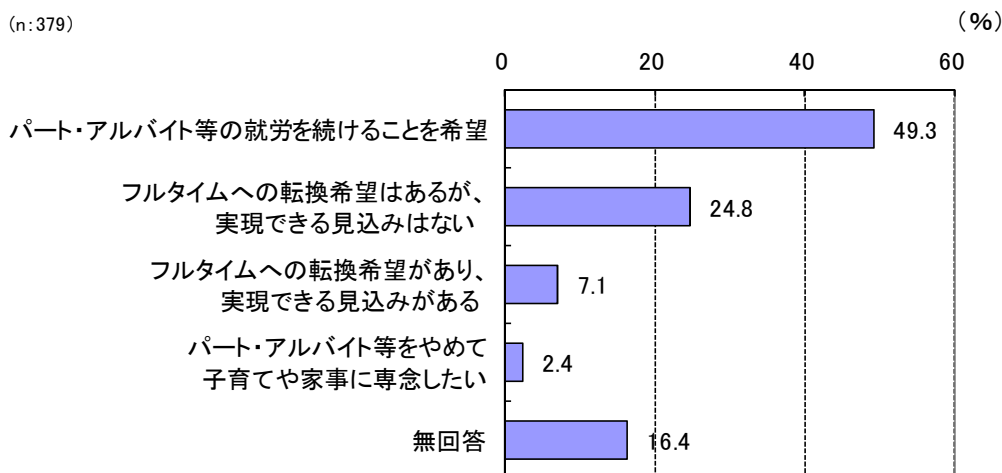


就労していると回答した母親 343 人の家を出る時刻については、「8 時台」(41.4%)、「7 時台」(29.2%) が特に多くなっています。また、帰宅時刻については、「18 時台」(31.2%)、「17 時台」(17.2%) が特に多くなっています。

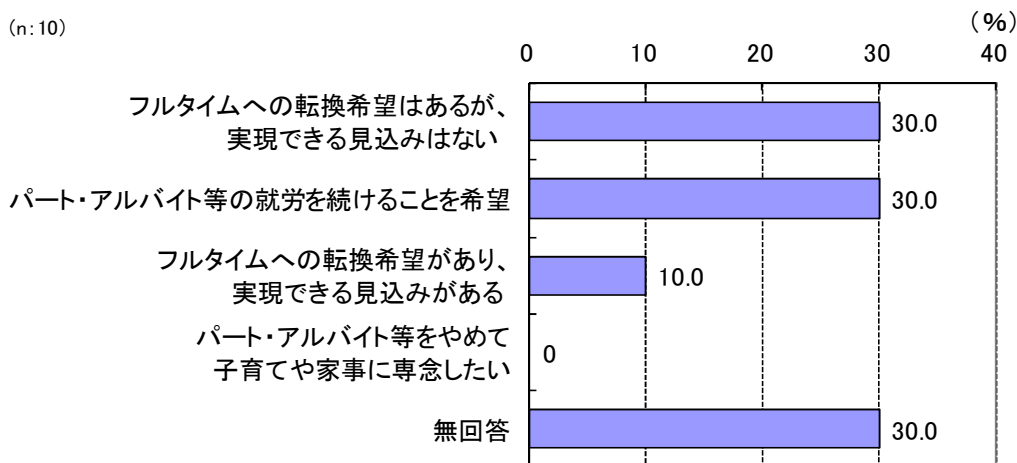
(3) フルタイムへの転換希望

問13 問12の(1)または(2)で「3」、「4」(パート・アルバイト等で就労)に○をつけた方のみ
 フルタイムへの転換希望はありますか。(それぞれ1つに○)

(1) 母親



(2) 父親



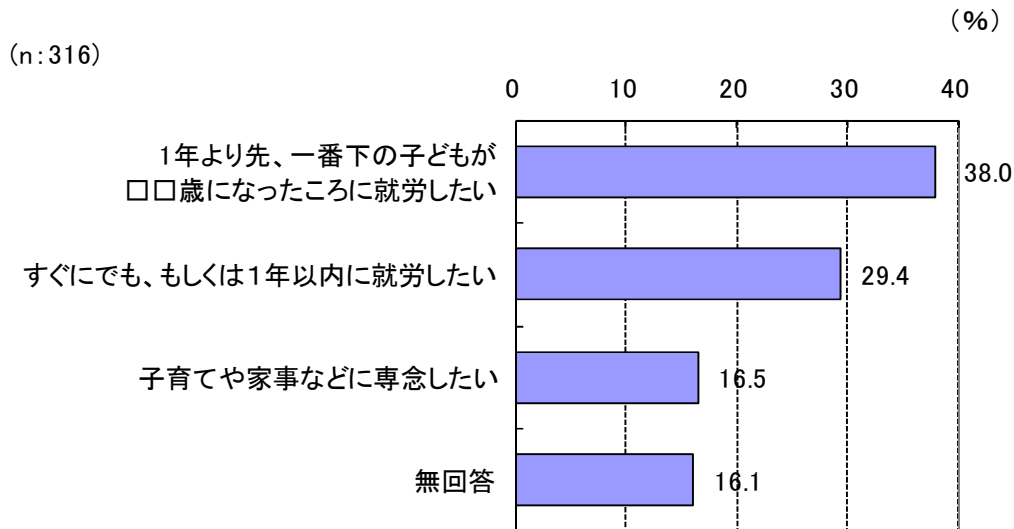
パートタイム、アルバイト等で就労している母親については、31.9%がフルタイムへの転換希望(「フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある」(7.1%)、「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」(24.8%)の合計)と回答しています。

また、パートタイム、アルバイト等で就労している父親については、24.8%が「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」と回答しています。

(4) 就労希望【母親】

問14 問12の(1)で「5」、「6」(就労していない)に○をつけた方のみ
 就労したいという希望はありますか。(それぞれ該当する番号・記号1つに○、該当する口内に記入)

■就労希望



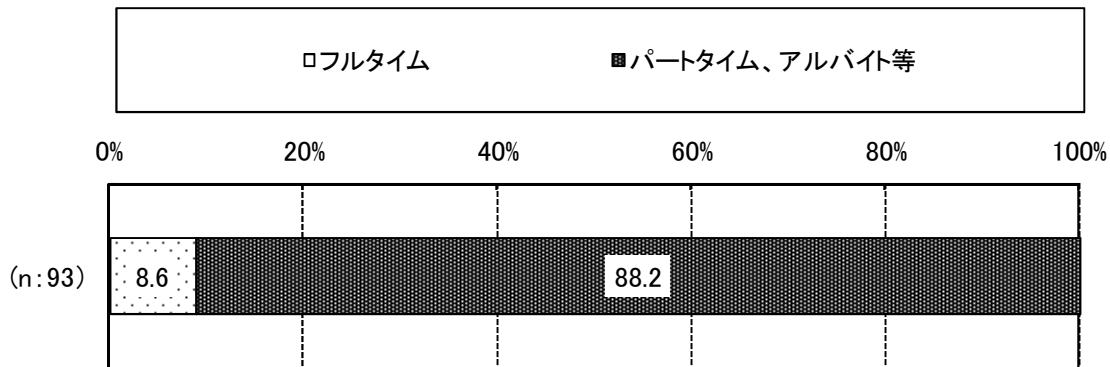
●就労予定の目安になる子どもの年齢

現在就労していない母親316人については、67.4%に今後の就労希望がある(「1年より先、一番下の子どもが□□歳になったところに就労したい」(38.0%)と「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」(29.4%)の合計)とみられます。また、「子育てや家事などに専念したい」が16.5%となっています。

一番小さい子どもが何歳になった時に就労を希望するかについては、「3歳」(35.3%)、「7歳」(16.8%)などが多くなっている。

子どもの年齢	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳	11歳以上	合計
回答数	5	5	42	14	9	11	20	3	1	4	5	119
割合	4.2%	4.2%	35.3%	11.8%	7.6%	9.2%	16.8%	2.5%	0.8%	3.4%	4.2%	100.0%

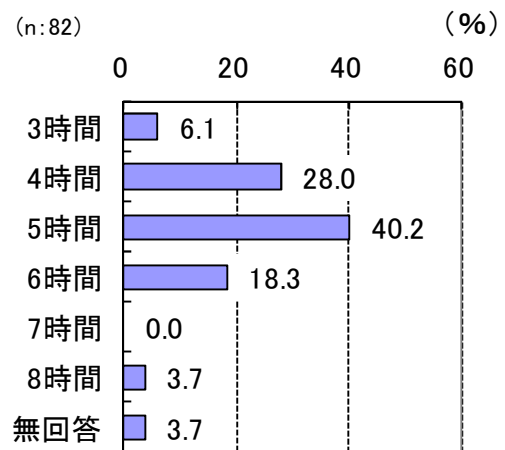
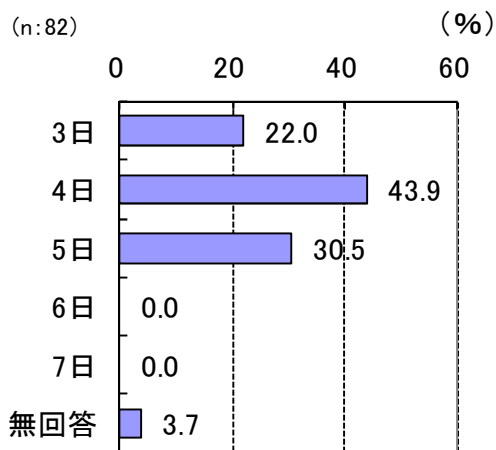
■希望する就労形態



■パートタイム、アルバイト等での希望就労日数・時間

● 1週あたりの希望就労日数

● 1日あたりの希望就労時間



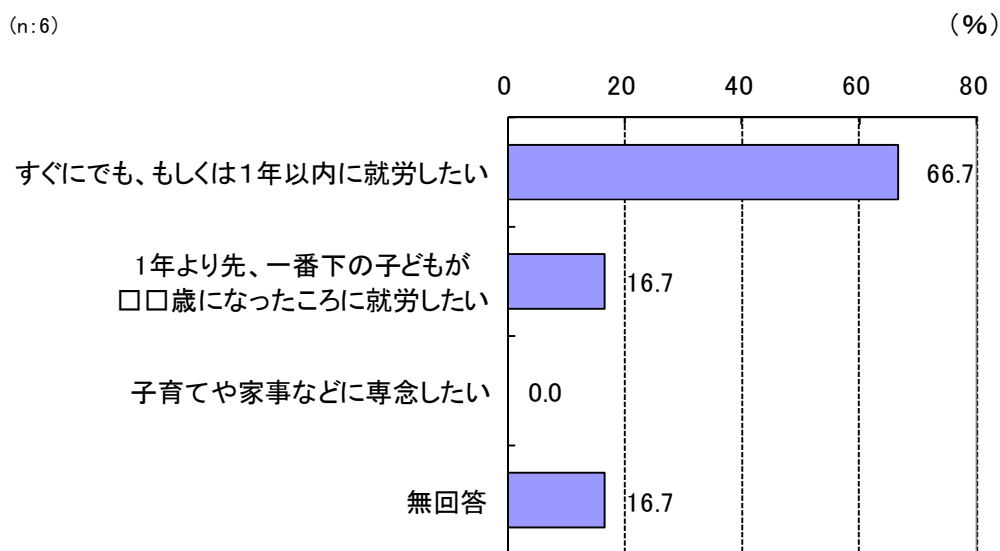
希望する就労形態では、「フルタイム」が8.6%、「パートタイム、アルバイト等」が88.2%となっている。

パートタイム、アルバイト等での就労を希望する者の1週間の就労希望日数は、「4日」が43.9%で最も多く、また、1日あたりの就労時間の希望では、「5時間」が40.2%で最も多くなっています。

(5) 就労希望【父親】

問14 問12の(2)で「5」、「6」(就労していない)に○をつけた方のみ
 就労したいという希望はありますか。(それぞれ該当する番号・記号1つに○、該当する口内に記入)

■就労希望

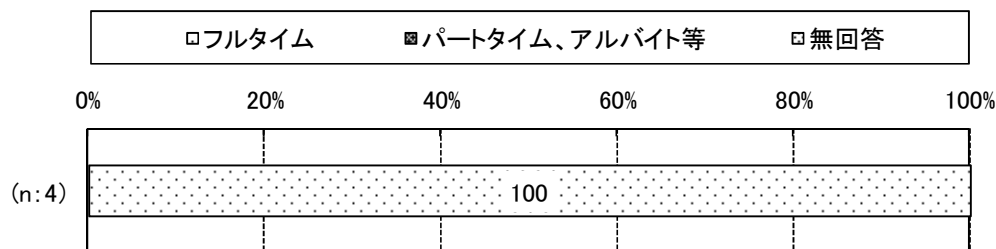


●就労予定の目安になる子どもの年齢

現在就労していない父親5人については、83.4%に今後の就労希望がある(「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」(66.7%)、「1年より先、一番下の子どもが□□歳になったところに就労したい」(16.7%)との合計)とみられます。

一番小さい子どもが何歳になった時に就労を希望するかについては、「10歳」の回答が1人ありました。

■希望する就労形態



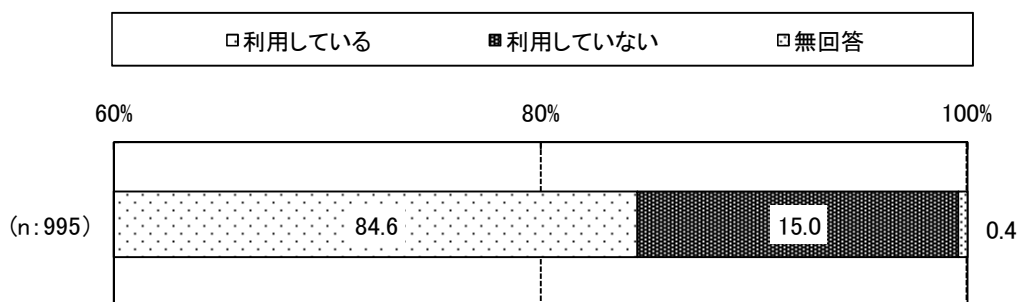
希望する就労形態では、「フルタイム」が100%となっています。

5. 平日の定期的な教育・保育事業の利用状況について

※「定期的な教育・保育事業」：月単位で定期的に利用している事業を指します。具体的には、幼稚園や保育所など、問15-1に示した事業が含まれます。

(1) 平日の定期的な教育・保育事業の利用状況

問15 宛名のお子さんは現在、幼稚園や保育所などの「定期的な教育・保育の事業」を利用されていますか。(1つに○)



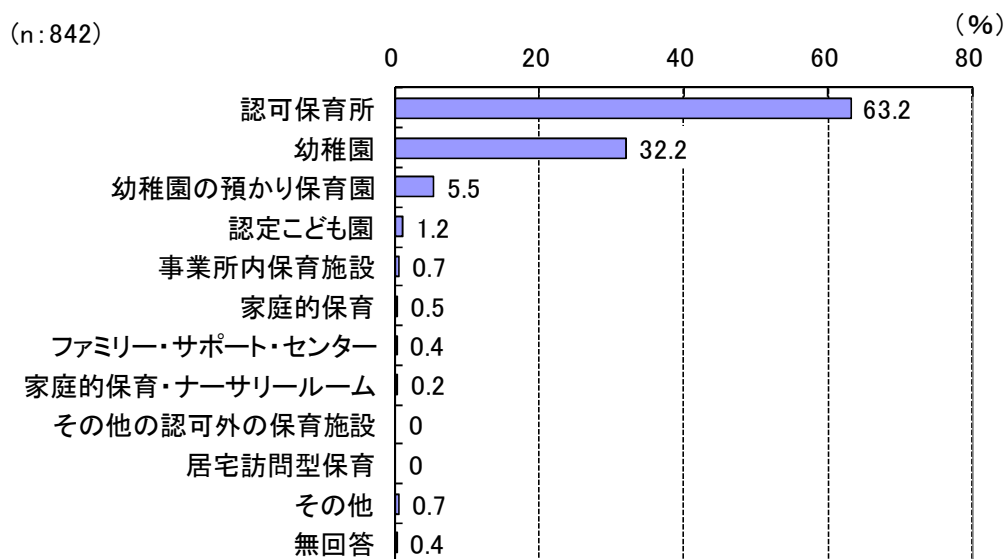
幼稚園や保育所などの定期的な事業の利用事業の利用状況は、「利用している」が84.6%になっています。

(1-1) 現在利用している平日の定期的な教育・保育事業

問15-1 問15で「1. 利用している」に○をつけた方のみ

宛名のお子さんは、平日どのような教育・保育の事業を利用していますか。年間を通じて「定期的に」利用している事業をお答えください。

(あてはまる番号すべてに○)



現在利用している平日の定期的な教育・保育の事業では、「認可保育所」が63.2%、「幼稚園」が32.2%で合計で95.4%になっています。

(1-2) 現在利用している教育・保育事業の利用状況と利用希望

問15-2 問15で「1. 利用している」に○をつけた方のみ
 平日に定期的に利用している教育・保育の事業について、どのくらい利用していますか。
 また、希望としてはどのくらい利用したいですか。

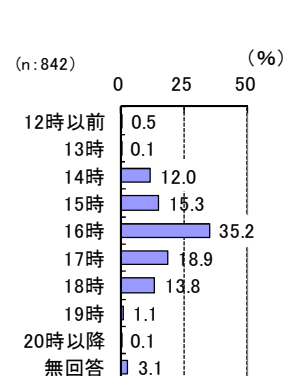
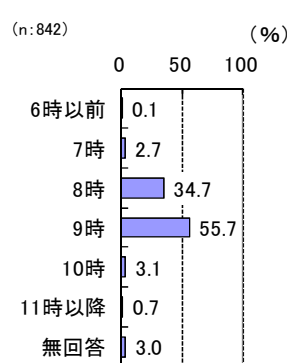
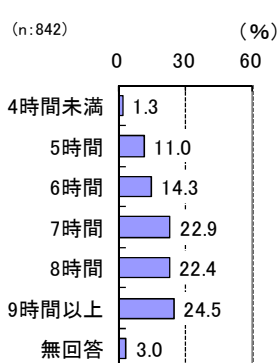
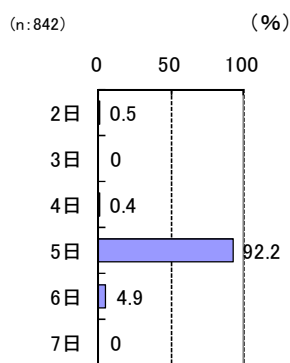
(1) 現在

● 1週あたりの利用日数

● 1日当たりの利用時間

⇒ ● 開始時間

● 終了時間



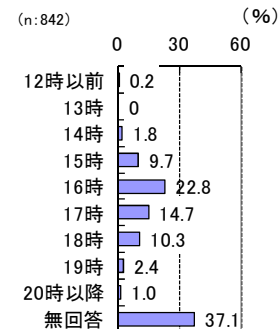
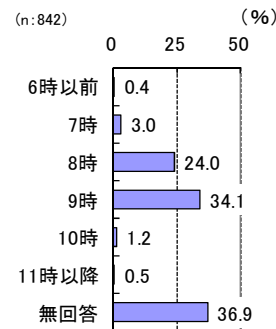
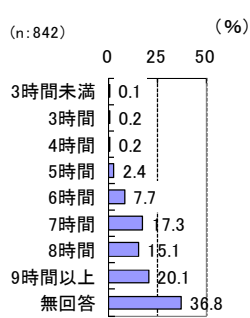
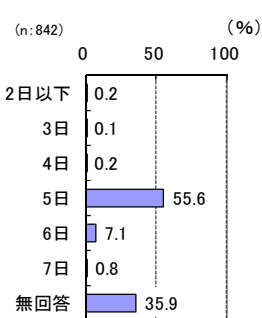
(2) 希望

● 1週あたりの利用日数

● 1日当たりの利用時間

⇒ ● 開始時間

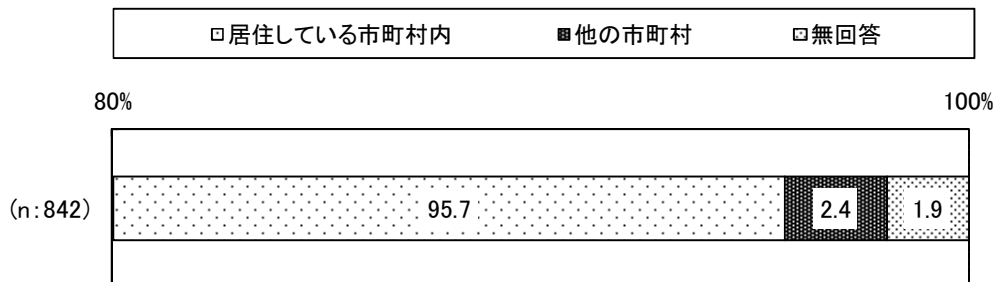
● 終了時間



現在利用している平日の定期的な教育・保育事業の利用状況では、

(1-3) 現在、利用している教育・保育事業の実施場所

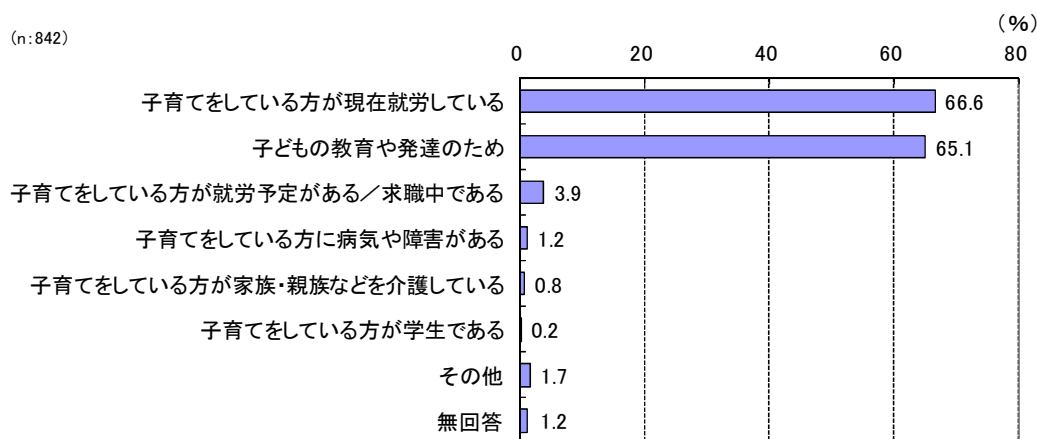
問 15-3 問 15で「1. 利用している」に○をつけた方のみ
 現在、利用している教育・保育事業の実施場所はどちらですか。「2. 他の市町村」
 の場合は、実施場所の市町村名を記入してください。(1つに)



実施場所は「町内」が90.7%となっています。
 他の市町村では「深谷市」、「美里町」、「上里町」、「寄居町」、「伊勢崎市」となっています。

(1-4) 平日に定期的に教育・保育の事業を利用している理由

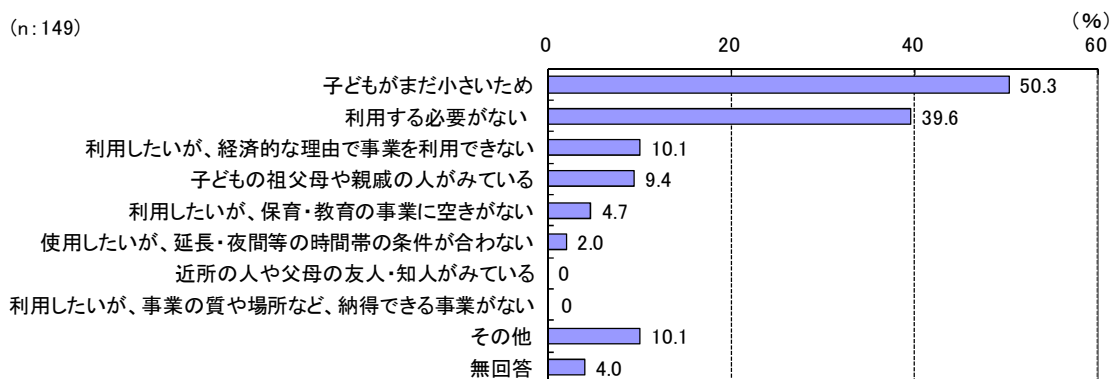
問 15-4 問 15で「1. 利用している」に○をつけた方のみ
 平日に定期的に教育・保育の事業を利用されている主な理由をお答えください。
 (あてはまる番号すべてに○)



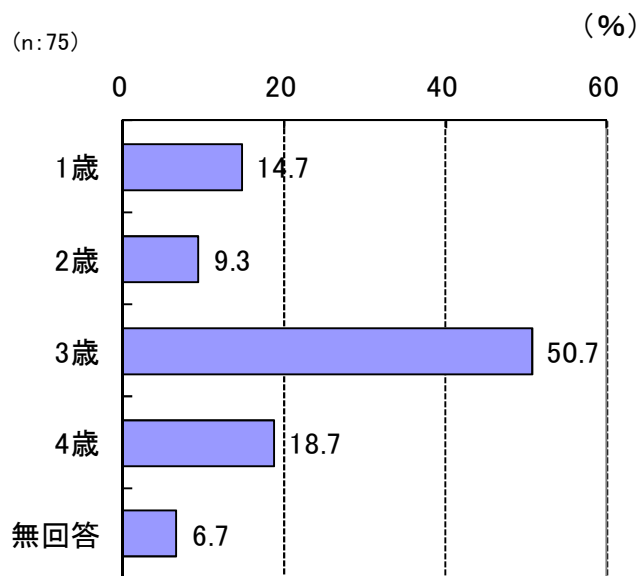
平日に定期的に教育・保育の事業の利用理由では「子育てをしている方が現在就労している」(66.6%)、「子どもの教育や発達のため」(65.1%)が主な理由となっています。

(1-5) 平日に定期的に教育・保育の事業を利用していない理由

問 15-5 問 15で「2. 利用していない」に○をつけた方のみ
 利用していない理由としてもっともあてはまる番号をお答えください。(あてはまる番号すべてに○)



●利用したいと考えている子どもの年齢

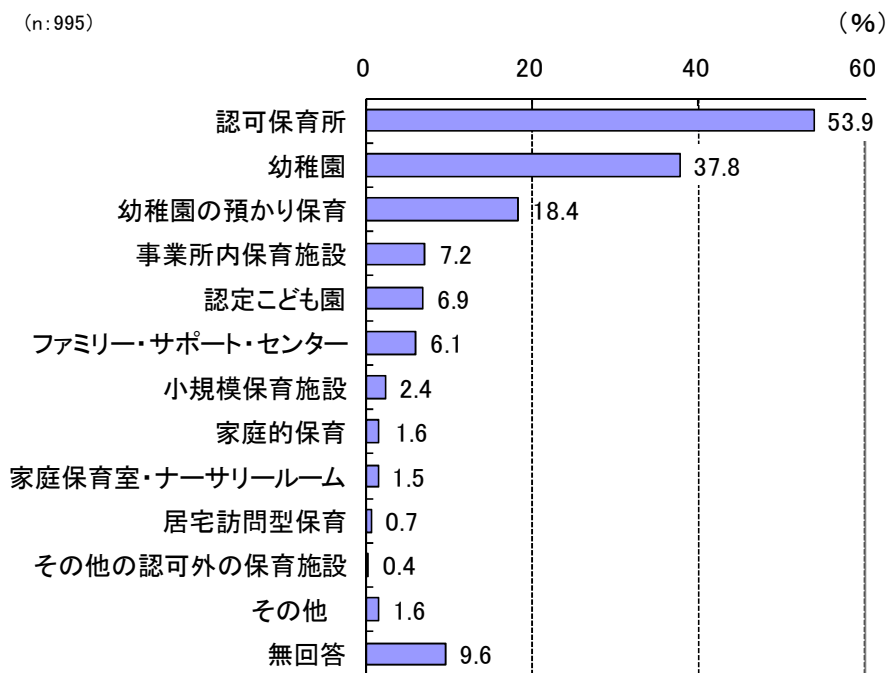


平日に定期的に教育・保育の事業を利用していない理由では「子どもがまだ小さいため□□歳くらいになったら利用しようと考えている」(50.3%)、「利用する必要がない」(39.6%)が主な理由となっています。

利用したいと考えている子どもの年齢は、「3歳」が50.7%で最も多くなっています。

(2) 平日の定期的な教育・保育事業の今後の利用希望

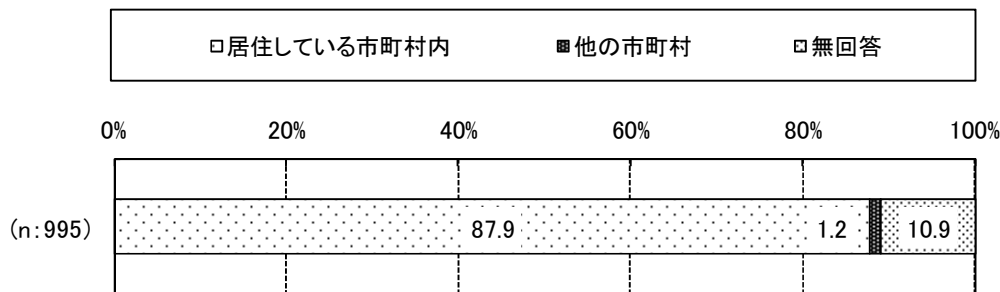
問 16 現在の利用状況にかかわらず、宛名のお子さんの平日の教育・保育の事業として、「定期的に」利用したいと考える事業をお答えください。なお、これらの事業の利用には一定の利用者負担が発生します。認可保育所の場合、世帯収入に応じた利用料が設定されています。(あてはまる番号すべてに○)



平日の教育・保育の事業として、「定期的に」利用したいと考える事業では「認可保育所」(53.9%)、「幼稚園」(37.8%)が上位に挙げられています。

(2-1) 教育・保育事業を利用したい場所

問 16-1 教育・保育事業を利用したい場所はどちらですか。「2. 他の市町村」の場合は、実施場所の市町村名を記入してください。(1つに○)



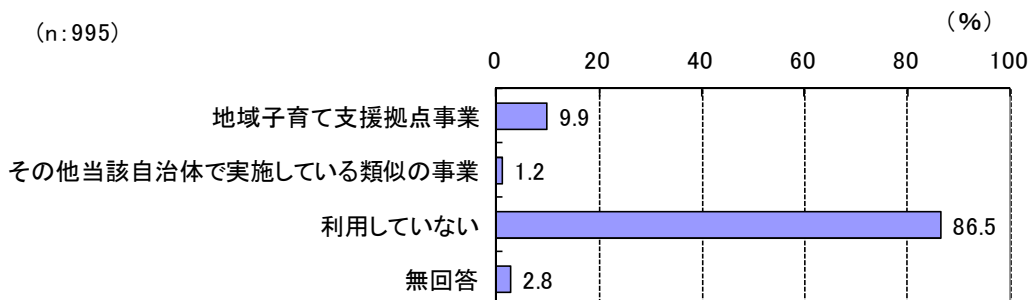
教育・保育事業を利用したい場所についてたずねたところ、「町内」が87.9%となっています。

他の市町村では「美里町」、「上里町」、「伊勢崎市」、「東京都」となっています。

6. 地域の子育て支援事業の利用状況について

(1) 地域子育て支援拠点事業の利用状況

問17 宛名のお子さんは、現在、地域子育て支援拠点事業（親子が集まって過ごしたり、相談をしたり、情報提供を受けたりする場で、「つどいの広場」「子育て支援センター」等と呼ばれています）を利用していますか。（あてはまる番号すべてに○、おおよその利用回数（頻度）を記入）

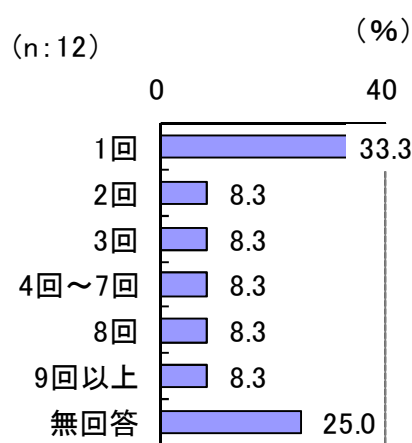
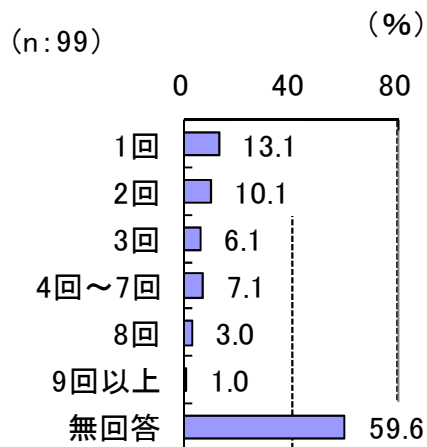


■ 地域子育て支援拠点事業の利用状況

■ その他の当該自治体で実施している類似の事業

● 1か月あたりの利用回数

● 1か月あたりの利用回数



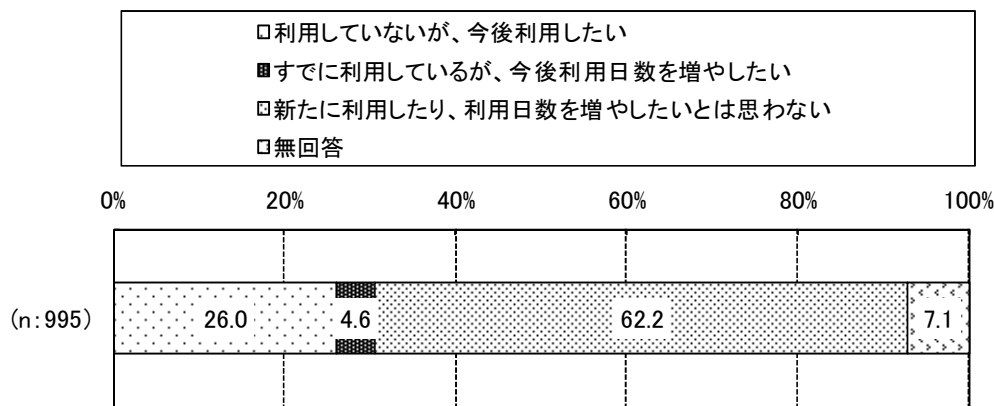
地域の子育て支援事業の利用状況は「地域子育て支援拠点事業」が9.9%、「類似の事業」が1.2%となっています。

「地域子育て支援拠点事業」の1か月あたりの利用回数では「月1回」、「月2回」が多くなっています。

「類似の事業」では「月1回」が多くなっています。

(2) 地域子育て支援拠点事業の今後の利用希望について

問 18 問 17 のような地域子育て支援拠点事業について、今は利用していないが、できれば今後利用したい、あるいは、利用日数を増やしたいと思いますか。なお、これらの事業の利用には一定の利用者負担が発生する場合があります。(1つに○、おおよその利用回数を記入)

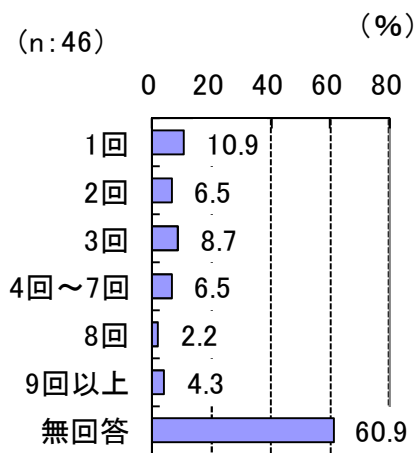
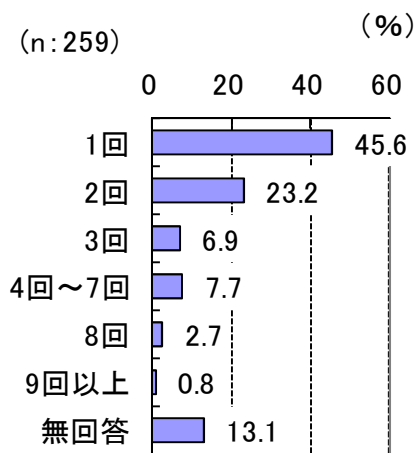


■ 利用していないが、今後利用したい人の利用希望

■ すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい人の利用増加希望

● 1か月あたりの利用回数

● 1か月あたりの利用回数



地域の子育て支援事業を今は利用していないが、できれば今後利用したい、あるいは、利用日数を増やしたい等の意向では「利用していないが、今後利用したい」が26.0%、となっています。

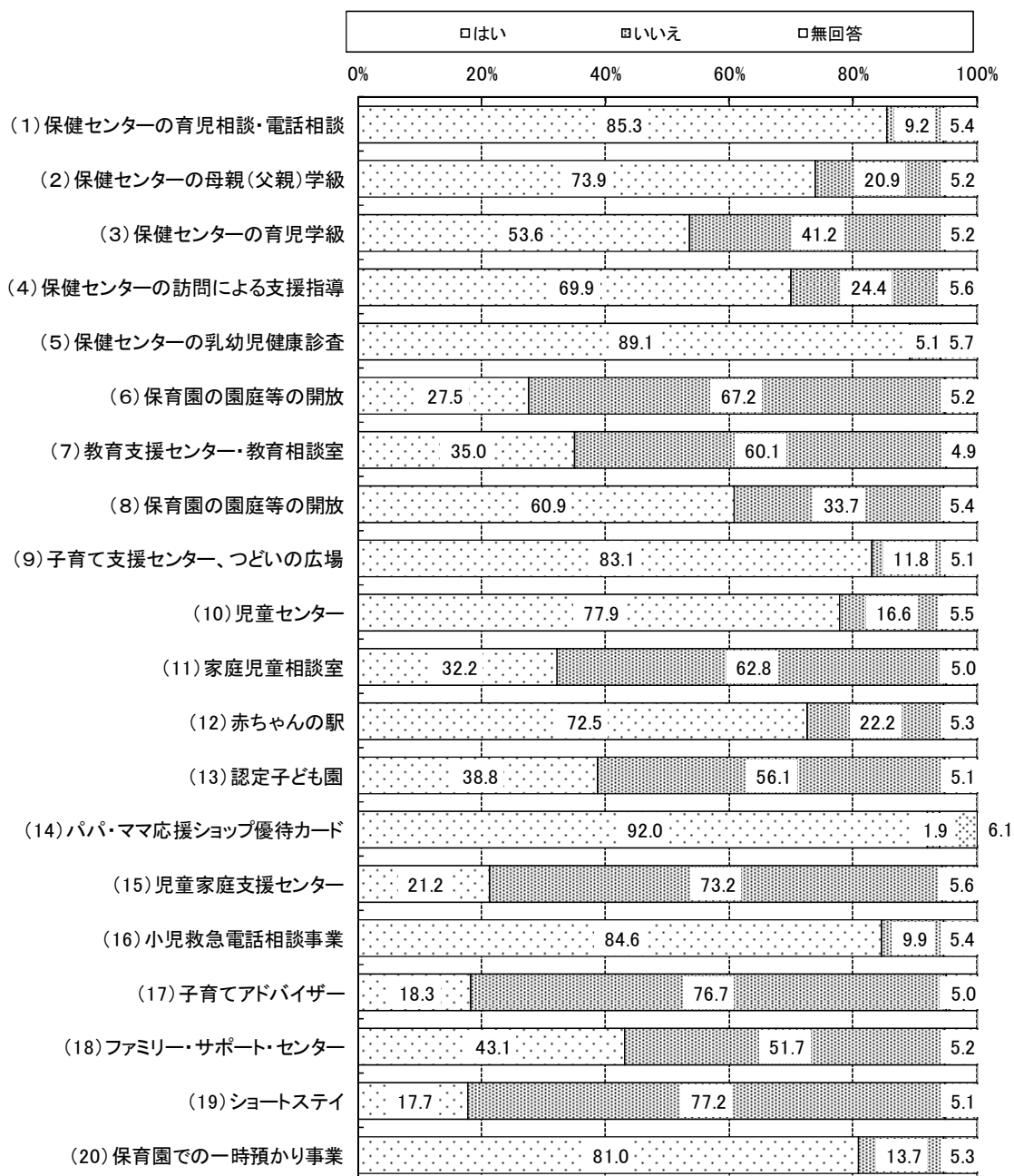
「利用していないが、今後利用したい人の利用希望」では「月1回」が45.6%で最も多くなっています。

「すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい人の利用増加希望」では「月1回」が10.9%で最も多くなっています。

(3) 子育て支援の事業の認知度、利用状況、今後の利用意向

問 19 下記の事業で知っているものや、これまでに利用したことがあるもの、今後、利用したいと思うものをお答えください。なお、事業によっては、お住まいの地域で実施されていないものもあります。(①～⑩の事業ごとにA～Cのそれぞれについて、「はい」「いいえ」のいずれかに○)

【認知度】

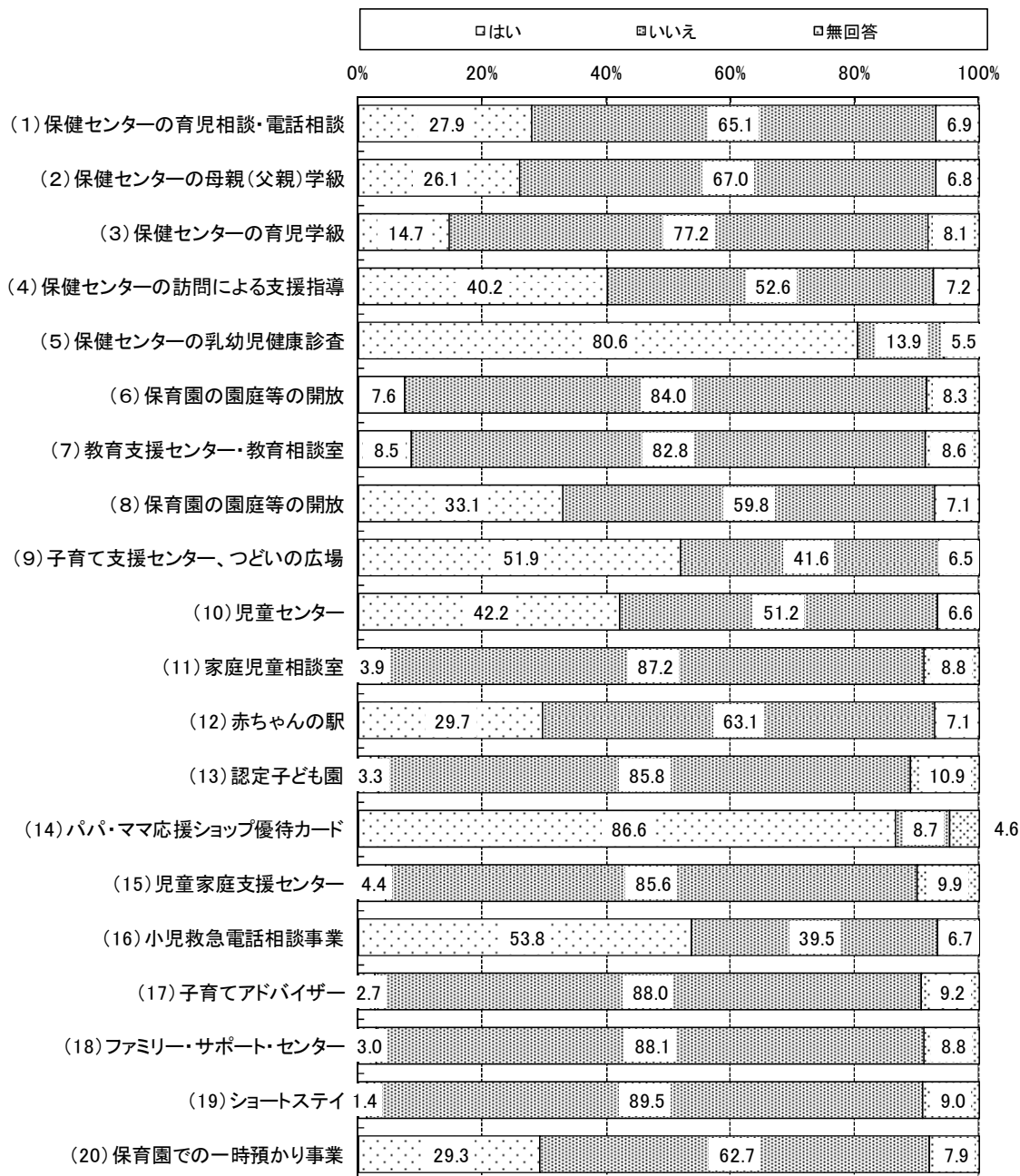


子育て支援事業の認知度では「(14) パパ・ママ応援ショップ優待カード」、「(5) 保健センターの乳幼児健康診査」、「(1) 保健センターの育児相談・電話相談」、「(16) 小児救急電話相談事業」、「(9) 子育て支援センター、つどいの広場」、「(20) 保育園

での一時預かり事業」が80%以上となっています。

「(19) ショートステイ」は認知度が17.7%で最も低くなっています。

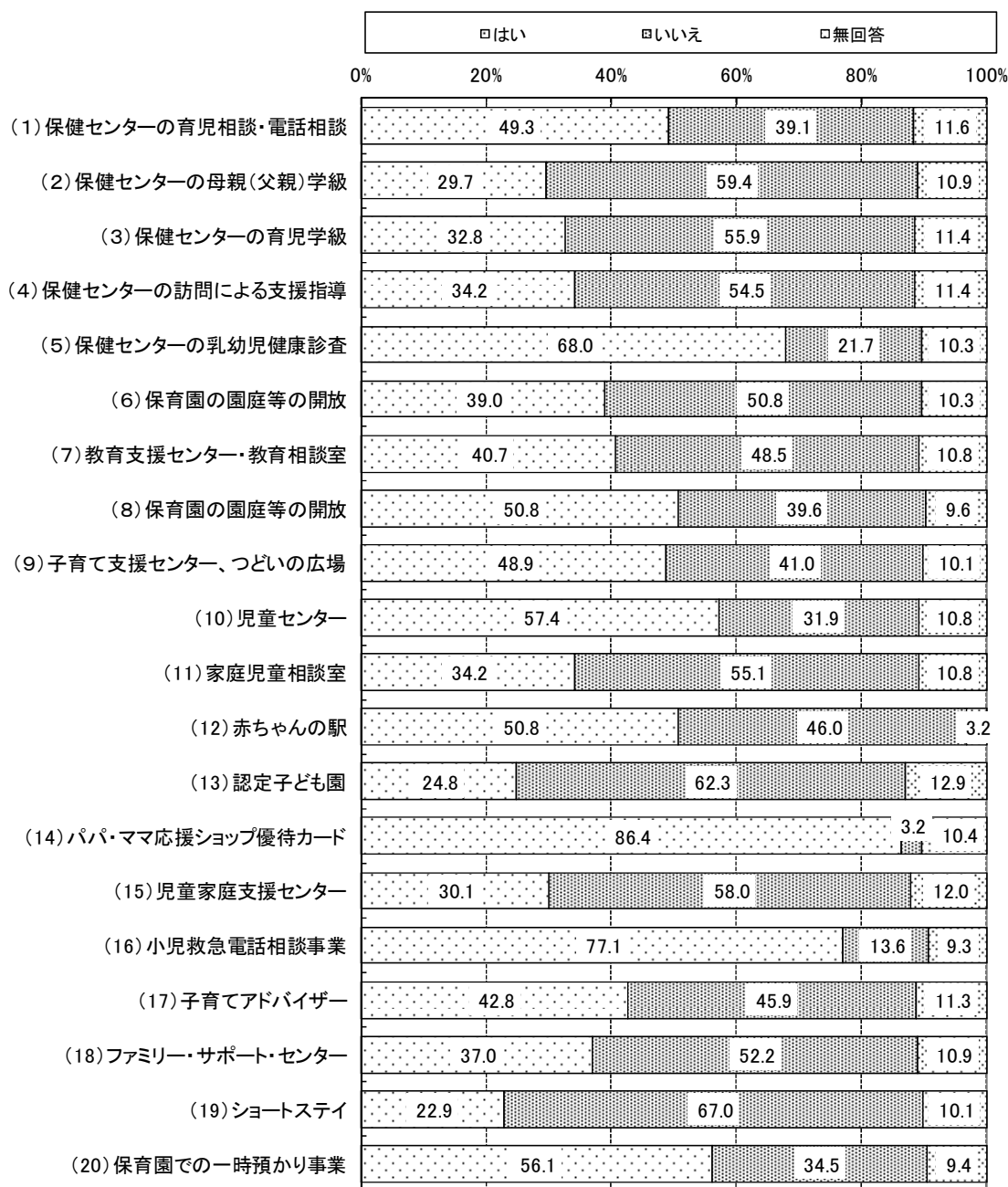
【利用状況】



子育て支援事業の利用状況では「(14) パパ・ママ応援ショップ優待カード」が86.6%で最も高く、次いで「(4) 保健センターの訪問による支援指導」(80.6%)、「(16) 小児救急電話相談事業」(53.8%)、「(9) 子育て支援センター、つどいの広場」(51.9%)の各事業は50%以上となっています。

「(19) ショートステイ」は利用状況が1.4%で最も低くなっています。

【今後の利用意向】



子育て支援事業の今後の利用意向では「(14) パパ・ママ応援ショップ優待カード」が86.4%で最も高く、次いで「(16) 小児救急電話相談事業」、「(5) 保健センターの乳幼児健康診査」、「(10) 児童センター」、「(8) 保育園の園庭等の開放」、「(12) 赤ちゃんの駅」を半数以上の人が挙げています。

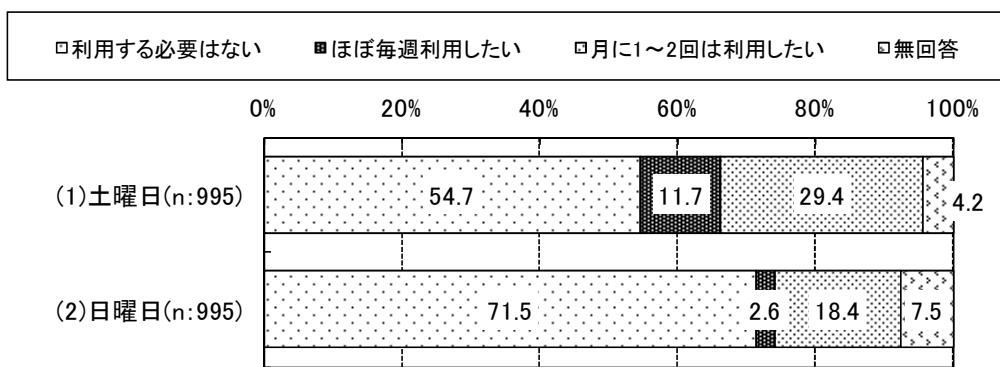
「(19) ショートステイ」の利用意向は22.9%で最も低くなっています。

7. 土曜・休日や長期休暇中の「定期的」な教育・保育事業の利用希望について

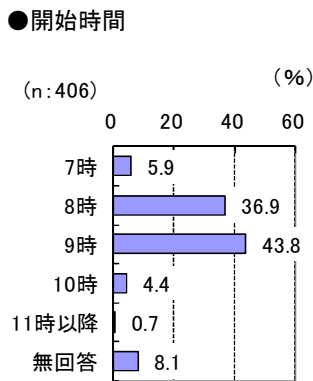
(1) 土曜日、日曜日・祝日の定期的な教育・保育事業の利用希望

問 20 宛名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、定期的な教育・保育事業※の利用希望（一時的な利用は除きます）はありますか。（それぞれ1つに○、希望がある場合は利用したい時間帯を記入）

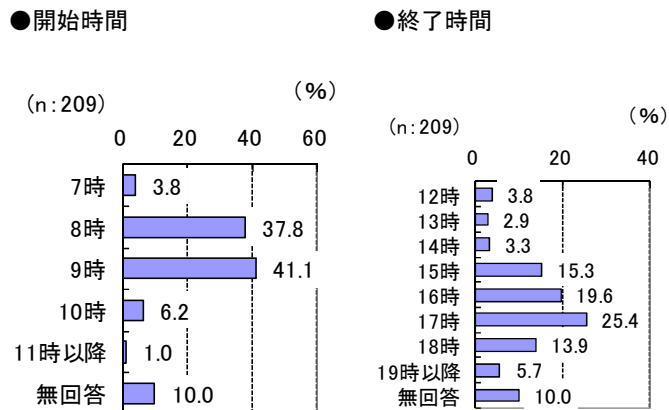
※教育・保育事業：幼稚園、保育所、認可外保育施設などの事業を指し、親族・知人による預かりは含みません。



■土曜日の利用希望



■日曜日・祝日の利用希望



土曜日、日曜日・祝日の定期的な教育・保育事業の利用希望は、土曜日は41.1%（「ほぼ毎週利用したい」(11.7%)、「月に1~2回は利用したい」(29.4%)の合計）となっています。

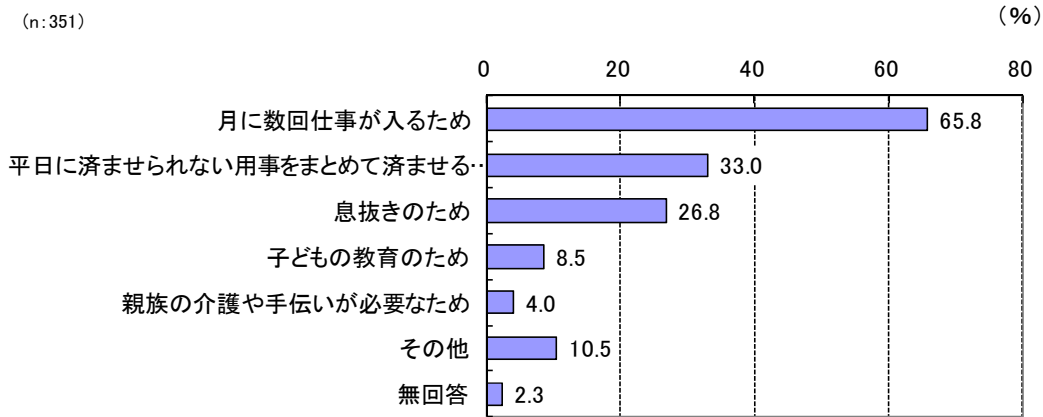
日曜日・祝日の利用希望は21.0%（「ほぼ毎週利用したい」(2.6%)、「月に1~2回は利用したい」(18.4%)の合計）となっています。

利用希望時間帯の希望は、土曜日が9時から16時が最も多く、日曜日・祝日は同様に8時から17時となっています。

(1-1) 土曜日、日曜日・祝日に定期的な教育・保育事業をたまに利用したい理由

問 20-1 問 20 の (1) 土曜日、(2) 日曜日・祝日で、「3. 月に1~2回は利用したい」に○をつけた方のみ

毎週ではなく、たまに利用したい理由は何ですか。(あてはまる番号すべてに○)

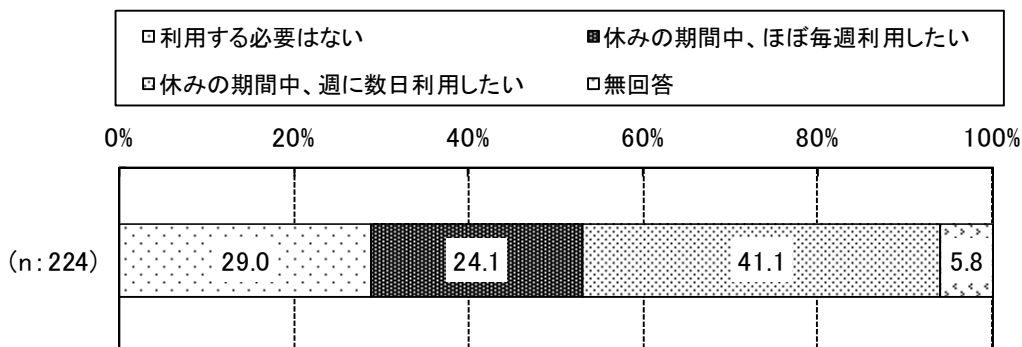


土曜日、日曜日・祝日の定期的な教育・保育事業を利用したい理由は、「月に数回仕事が入るため」(65.8%)、「平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため」(33.0%)が上位に挙げられています。

(2) 長期の休暇期間中の教育・保育事業の利用希望

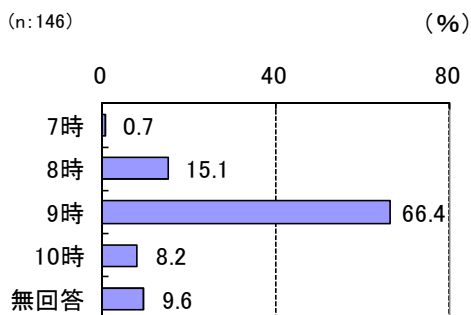
問 21 「幼稚園」を利用されている方のみ

宛名のお子さんについて、夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中の教育・保育の事業の利用を希望しますか。(1つに○、希望がある場合は利用したい時間帯を記入)

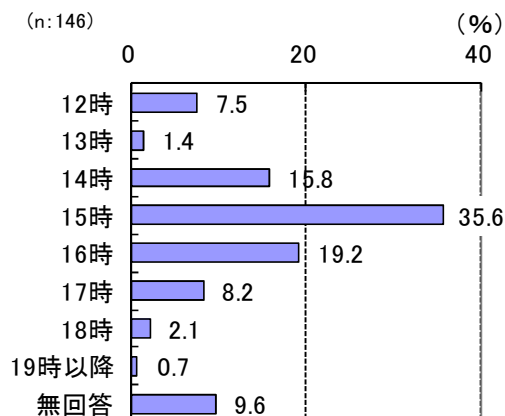


■長期の休暇期間中の利用希望

●利用希望開始時間



●利用希望終了時間

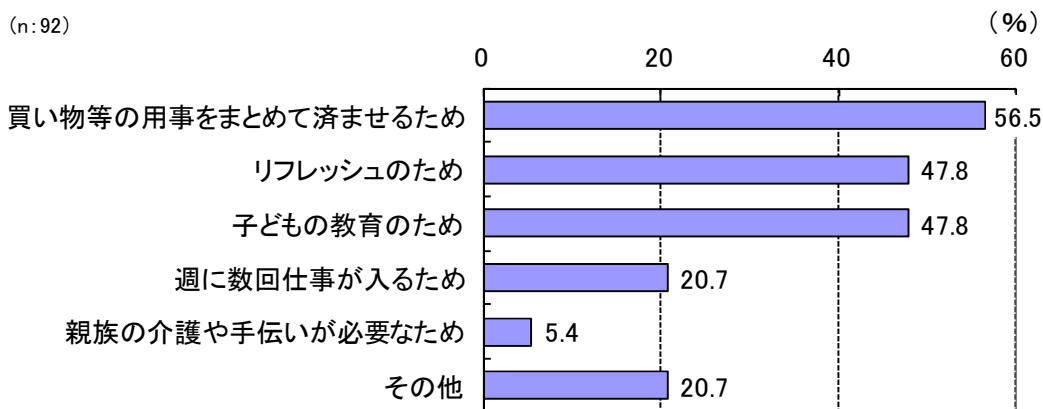


幼稚園利用者の夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中の教育・保育の事業の利用希望は、65.2%（「休みの期間中、ほぼ毎週利用したい」(24.1%)、「休みの期間中、週に数日利用したい」(41.1%)の合計）となっています。

利用希望時間帯の希望は、9時から15時が最も多くなっています。

(2-1) 長期の休暇期間中の教育・保育事業をたまに利用したい理由

問21-1 問21で「3. 休みの期間中、週に数日利用したい」に○をつけた方のみ
毎日ではなく、たまに利用したい理由は何ですか。(あてはまる番号すべてに○)

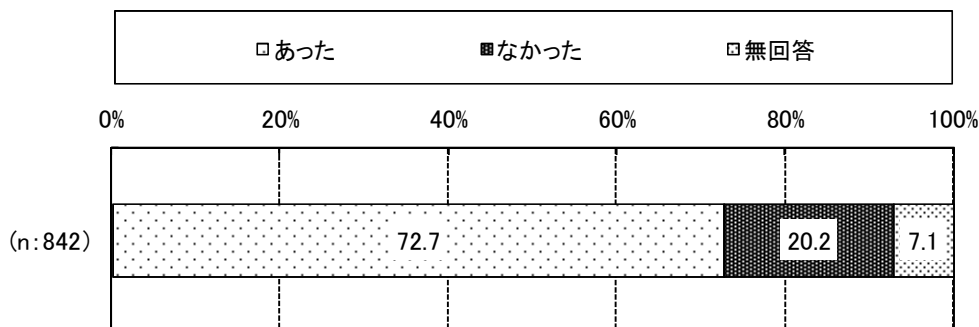


幼稚園利用者の夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中の教育・保育の事業の利用したい理由は、「買い物等の用事をまとめて済ませるため」(56.5%)、「リフレッシュのため」(47.8%)、「週に数回仕事が入るため」(47.8%)が上位に挙げられています。

8. 子どもの病気の際の対応について (※平日の教育・保育を利用している方のみ)

(1) 病気やケガで教育・保育の事業が利用できなかった経験

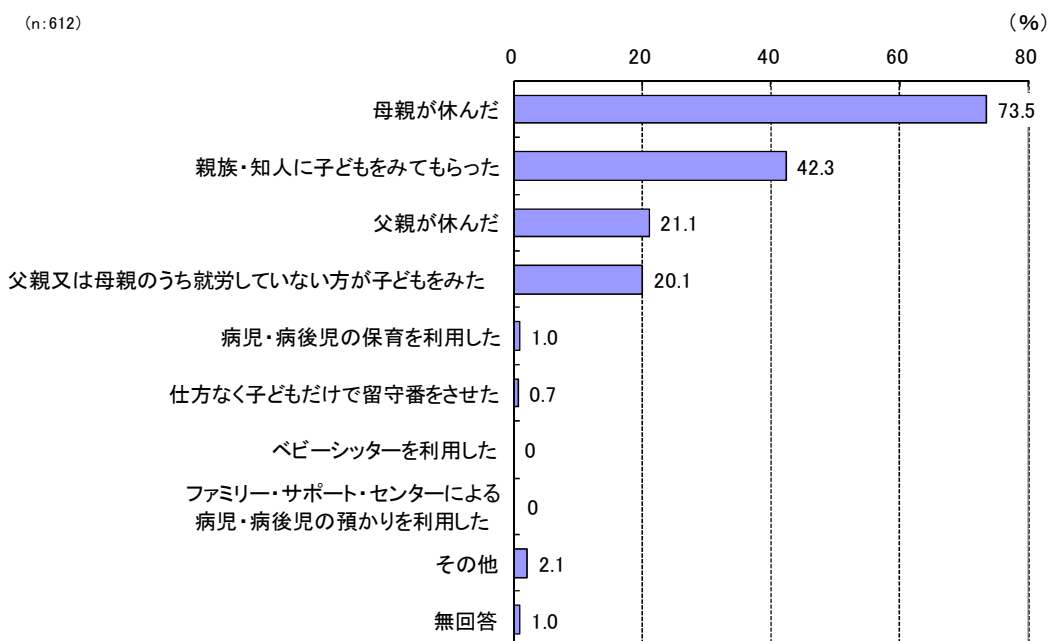
問 22 問 15 で「1. 利用している」に○をつけた方のみ
 この1年間に、宛名のお子さんが病気やケガで通常の事業が利用できなかったことはありますか。(1つに○)



この1年間に病気やケガで教育・保育の事業が利用できなかったことがあるかをみると、「あった」が72.7%、「なかった」が20.2%となっています。

(1-1) 病気やケガで教育・保育の事業が利用できなかった際の対処方法

問 22-1 問 22 で「1. あった」に○をつけた方のみ
 宛名のお子さんが病気やけがで普段利用している教育・保育の事業が利用できなかった場合に、この1年間に行った対処方法をお答えください。
 (あてはまる番号すべてに○、それぞれの日数を記入、半日程度の対応の場合も1日とカウントする)

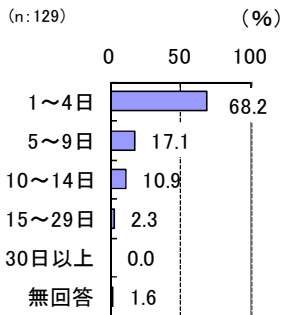


第2部 調査結果(就学前児童保護者)

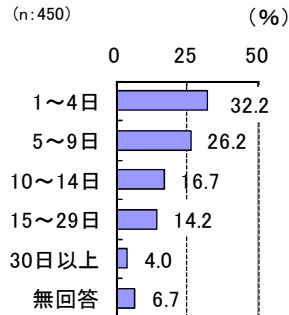
子どもが病気やケガで教育・保育の事業を利用できなかったと回答した 612 人に、1 年間における対処方法をたずねたところ、「母親が休んだ」が 73.5%で最も多く、次いで、「親族・知人に子どもをみてもらった」(42.3%)、「父親が休んだ」(21.1%) などとなっています。

■ 1 年間の対処方法別日数

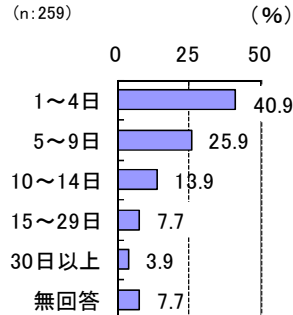
●父親が休んだ



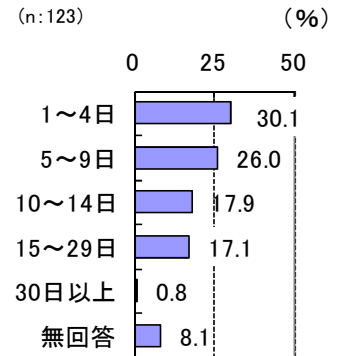
●母親が休んだ



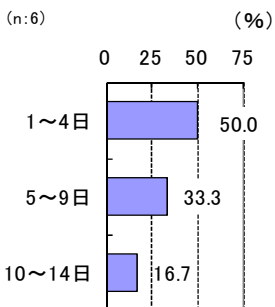
●親族・知人に子どもをみてもらった



●父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた



●病児・病後児の保育を利用した



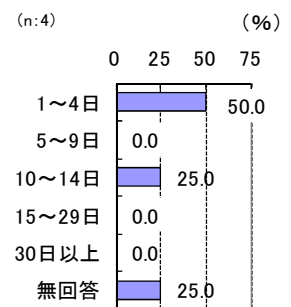
●ベビーシッターを利用した

回答者なし

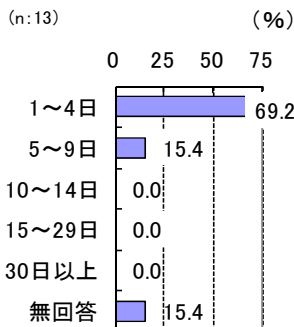
●ファミリー・サポート・センターを利用した

回答者なし

●仕方なく子どもだけで留守番をさせた

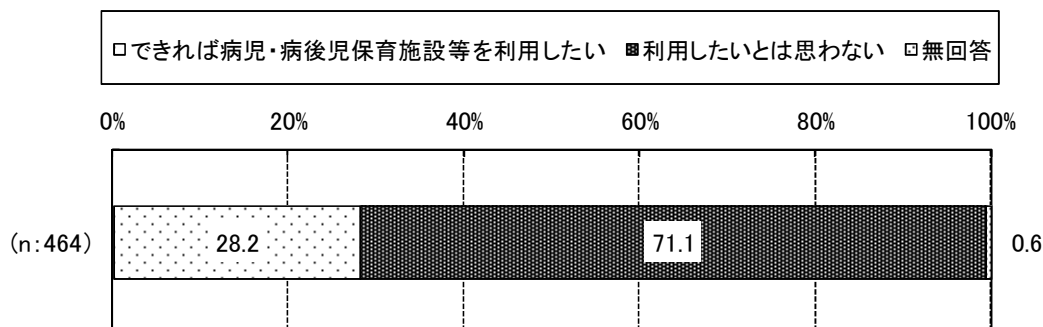


●その他



(1-2) 病児・病後児保育施設等の利用希望

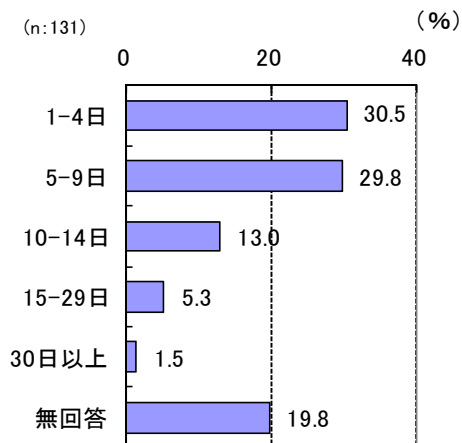
問 22-2 問 22-1 で「1. 父親が休んだ」、「2. 母親が休んだ」に○をつけた方のみ
 その際、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思われましたか。なお、病児・病後児のための事業等の利用前には、かかりつけ医の受診が必要となります。＜利用料：1日2,000円程度＞（1つに○、日数を記入）



病児・病後児のための保育施設を利用したいと思ったかをみると、28.2%が「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」と回答しています。

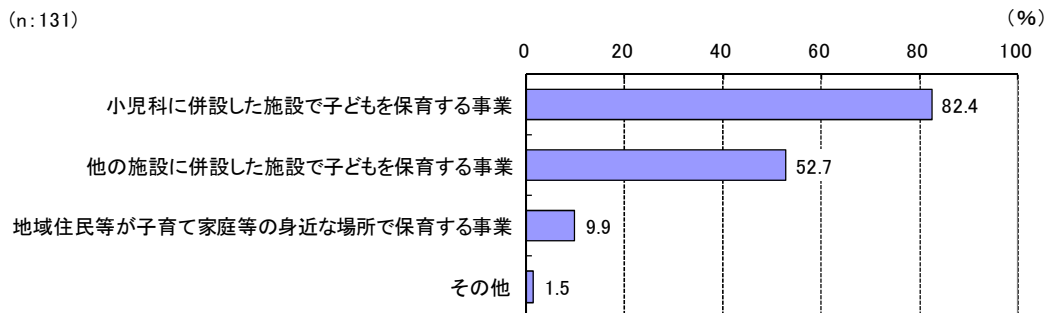
また、希望利用日数については、「1～4日」(30.5%)が最も多く挙げられています。

● 病児・病後児保育施設等を利用したい日数



(1-3) 病児・病後児保育施設の望ましい事業形態

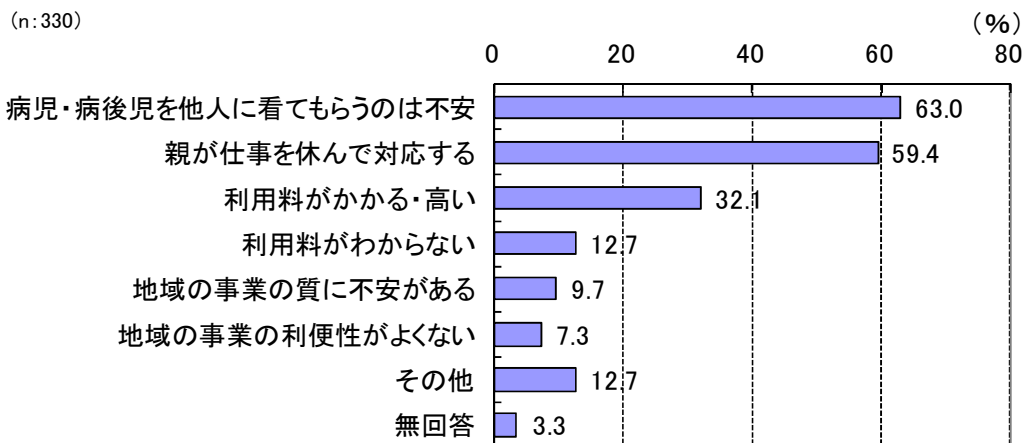
問 22-3 問 22-2 で「1. できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」に○をつけた方のみ
 上記の目的で子どもを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われるか。(あてはまる番号すべてに○)



病児・病後児保育施設を利用したいと回答した 131 人に、病児・病後児保育施設の望ましい事業形態についてたずねたところ、「小児科に併設した施設で子どもを保育する事業」が 82.4% で最も多くなっています。

(1-4) 病児・病後児保育施設を利用したいと思わない理由

問 22-4 問 22-2 で「2. 利用したいとは思わない」に○をつけた方のみ
 そう思われる理由をお答えください。(あてはまる番号すべてに○)



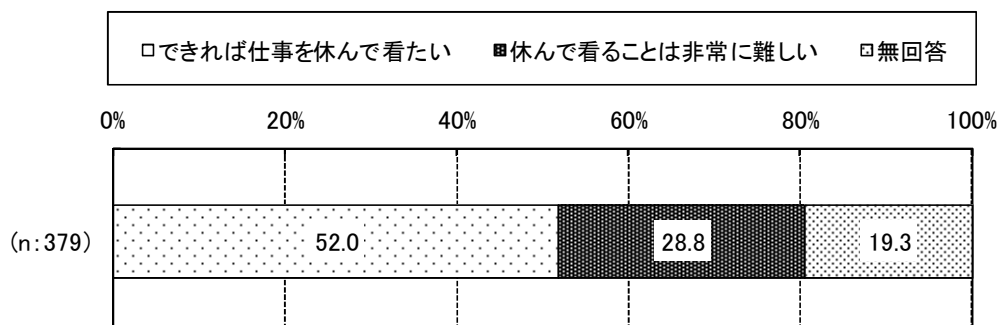
病児・病後児保育施設を利用したいと思わない理由をみると、「病児・病後児を他人に看てもらうのは不安」(63.0%)、「親が仕事を休んで対応する」(59.4%) が多く挙げられています。

(1-5) 父母のいずれかが仕事を休んで看たいと思ったか

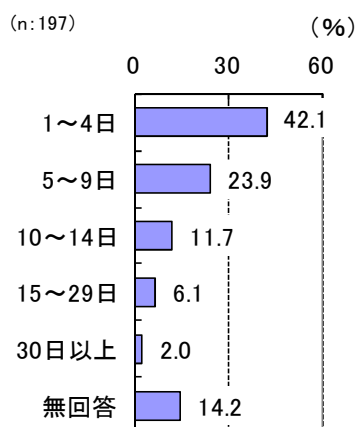
問 22-5 問 22-1 で「3」～「9」に○をつけた方のみ

その際、「できれば父母のいずれかが仕事を休んで看たい」と思われましたか。

(1つに○、「3」から「9」の日数のうち仕事を休んで看たかった日数を数字で記入)



● 仕事を休んで看たい日数

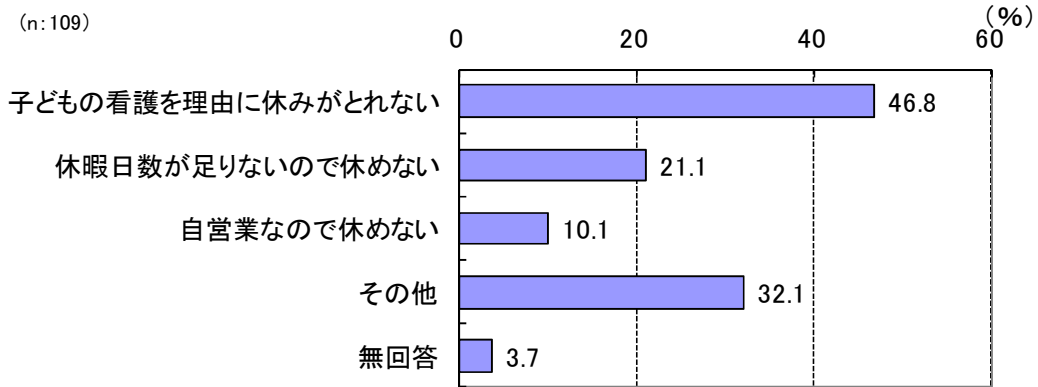


子どもが病気やケガで通常の事業が利用できなかった際に、親が仕事を休まずに対処したと回答した人に、できれば仕事を休んで看たいと思ったかをたずねたところ、「できれば仕事を休んで看たい」が52.0%、「休んで看ることは非常に難しい」が28.8%となっています。

また、仕事を休んで看たかった日数については、「1～4日」が42.1%で最も多くなっています。

(1-6) 仕事を休んで看ることが非常に難しいと思う理由

問22-6 問22-5で「2. 休んで看ことは非常に難しい」に○をつけた方のみ
そう思われる理由をお答えください。(あてはまる番号すべてに○)

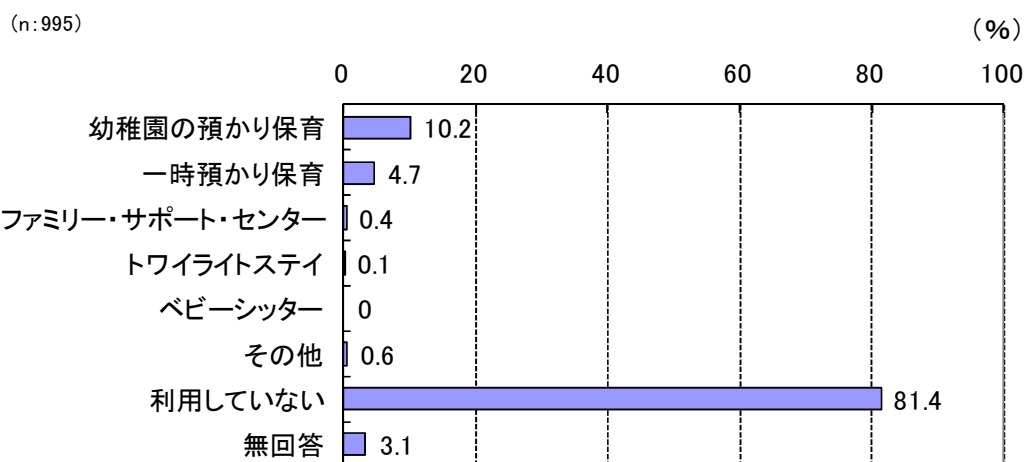


親が仕事を休んで看ことは難しい理由をみると、「子どもの看護を理由に休みがとれない」が46.8%、「休暇日数が足りないので休めない」が21.1%、「自営業なので休めない」が10.1%となっています。

9. 不特定の教育・保育事業や宿泊を伴わない一時預かり等の利用について

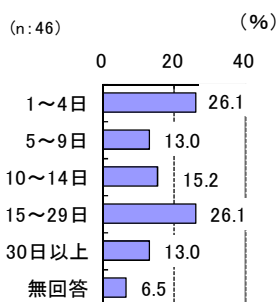
(1) 私用等の目的での不特定の教育・保育事業の利用状況

問 23 宛名のお子さんについて、日中の定期的な保育や病気のため以外に、私用、親の通院、不特定の就労等の目的で不特定に利用している事業はありますか。(あてはまる番号すべてに○、1年間のおおよその利用日数を記入)

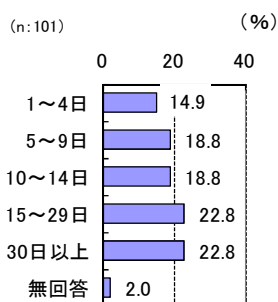


■ 1年間に利用した事業別日数

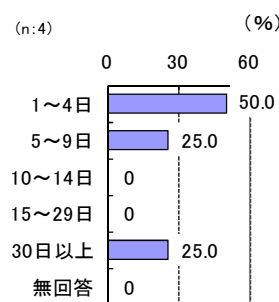
● 一時預かり保育



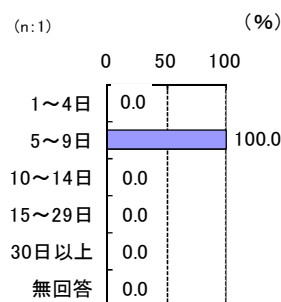
● 幼稚園の預かり保育



● ファミリー・サポート・センター



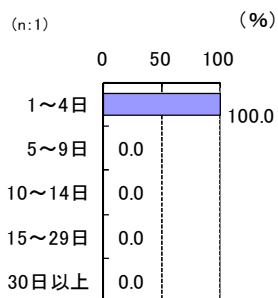
● トワイライトステイ



● ベビーシッター

回答者なし

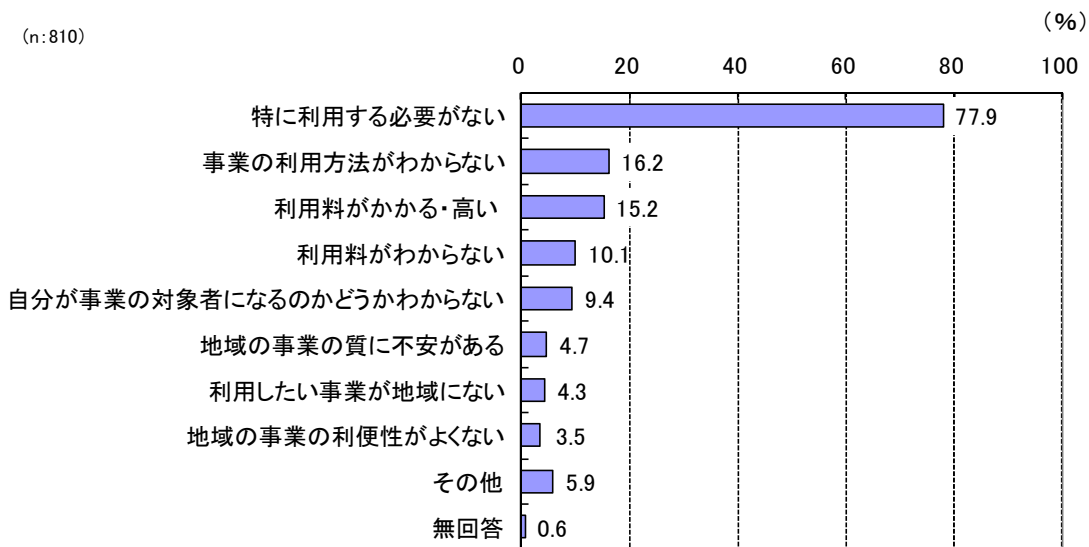
● その他



1年間に私用等の目的で不定期に利用した事業については、「幼稚園の預かり保育」が10.2%、「一時預かり保育」が4.7%などとなっています。一方、81.4%が「利用していない」と回答しています。

(1-1) 不定期の教育・保育事業を利用していない理由

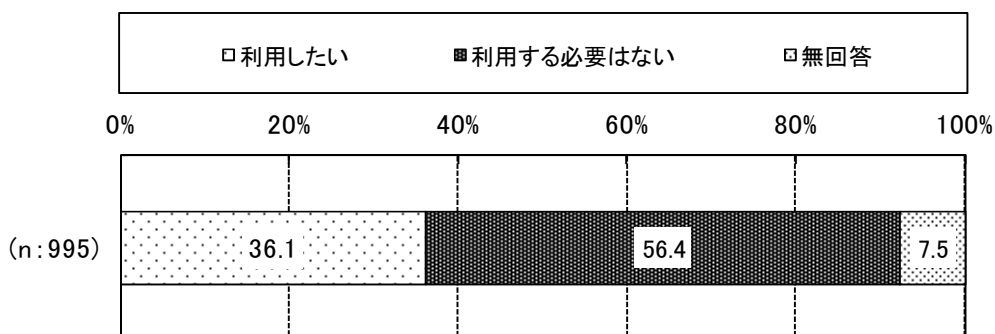
問23-1 問23で「7. 利用していない」に○をつけた方のみ
 現在利用していない理由は何ですか。(あてはまる番号すべてに○)



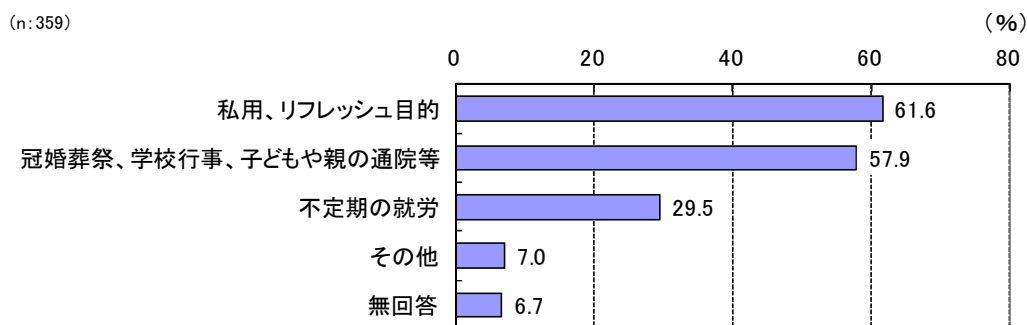
不定期の教育・保育事業を利用していない理由をみると、「特に利用する必要がない」が77.9%で最も多く、次いで「事業の利用方法がわからない」(16.2%)、「利用料がかかる・わからない」(15.2%)などの順となっています。

(2) 私用等の目的での不定期の教育・保育事業の利用希望

問24 宛名のお子さんについて、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で、年間何日くらい事業を利用する必要があると思いますか。(あてはまる番号・記号すべてに○、利用したい場合は日数の合計と目的別の内訳の日数を記入)



■利用目的



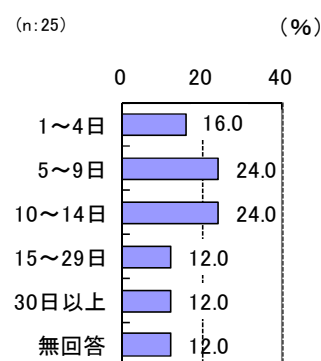
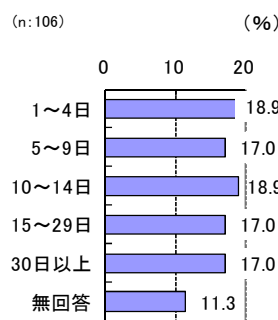
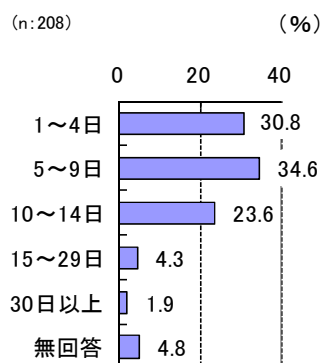
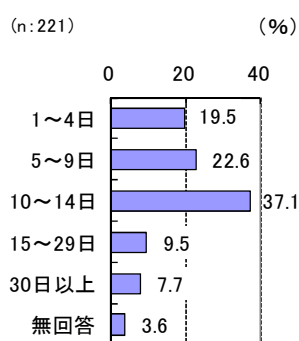
■私用等の目的での不定期の教育・保育事業の利用希望日数

●私用、リフレッシュ目的

●冠婚葬祭、学校行事、子どもや親の通院等

●不定期の就労

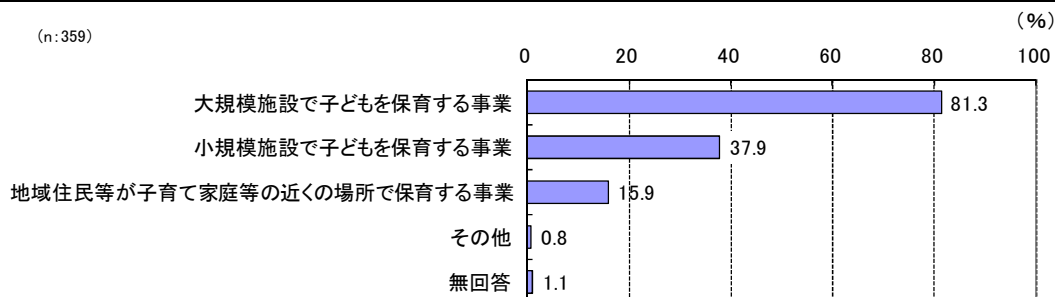
●その他



不定期の事業を利用したいと回答した 359 人に、利用目的をたずねたところ、「私用、リフレッシュ目的」が 61.6%と最も多く、「冠婚葬祭、学校行事、子どもや親の通院等」が 57.9%、「不定期の就労」が 29.5%となっています。

(2-1) 不定期の教育・保育事業の望ましい事業形態

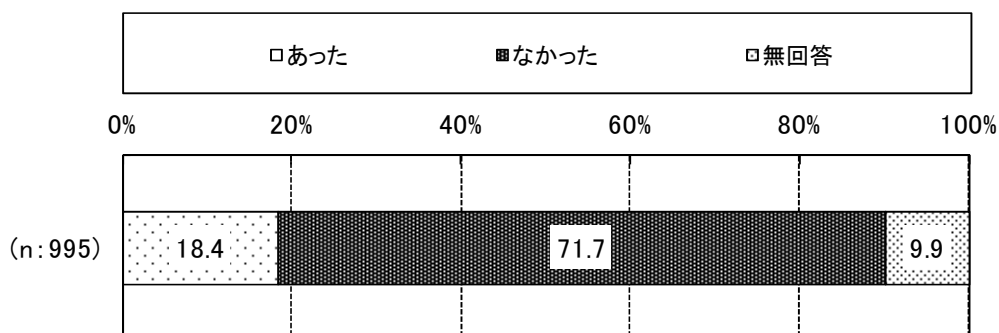
問 24-1 問 24 で「1. 利用したい」に○をつけた方のみ
 問 24 の目的でお子さんを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われますか。(あてはまる番号すべてに○)



不定期の教育・保育事業の望ましい事業形態をみると「大規模施設で子どもを保育する事業」が 81.3% と最も多く、次いで「小規模施設で子どもを保育する事業」が 37.9%、「地域住民等が子育て家庭等の近くの場所で保育する事業」が 15.9% となっています。

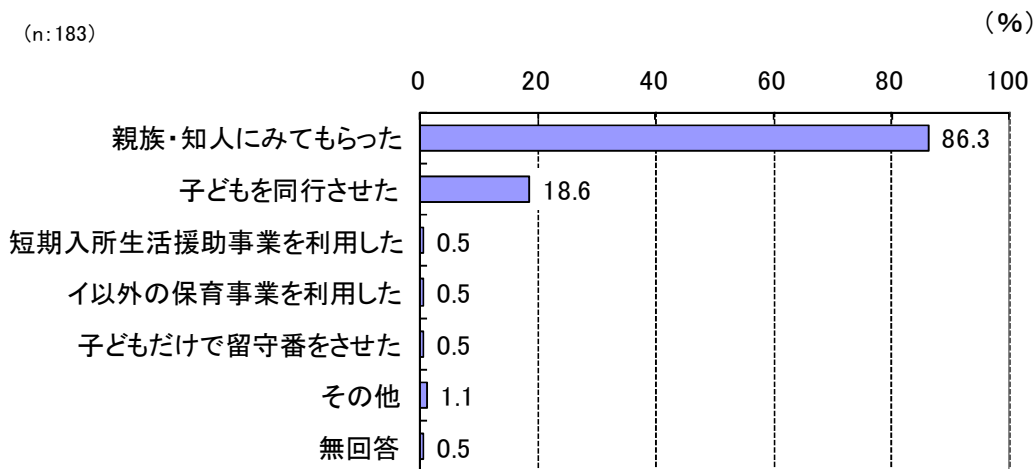
(3) 子どもを泊りがけで家族以外の人にみてもらった経験

問 25 この 1 年間に、保護者の用事(冠婚葬祭、保護者・家族の病気など)により、宛名のお子さんを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないこと(預け先が見つからなかった場合も含みます)はありましたか。(あてはまる番号・記号すべてに○、あった場合はそれぞれの日数を記入)



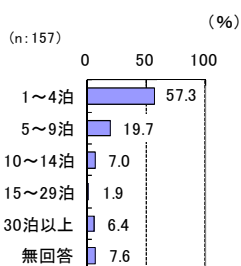
この 1 年間に、保護者の用事などにより、子どもを泊まりがけで家族以外に預けなければならないことがあったかたずねたところ、「あった」が 18.4%、「なかった」が 71.7% となっています。

■ 対処方法

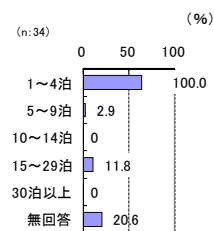
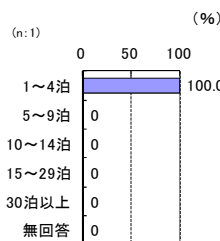


■ 1年間の対処方法

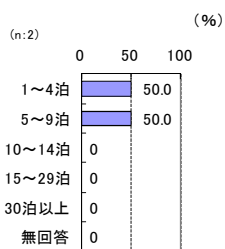
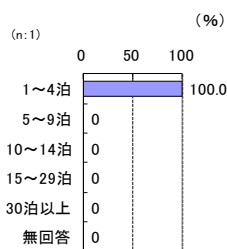
- 親族・知人にみてもらった
- 短期入所生活援助事業を利用した
- 短期入所生活援助事業以外の保育事業を利用した
- 子どもを同行させた



回答者なし



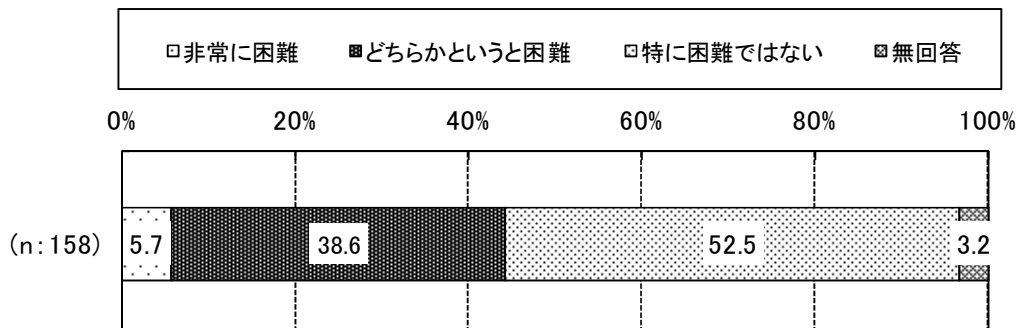
- 子どもだけで留守番をさせた
- その他



子どもを泊まりがけで家族以外に預けなければならないことがあったと回答した183人に、対処方法をたずねたところ、「親族・知人にみてもらった」が86.3%で最も多くなっています。

(3-1) 親族・知人に泊りがけで子どもをみてもらうことの困難度

問 25-1 問 25 で「ア. (同居者を含む) 親族・知人にみてもらった」に○をつけた方のみ
その場合の困難度はどの程度でしたか。(1つに○)

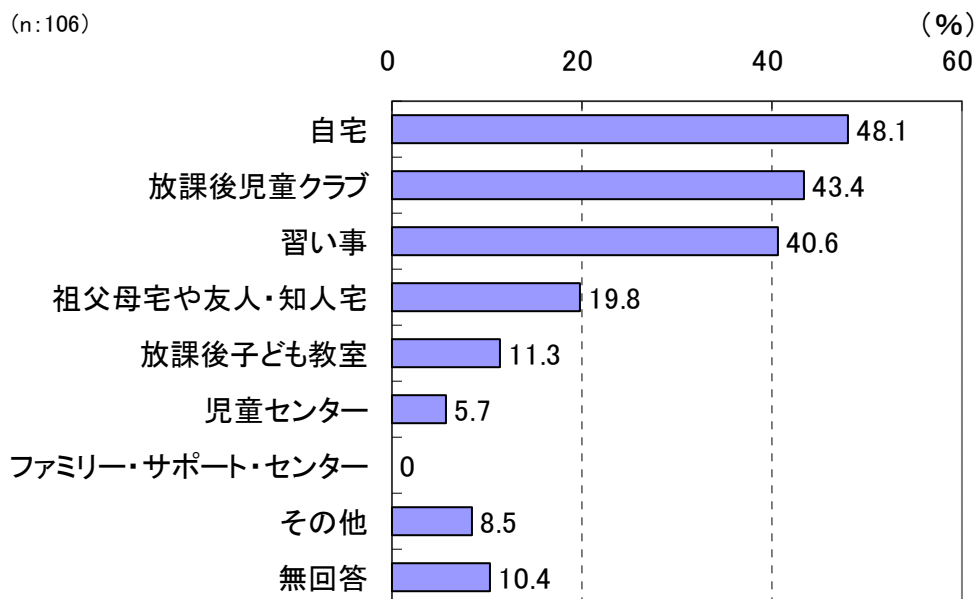


親族・知人に子どもをみてもらった際の困難度をみると、その際の困難の程度をたずねたところ、「特に困難ではない」は52.5%で最も多く、「非常に困難」が5.7%、「どちらかという困難」が38.6%となっています。

10. 小学校就学後の放課後の過ごし方について (※5歳以上の方のみ)

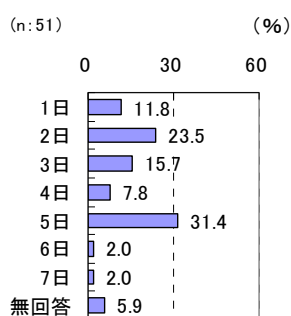
(1) 低学年時の放課後の過ごし方の希望

問 26 名のお子さんについて、小学校低学年(1~3年生)のうちは、放課後(平日の小学校終了後)の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。(あてはまる番号すべてに○、希望する週あたりの日数を記入、「6. 放課後児童クラブ(学童保育)」の場合には利用を希望する時間を記入)

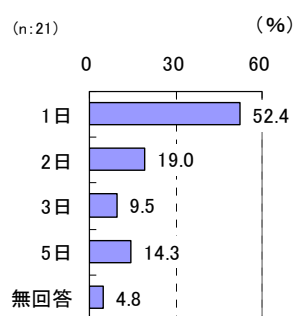


■ 週あたりの利用希望日数

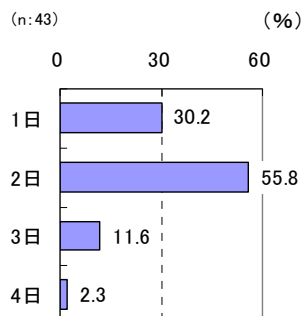
● 自宅



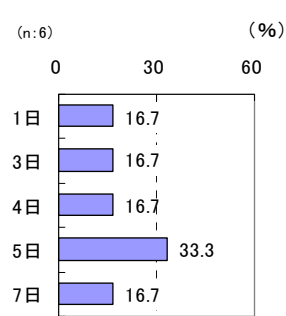
● 祖父母宅や友人・知人宅



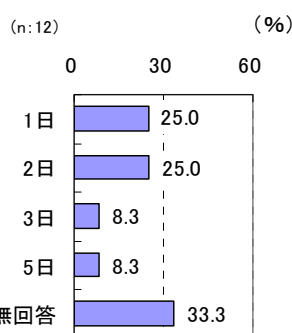
● 習い事



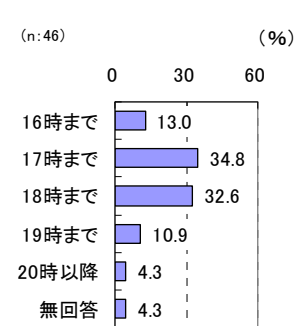
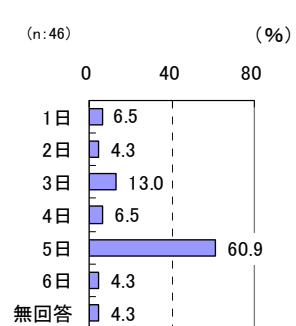
● 児童センター



● 放課後子ども教室



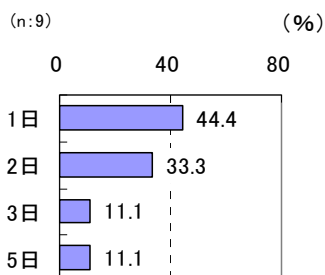
● 放課後児童クラブ (学童保育) ⇒ 利用希望時間 (下校時から)



● ファミリー・サポート・センター

回答者なし

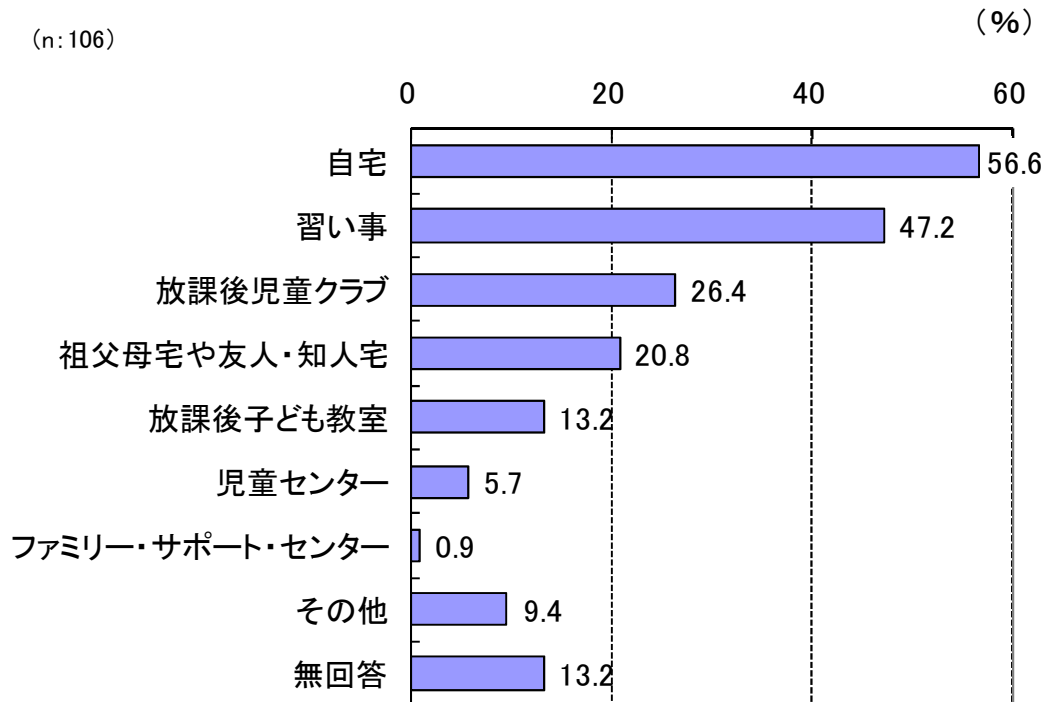
● その他



小学校低学年（1～3年生）のうち放課後の時間をどこで過ごさせたいかをたずねたところ、「自宅」が48.1%と最も多く、次いで、「放課後児童クラブ」(43.4%)、「習い事」(40.6%)の順となっています。

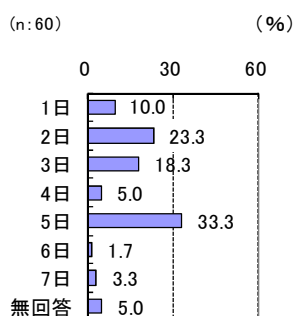
(2) 高学年時の放課後の過ごし方の希望

問 27 宛名のお子さんについて、小学校高学年（4～6年生）になったら、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。（あてはまる番号すべてに○、希望する週あたりの日数を記入、「6. 放課後児童クラブ（学童保育）」の場合には利用を希望する時間を記入）
 ※先のこととなりますが、現在お持ちのイメージでお答えください。

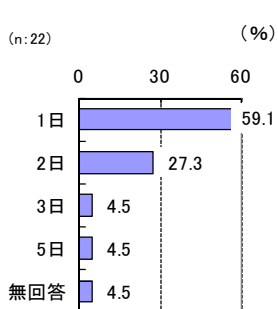


■週あたりの利用希望日数

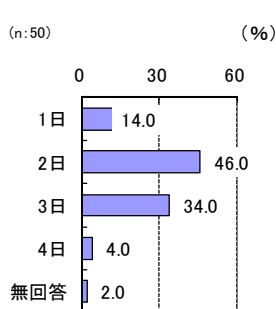
●自宅



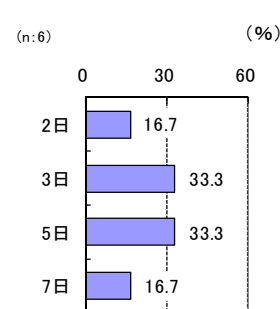
●祖父母宅や友人・知人宅



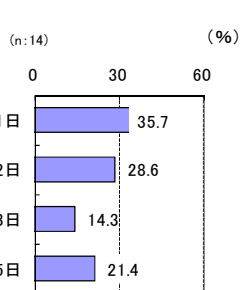
●習い事



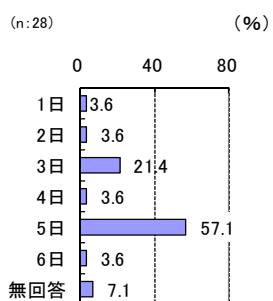
●児童センター



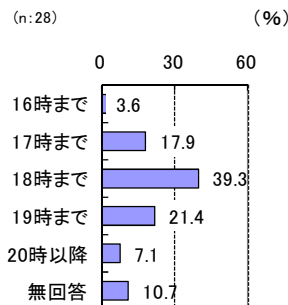
●放課後子ども教室



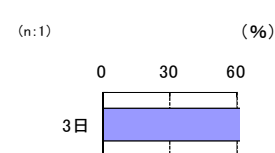
●放課後児童クラブ(学童保育) ⇒利用希望時間(下校時から)



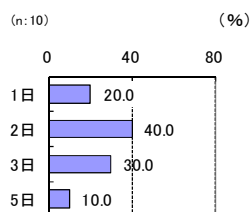
⇒利用希望時間(下校時から)



●ファミリー・サポート・センター



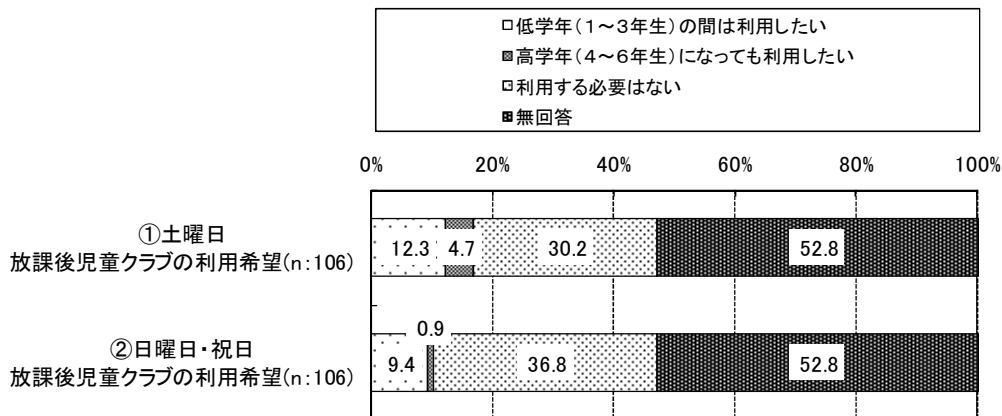
●その他



小学校高学年(4~6年生)のうち放課後の時間をどこで過ごさせたいかをたずねたところ、「自宅」が56.6%と最も多く、次いで「習い事」(47.2%)、「放課後児童クラブ」(26.4%)、「祖父母宅や友人・知人宅」(20.8%)の順となっています。

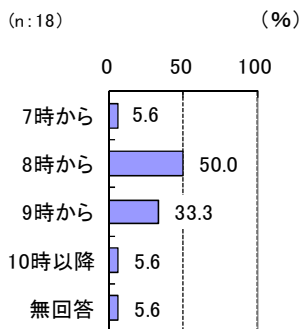
(3) 土曜日、日曜日・祝日の放課後児童クラブの利用希望

問 28 問 26 または問 27 で「6. 放課後児童クラブ (学童保育)」に○をつけた方のみ宛名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、放課後児童クラブの利用希望はありますか。なお、事業の利用には一定の利用料がかかります。(それぞれ1つに○、利用したい場合は時間帯を記入)

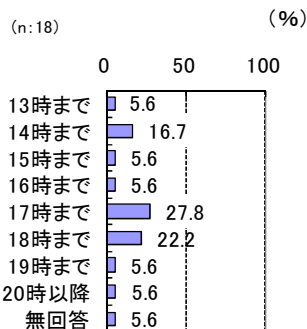


■ 土曜日の利用希望

● 利用希望開始時間

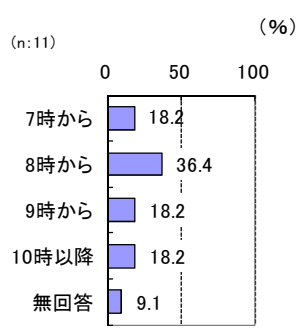


● 利用希望終了時間

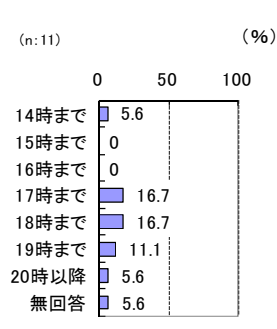


■ 日曜日・祝日の利用希望

● 利用希望開始時間



● 利用希望終了時間



小学校の低学年または高学年に「放課後児童クラブ (学童保育)」を利用させたいと回答した 106 人に、土曜日・日曜日・祝日の放課後児童クラブ (学童保育) の利用希望をたずねたところ、土曜日では、「低学年の間は利用したい」が 12.3%、「高学年になっても利用したい」が 4.3%と、全体の 17.0%に土曜日の利用希望がみられます。

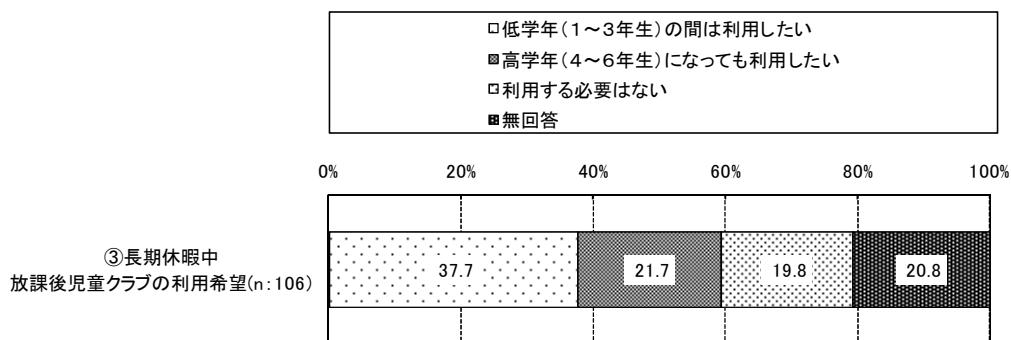
一方、30.2%が「利用する必要はない」と回答しています。

また、日曜日・祝日では、「低学年の間は利用したい」が 9.4%、「高学年になっても利用したい」が 0.9%と、全体の 10.3%に日曜日・祝日の利用希望がみられます。

一方、36.8%が「利用する必要はない」と回答しています。

(4) 長期休暇中の放課後児童クラブの利用希望

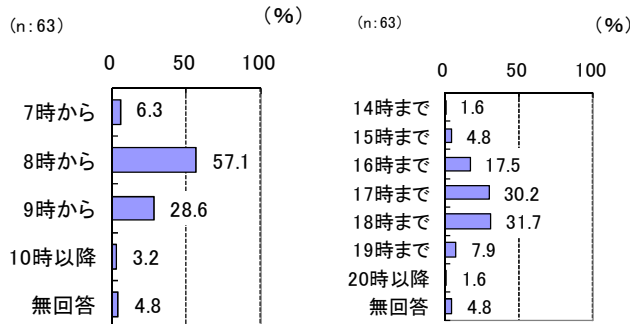
問 29 宛名のお子さんについて、お子さんの夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中の放課後児童クラブの利用希望はありますか。なお、事業の利用には一定の利用料がかかります。
(1つに○、利用したい場合は時間帯を記入)



■ 長期休暇中の利用希望

● 利用希望開始時間

● 利用希望終了時間



長期休暇期間中の放課後児童クラブ(学童保育)の利用希望については、「低学年の間は利用したい」が37.7%、「高学年になっても利用したい」が21.7%と、全体の半数以上に長期休暇期間中の利用希望がみられます。

一方、19.8%は「利用する必要はない」と回答しています。

希望利用開始時間については、「8時から」が57.1%で最も多くなっています。

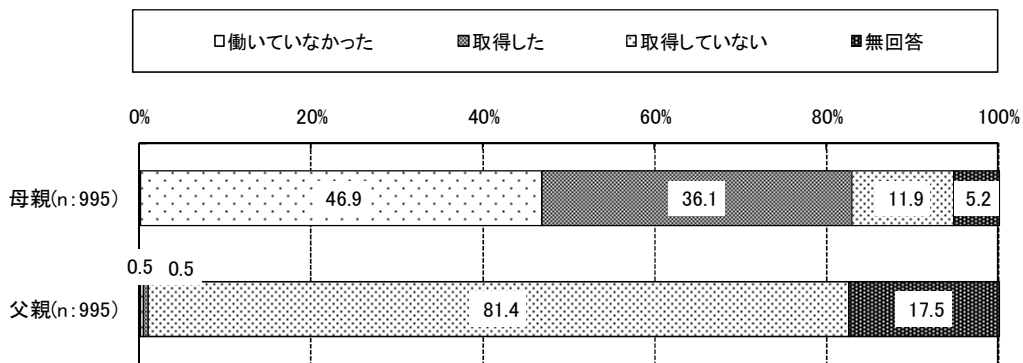
また、希望利用終了時間については、「18時まで」が31.7%と最も多くなっています。

11. 育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度について

(1) 育児休業の取得状況

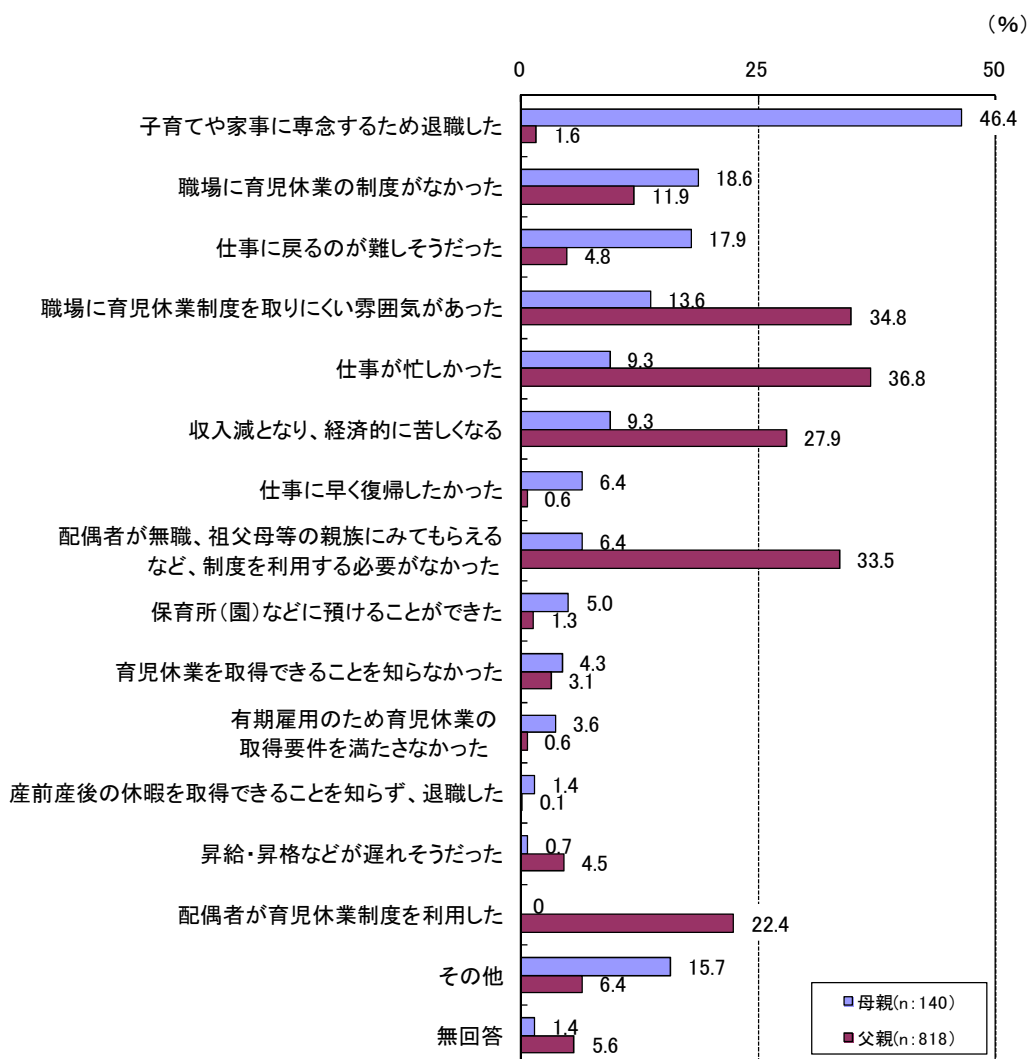
問 30 宛名のお子さんが生まれた時、父母のいずれかもしくは双方が育児休業を取得しましたか。また、取得していない方はその理由をお答えください。
 (それぞれ1つに○、取得していない方はその理由を記入)

■ 育児休業の取得状況



子どもが生まれた時に育児休業を取得した割合は、母親が36.1%、父親が0.5%となっています。

■育児休業を取得していない理由

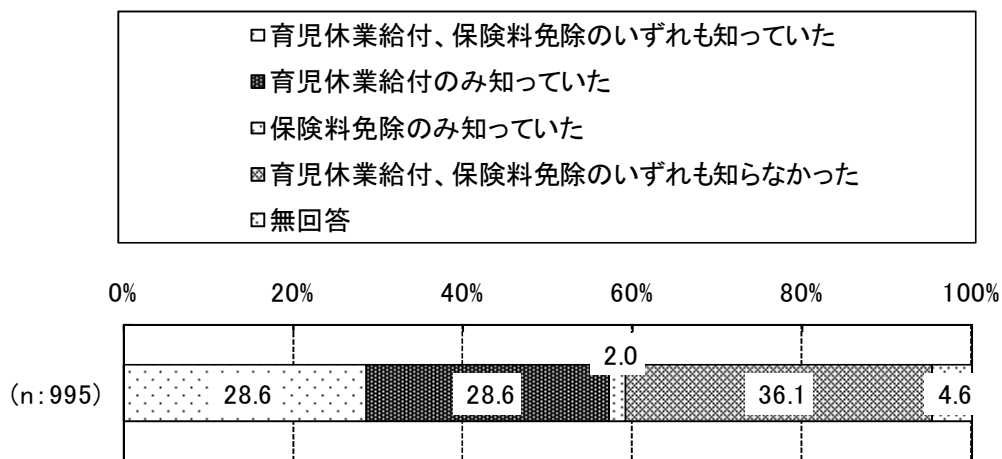


育児休業を取得していない母親 140 人の取得していない理由をみると、「子育てや家事に専念するため退職した」が 46.4%と最も多く、次いで「職場に育児休業の制度がなかった」(18.6%)、「仕事に戻るのが難しそうだった」(17.9%)などが上位に挙げられています。

育児休業を取得していない父親 818 人の取得していない理由をみると、「仕事が忙しかった」が 36.8%と最も多く、次いで「職場に育児休業制度を取りにくい雰囲気があった」(34.8%)、「配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった」(33.5%)、「収入減となり、経済的に苦しくなる」(27.9%)などが上位に挙げられています。

(1-1) 育児休業給付、健康保険・厚生年金保険料免除制度の認知度

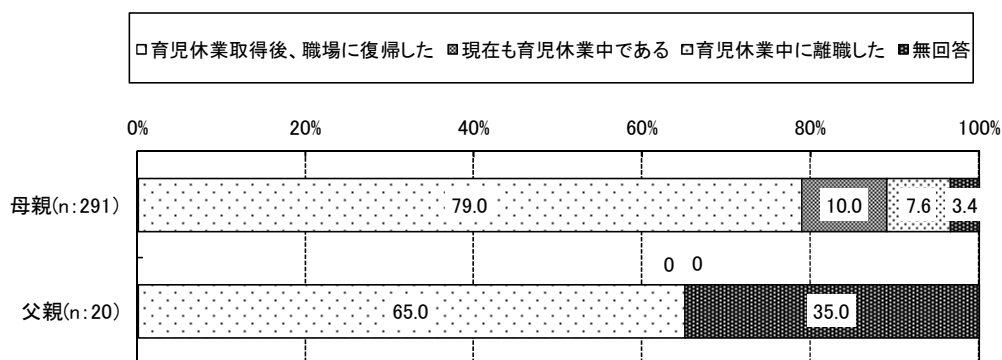
問 30-1 子どもが原則1歳(保育所における保育の実施が行われないなど一定の要件を満たす場合は1歳6月)になるまで育児休業給付が支給される仕組み、子どもが満3歳になるまでの育児休業等(法定の育児休業及び企業が法定を上回る期間設けた育児休業に準ずる措置)期間について健康保険及び厚生年金保険の保険料が免除になる仕組みがありますが、そのことをご存じでしたか。(1つに○)



育児休業給付、健康保険・厚生年金保険料免除制度について知っていたかたずねたところ、「育児休業給付、保険料免除のいずれも知っていた」、「育児休業給付のみ知っていた」が28.6%、「保険料免除のみ知っていた」が2.6%となっています。

(1-2) 育児休業取得後の職場復帰の状況

問 30-2 問 30で「2. 取得した(育児休業中)」に○をつけた方のみ
育児休業取得後、職場に復帰しましたか。(それぞれ1つに○)

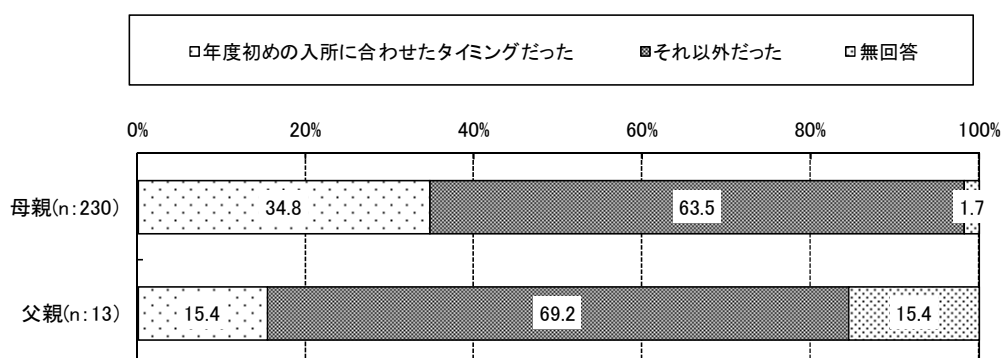


育児休業を取得した母親291人について、職場への復帰状況を見ると、「育児休業取得後、職場に復帰した」が79.0%で最も多く、「現在も育児休業中である」が10.0%、「育児休業中に離職した」が7.6%となっています。

なお、育児休業を取得した父親20人について、職場への復帰状況を見ると、「育児休業取得後、職場に復帰した」が65.0%となっています。

(1-3) 育児休業取得後の職場復帰のタイミング

問 30-3 問 30-2 で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」に○をつけた方のみ
 育児休業から職場に復帰したのは、年度初めの保育所入所に合わせたタイミングで
 したか。あるいはそれ以外でしたか。なお、年度初めでの認可保育所入所を希望し
 て、1月～2月頃に職場復帰、一時的に認可外保育所に入所した場合などは選択肢
 の「1」にあてはまります。年度初めでの入所を希望して復帰したが、実際には希
 望する保育所に入所できなかったという場合も「1」を選択してください。(それぞ
 れ1つに○)



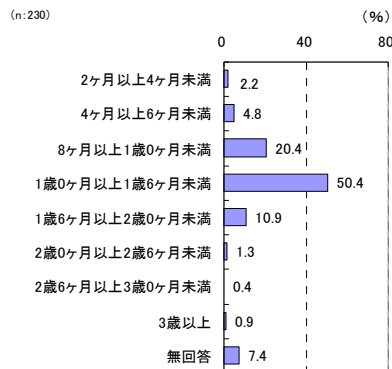
育児休業取得後の職場復帰が年度初めの保育所入所に合わせたタイミングだったかをみると、「年度初めの入所に合わせたタイミングだった」は母親が 34.8%、父親が 15.4%となっています。

(1-4) 育児休業からの職場復帰の時期

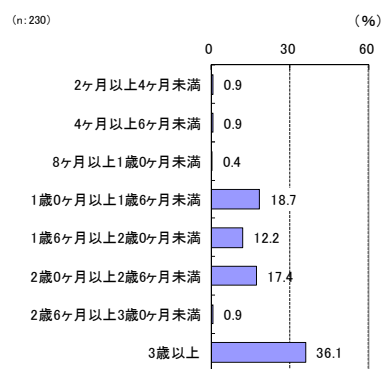
問 30-4 問 30-2 で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」に○をつけた方のみ
 育児休業からは、「実際」にお子さんが何歳何か月のときに職場復帰しましたか。また、お勤
 め先の育児休業の制度の期間内で、何歳何か月のときまで取りたかったですか。(それぞれ実
 際と希望の復帰時期を記入)

(1) 母親

●実際の復帰時期

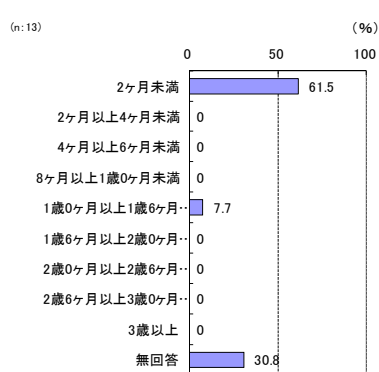


●希望の復帰時期

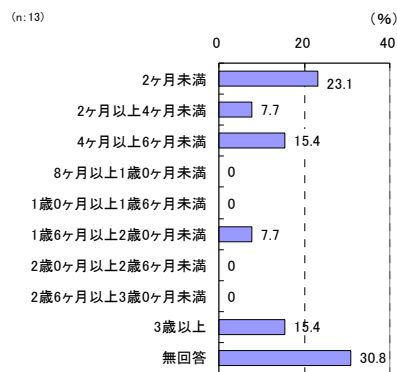


(2) 父親

●実際の復帰時期



●希望の復帰時期

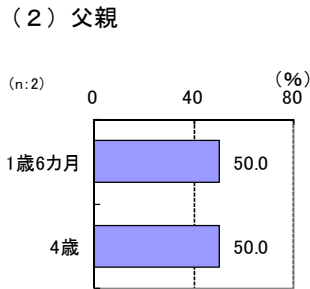


育児休業ご職場に復帰した時期について実際と希望を比較すると、母親では「1歳0カ月以上1歳6カ月未満」が実際では割合が最も高く、希望で最も割合が高のが「3歳以上」であることから希望より早く復帰している割合が高いことがうかがえます。父親でも同様の傾向が見られます。

(1-5) 3歳まで休暇を取得できる制度があった場合の希望の取得時期

問 30-5 問 30-2で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」に○をつけた方のみ
お勤め先に、育児のために3歳まで休暇を取得できる制度があった場合、「希望」としては
お子さんが何歳何か月のときまで取りたかったですか。(それぞれ希望の取得時期を記入)

(1) 母親
回答者なし



育児休業取得後、職場に復帰したと回答した方に、子どもが3歳になるまで育児休業を取得できる制度があった場合の育児休業の取得希望をみると、母親で回答がありませんでした。

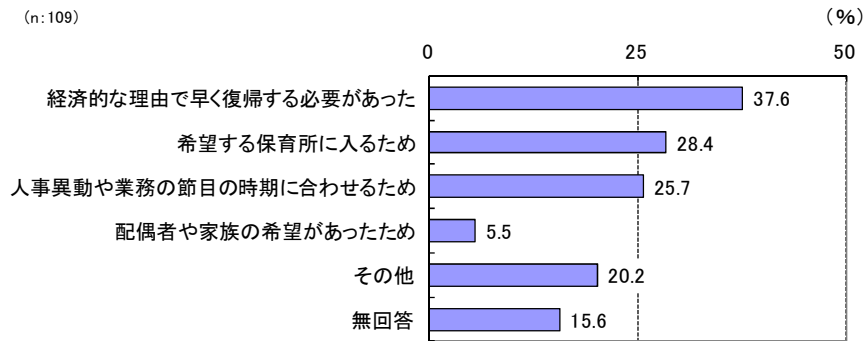
また、父親では2人が「1歳6カ月」と「4歳」と回答しています。

(1-6) 希望の時期に職場復帰しなかった理由

問 30-6 問 30-4 「実際の復帰時期」と「希望の復帰時期」が異なる方のみ
希望の時期に職場復帰しなかった理由をお答えください。

(1) 希望より早く復帰した方

①母親

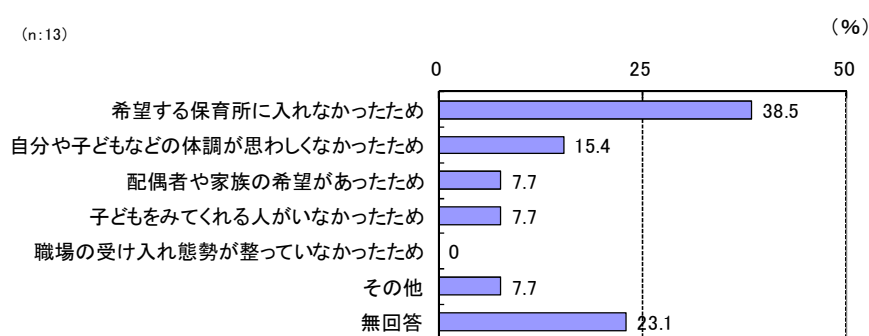


①父親

・回答なし

(2) 希望より遅く復帰した方

①母親



②父親

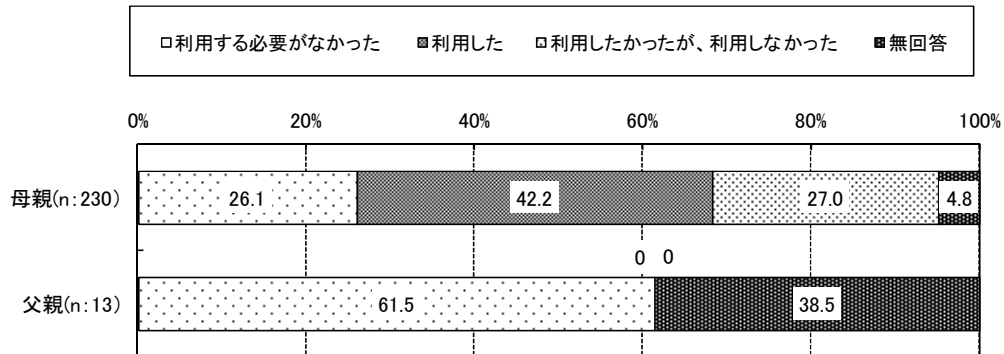
・回答なし

育児休業取得後、職場に復帰した母親に、希望の時期より早く職場復帰した理由をたずねたところ、「経済的な理由で早く復帰する必要があった」(37.6%)、「希望する保育所に入るため」(28.4%)、「人事異動や業務の節目の時期に合わせるため」(25.7%)などが多く挙げられています。

また、希望の時期より遅く職場復帰した理由については、「希望する保育所に入れなかったため」(38.5%)、「自分や子どもなどの体調が思わしくなかったため」(15.4%)などが挙げられています。

(1-7) 短時間勤務制度の利用状況

問 30-7 問 30-2 で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」に○をつけた方のみ
 育児休業からの職場復帰時には、短時間勤務制度を利用しましたか。(それぞれ1つに○)



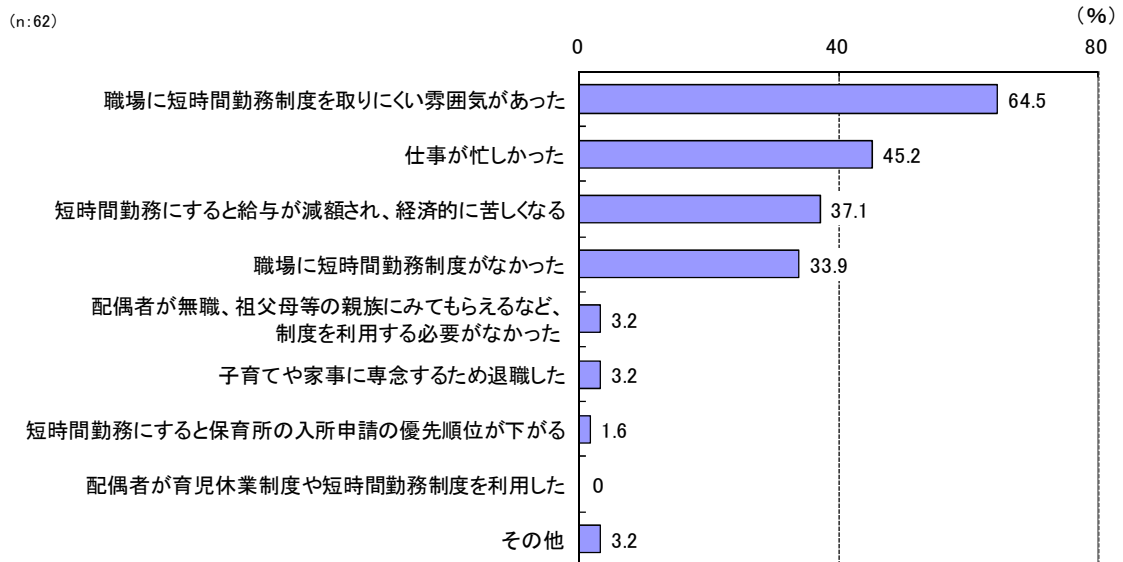
職場復帰時に短時間勤務制度を利用したかをたずねたところ、母親では、「利用した」が42.2%、「利用したかったが、利用しなかった」が27.0%、「利用する必要がなかった」が26.1%となっています。

父親では、「利用する必要がなかった」が61.5%、「利用した」、「利用したかったが、利用しなかった」の回答はありませんでした。

(1-8) 短時間勤務制度を利用しなかった理由

問 30-8 問 30-7 で「3. 利用したかったが、利用しなかった (利用できなかった)」に○をつけた方のみ

短時間勤務制度を利用しなかった理由をお答えください。(それぞれあてはまるものすべてに○)

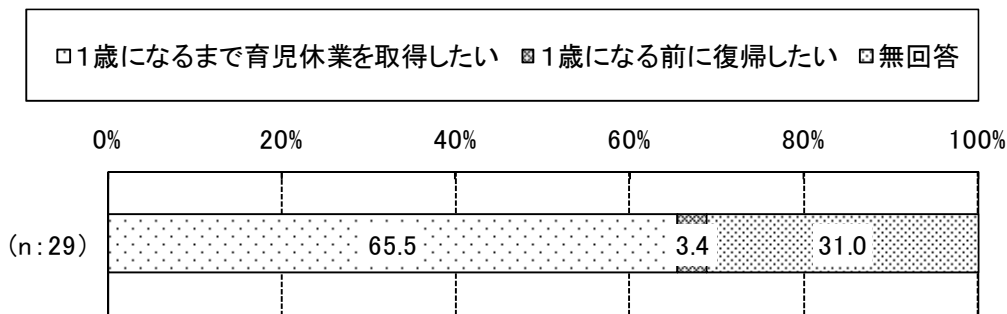


職場復帰時に短時間勤務制度を利用しなかった理由をたずねたところ、母親では「職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった」が64.5%と最も多く、次いで、「仕事が忙しかった」(45.2%)、「短時間勤務にすると給与が減額され、経済的に苦しくなる」(37.1%)、「職場に短時間勤務制度がなかった」(33.9%)の順となっています。

父親は、該当者がありませんでした。

(1-9) 1歳児で必ず利用できる事業があった場合の育児休業の取得希望

問30-9 問30-2で「2. 現在も育児休業中である」に○をつけた方のみ
 宛名のお子さんが1歳になったときに必ず利用できる事業があれば、1歳になるまで育児休業を取得しますか。または、預けられる事業があっても1歳になる前に復帰しますか。(それぞれ1つに○)

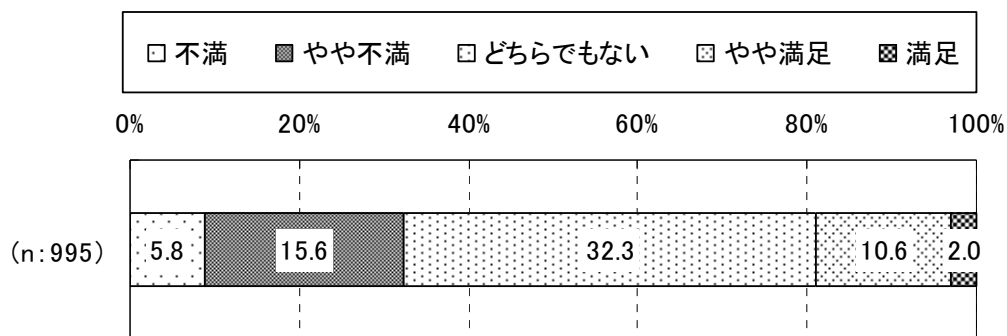


育児休業取得後、現在も育児休業中である母親29人について、子どもが1歳になったときに必ず利用できる事業があった場合の育児休業の取得希望をみると、「1歳になるまで育児休業を取得したい」が65.5%、「1歳になる前に復帰したい」が3.4%となっています。

父親は、該当者がありませんでした。

(2) 地域における子育て環境や支援の満足度

問31 お住まいの地域における子育ての環境や支援への満足度をお答えください。(1つに○)

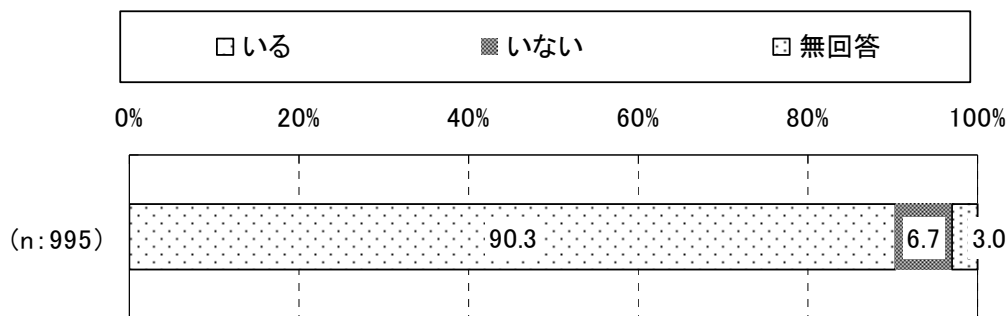


地域における子育て環境や支援に対する満足度では、満足と感じている人（「満足」(2.0%)と「やや満足」(10.6%)の合計)は、全体の12.6%、不満と感じている人（「不満」(5.8%)と「やや不満」(15.6%)の合計)は、全体の21.2%を占めています。

12. 地域医療について

(1) かかりつけ医の有無

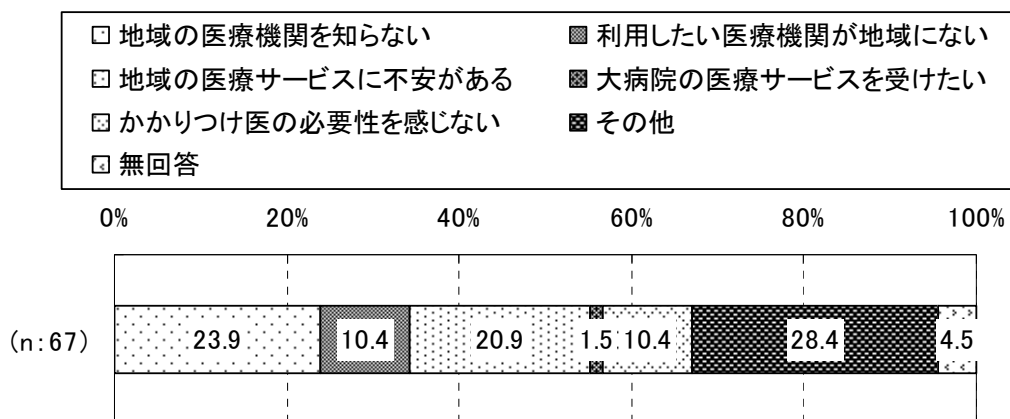
問 32 お子さんにかかりつけ医はいますか。「いる」「いない」のどちらかに○をつけてください。



かかりつけ医の有無では、「いる」が90.3%、「いない」が6.7%となっています。

(1-1) かかりつけ医がない理由

問 32-1 問 32 で「2. いない」に○をつけた方のみ
現在いない理由はどのようなことですか。次の中からもっともあてはまるものを1つだけ選んで○をつけてください。



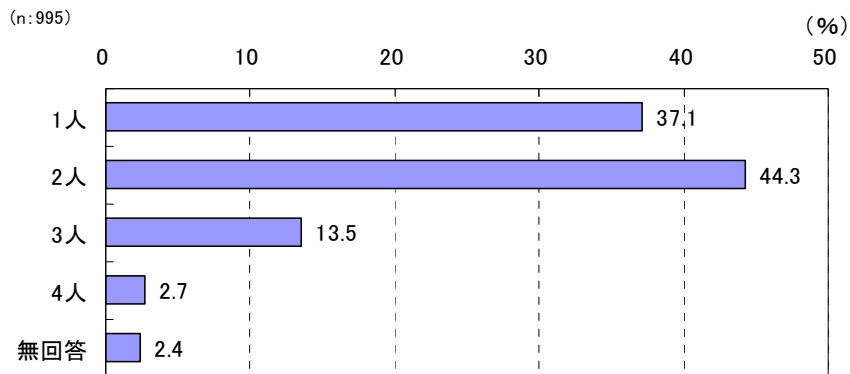
かかりつけ医がない理由では、「地域の医療機関を知らない」が23.9%で最も多く。次いで「地域の医療サービスに不安がある」(23.9%)、「利用したい医療機関が地域にない」と「かかりつけ医の必要性を感じない」(10.4%)となっています。

13. 子どもについて

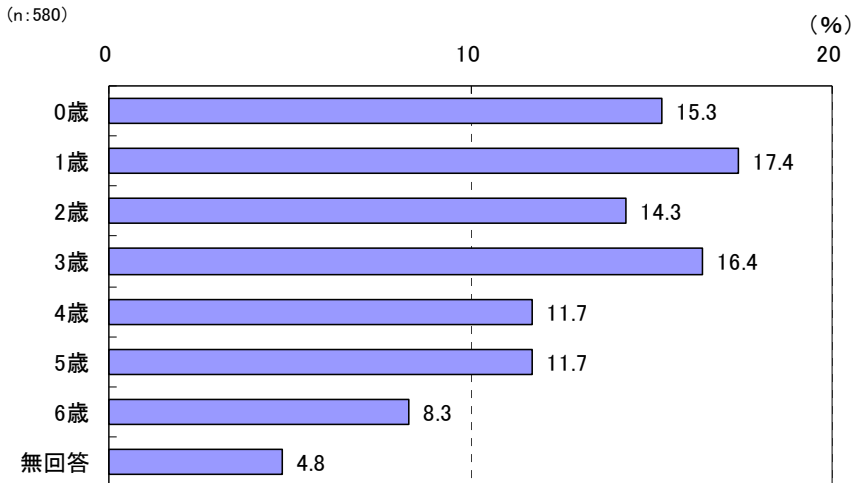
(1) 子どもの人数、希望する子どもの人数

問 33 宛名のお子さんを含め、お子さんは何人いらっしゃいますか。また、また、2人以上いらっしゃる場合、一番小さいお子さんの年齢（平成 25 年 4 月 1 日現在の年齢）を記入してください。希望するお子さんの数は何人ですか。枠内に具体的な数字でお答え下さい。

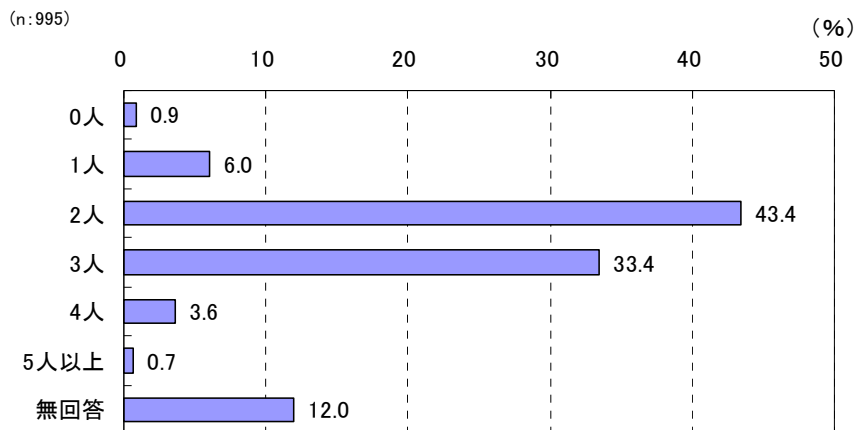
■現在の子ども的人数



■末子の年齢



■ 希望の子ども数



現在の子ども数は、「2人」が44.3%で最も多く、次いで「1人」(37.1%)、「3人」13.5%の順となっています。

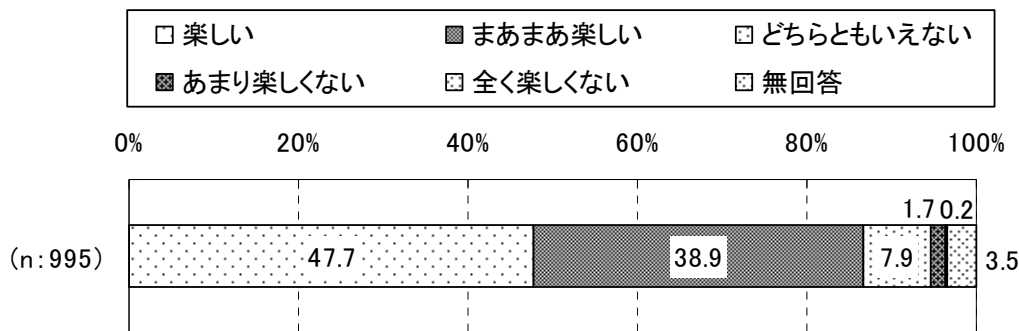
末子の年齢は、「1歳」、「3歳」、「0歳」、「2歳」の順となっています。

希望する子ども数は「2人」が43.4%で最も多く、次いで「3人」が33.4%、「4人」が3.6%となっています。現在の子ども数と比較すると「3人」の割合が高くなっています。

14. 子育ての様子について

(1) 子育ての楽しさ

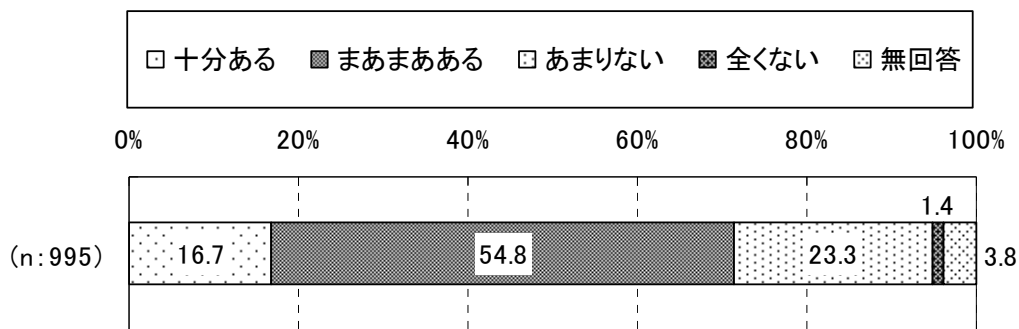
問 34 子育ては楽しいですか。(1つに○)



子育てについては、「楽しい」が89.6%（「楽しい」(44.7%)と「まあまあ楽しい」(38.9%)の合計)、「楽しくない」が1.9%（「まったく楽しくない」(1.7%)と「あまり楽しくない」(0.2%)の合計)となっています。

(2) ゆったりと子どもと過ごす時間

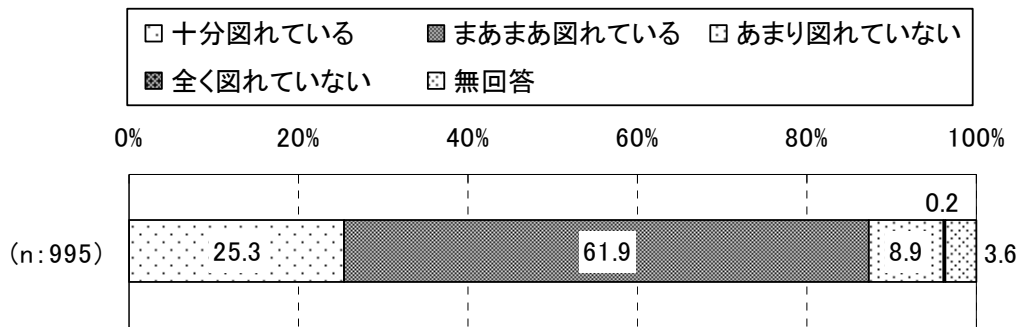
問 35 ゆったりとした気分で子どもと過ごせる時間がありますか。(1つに○)



ゆったりとした気分で子どもと過ごせる時間の有無は、「ある」が71.5%（「十分ある」(16.7%)と「まあまあある」(54.8%)の合計)、「ない」は24.7%（「全くない」(1.4%)と「あまりない」(23.3%)の合計)となっています。

(3) 家族のコミュニケーションが図れているか

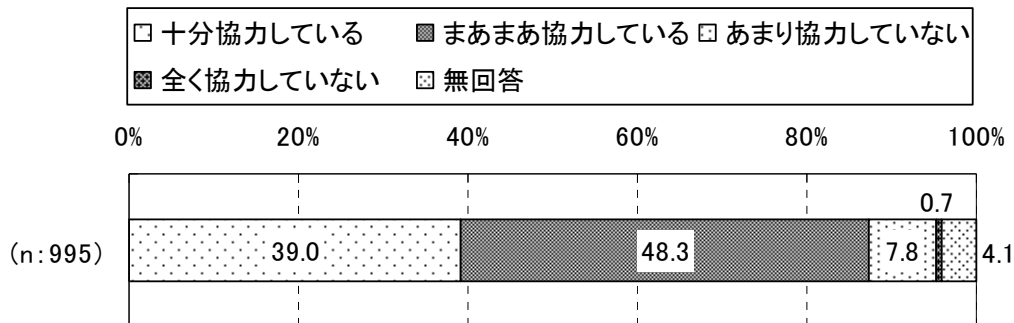
問 36 家族のコミュニケーションを図れていますか。(1つに○)



家族のコミュニケーションの状況は、「図れている」が87.2%（「十分図れている」(25.3%)と「まあまあ図れている」(61.9%)の合計)、「図れていない」は9.1%（「全く図れていない」(1.4%)と「あまり図れていない」(8.9%)の合計)となっています。

(4) 家族で協力して子育てしているか

問 37 家族で協力して子育てをしていますか。(1つに○)

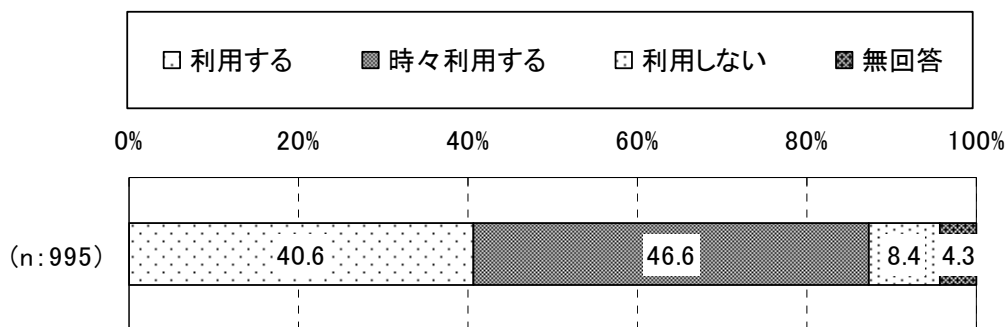


家族で協力して子育ての状況は、「協力している」が87.3%（「十分協力している」(39.0%)と「まあまあ協力している」(48.3%)の合計)、「協力していません」は8.5%（「全く協力していない」(0.7%)と「あまり協力していない」(7.8%)の合計)となっています。

15. 公園の過ごし方について

(1) 公園の利用状況

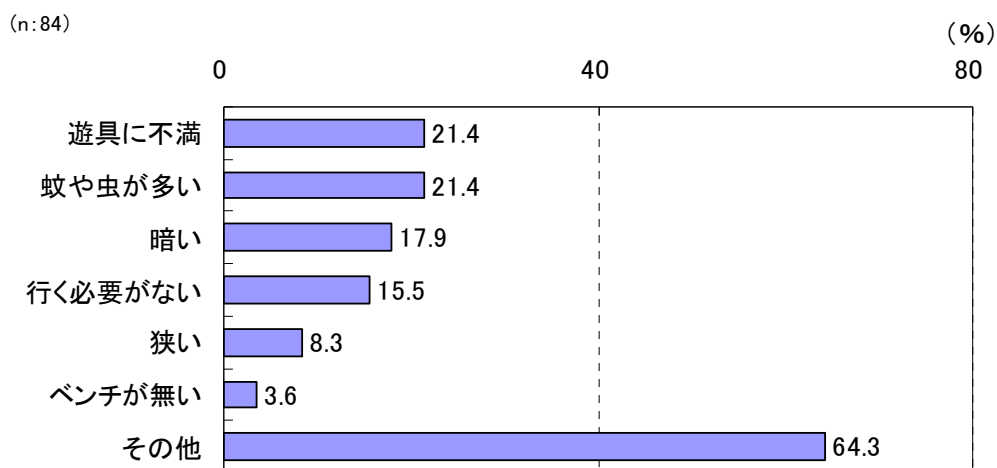
問 38 公園を利用しますか。(1つに○)



公園の利用の状況は、「利用している」が40.6%、「時々利用する」が46.6%で合計すると87.2%が公園を利用しています。

(2) 公園を利用しない理由

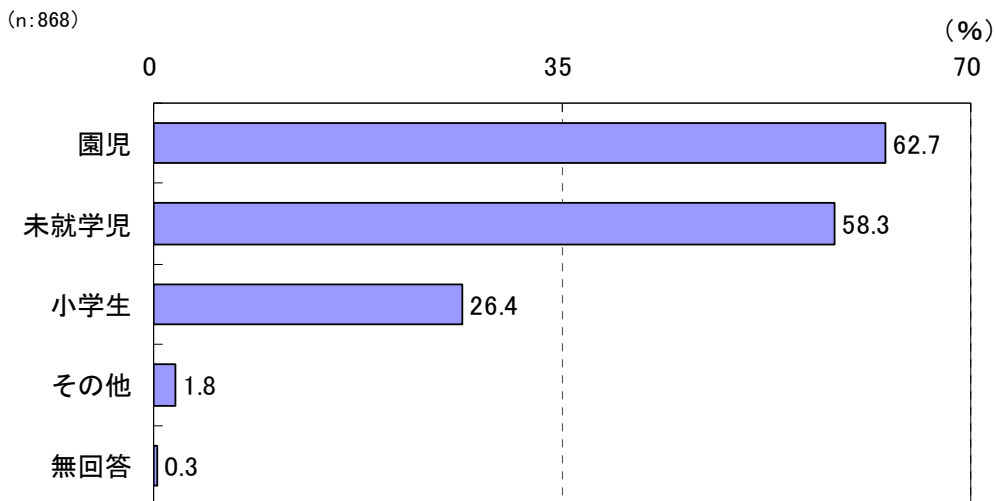
問 39 問 38 で「3. 利用しない」に○をつけた方のみ
公園を利用しない理由。(あてはまる番号すべてに○)



公園を「利用しない」と回答した84人に理由を尋ねたところ、「遊具に不満」(21.4%)、「蚊や虫が多い」(21.4%)、「暗い」(17.9%)などが上位に挙げられています。

(3) 公園を利用している子ども

問 40 問 38 で「1. 利用する」、「2. 時々利用する」に○をつけた方のみ
 どなたが利用しますか。(あてはまる番号すべてに○)

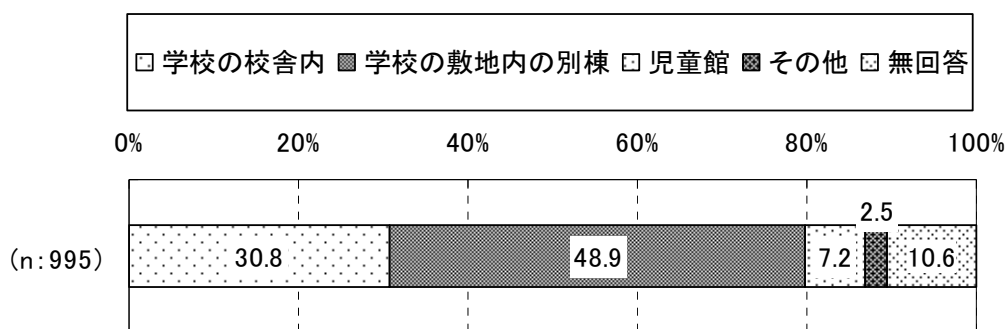


公園を「利用している」と回答した 868 人に利用している方を尋ねたところ、「園児」(62.7%)、「未就学児」(58.3%) と就学前の子どもの利用が半数以上を占めています。

16. 学童クラブの設置について

(1) 学童クラブの希望設置場所

問 41 学童クラブの希望設置場所。(1つに○)



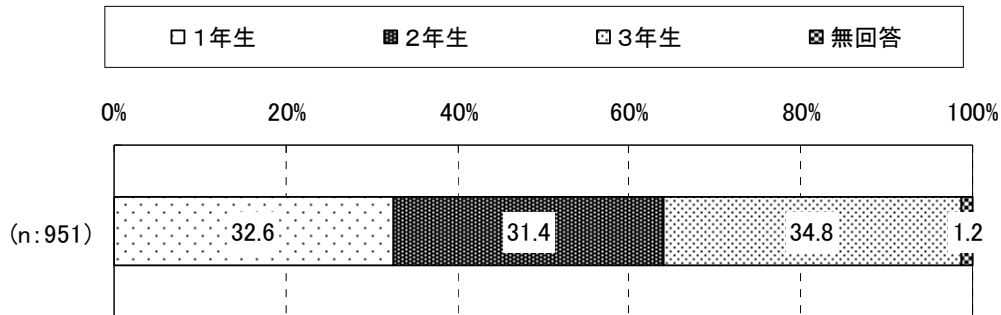
学童クラブの希望設置場所を尋ねたところ、「学校の敷地内の別棟」が 48.9% で最も多く、次いで「学校の校舎内」の 30.8% となっています。

◆◆小学生保護者◆◆

1. 子どもとご家族の状況について

(1) 子どもの学年

問2 宛名のお子さんの学年をお選びください。

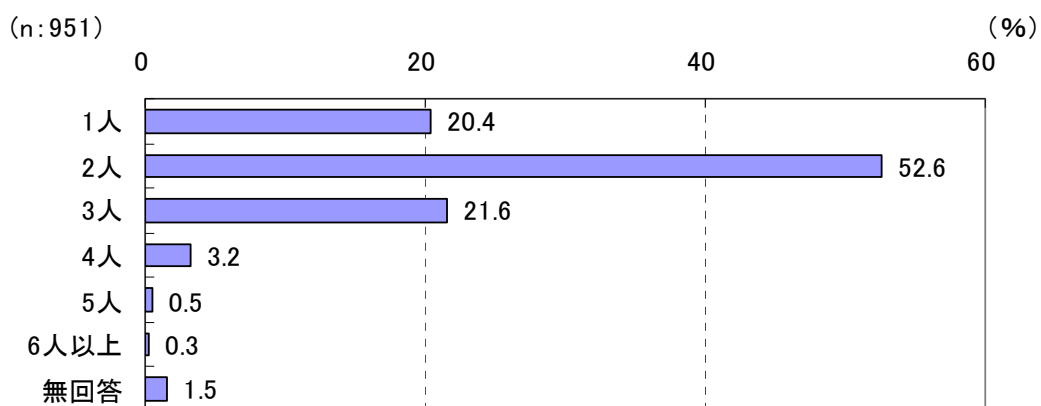


子どもの学年は、「小学3年生」が34.8%で最も割合が多くなっています。次いで「小学1年生」(32.6%)、「小学2年生」(31.4%)となっています。

(2) きょうだいの人数

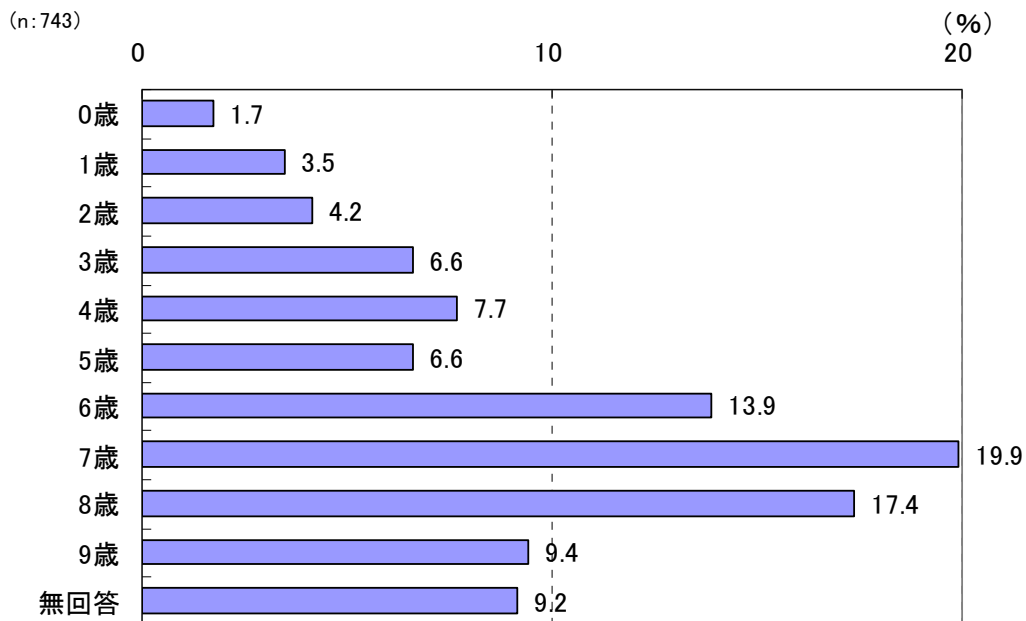
問2 宛名のお子さんを含め、お子さんは何人いらっしゃいますか。また、2人以上いらっしゃる場合、一番小さいお子さんの年齢(平成25年4月1日現在の年齢)を記入してください。また、希望するお子さんの数は何人ですか。枠内に具体的な数字でお答え下さい。

■ 現在の子どもの人数



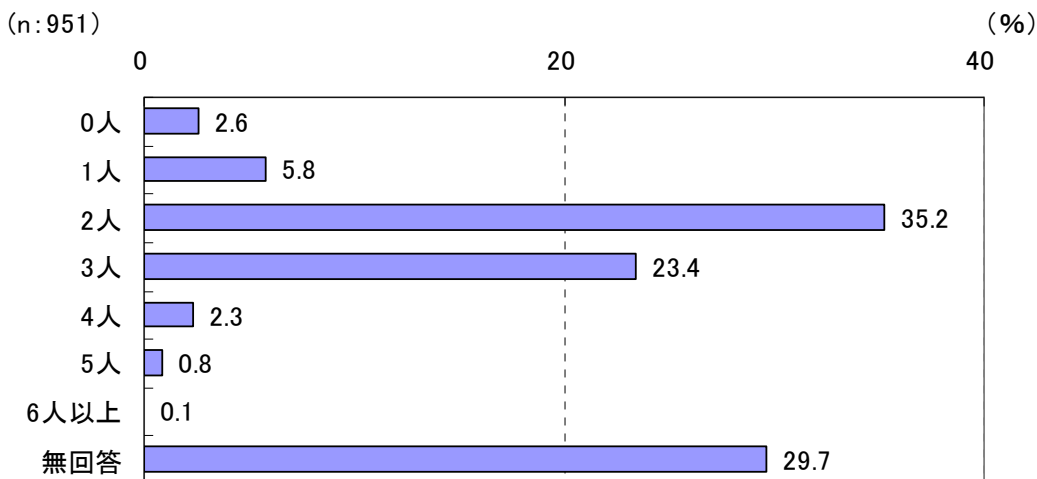
子どもの人数については、「2人」が52.6%で最も多く、次いで「3人」(21.6%)、「1人」(20.4%)となっています。

■ 末子の年齢



子どもが2人以上いると回答した743人に、末子の年齢を尋ねたところ、「7歳」が19.9で最も多く、次いで「8歳」(17.4%)、「6歳」(13.9%)、「9歳」(9.4%)などとなっています。

■ 希望の子どもの人数



希望の子ども数を尋ねたところ、「2人」が35.2%で最も多く、次いで「3人」(23.4%)、「1人」(5.8%)となっています。

また、「0人」が2.6%となっています。

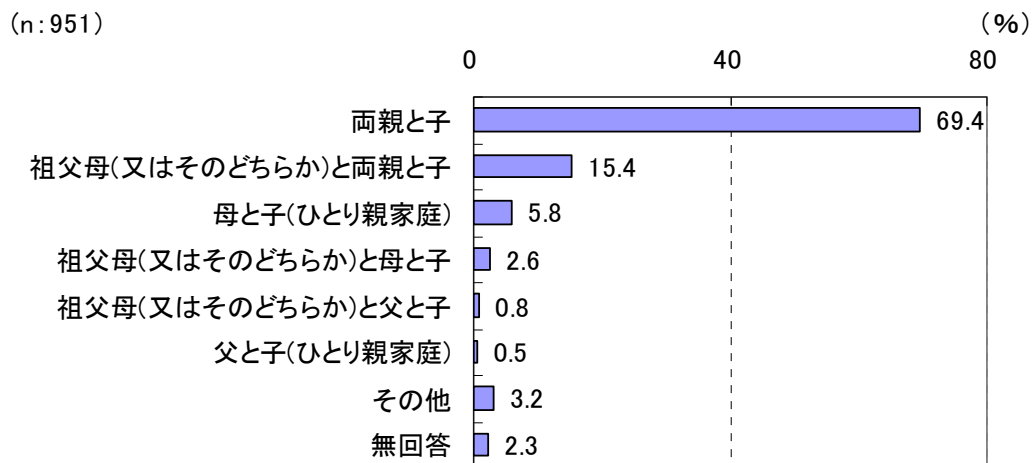
現状の子ども数と比較すると、「3人」の割合が高くなっています。

■希望の人数を産めない理由（主な記述を抜粋）

- ・出産～育児にかかる費用が多額のため。
- ・子どもの人数分PTAや育成会、学級理事等の役員が大変なため。
- ・経済面。
- ・経済的に（教育費の負担大）、父親の育児参加が難しい。
- ・働いているのでなかなか。やめてしまうと次の職場が見つかるかとかを考える。
- ・欲しかったが授からなかった。不妊治療は高額なためあきらめました。
- ・小さいこの相手が苦手だから。特に0～3歳の時期が大変なので。
- ・希望する人数は特にありませんが出産の間等、親を頼ったり出来ないの今後産めません。
- ・収入面の不安、半年前までシングルマザーだったため。
- ・医者から健全な妊婦生活が体質的に無理だと言われている。

(3) 家族構成

問3 宛名のお子さんと同居しているご家族の構成は、どれにあたりますか。あてはまる答えの番号に1つだけ○をつけてください。また、同居している家族の人数もお答えください。

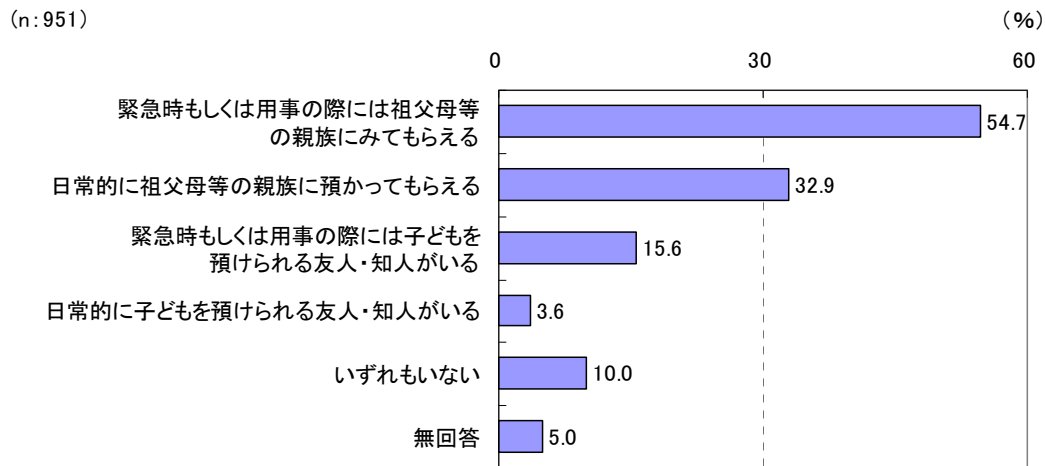


家族構成では、「両親と子」が69.4%で最も多くなっています。

「祖父母(又はそのどちらか)と両親と子」、「祖父母(又はそのどちらか)と母と子」、「祖父母(又はそのどちらか)と父と子」等の三世同居は18.8%、「母と子(ひとり親家庭)」、「父と子(ひとり親家庭)」等のひとり親家庭は6.3%となっています。

(4) 子どもを預かってもらえる人の有無

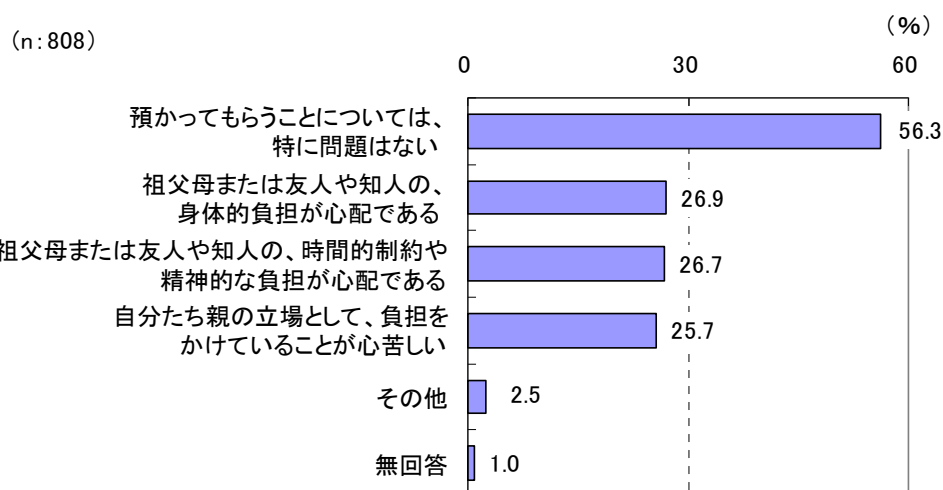
問4 日頃、お子さんを預かってもらえる人はいますか。あてはまる答えの番号すべてに○をつけてください。



日頃、子どもを預かってもらえる親族の有無については、「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」が54.7%と最も多く、次いで「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」が32.9%、「緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる」が15.6%となっています。

(5) 親族、友人、知人にみてもらっている状況

問5 問4で「1」から「4」までの答えを選ばれた方にお伺いします
祖父母または友人や知人に預かってもらっている状況について、あてはまる答えの番号すべてに○をつけてください。

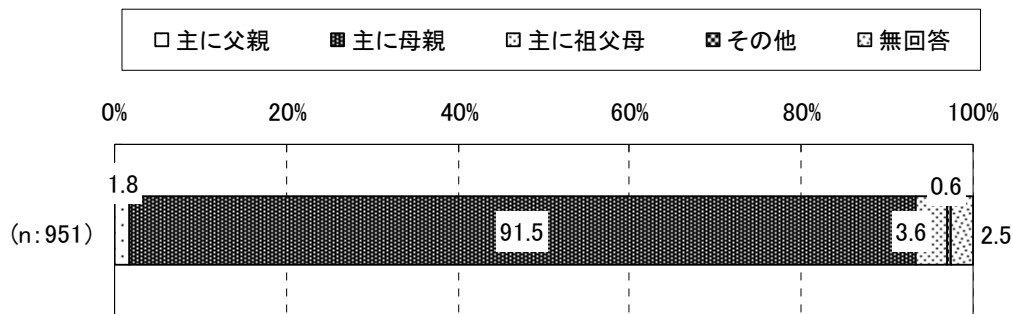


親族にみてもらっている状況については、「預かってもらうことについては、特に問題はない」が56.3%と最も多く、次いで「祖父母または友人や知人の、身体的負担が心配である」、「祖父母または友人や知人の、時間的制約や精神的な負担が心配である」、

「自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」等が26%後となっています。

(6) 子どもの世話を主にしている人

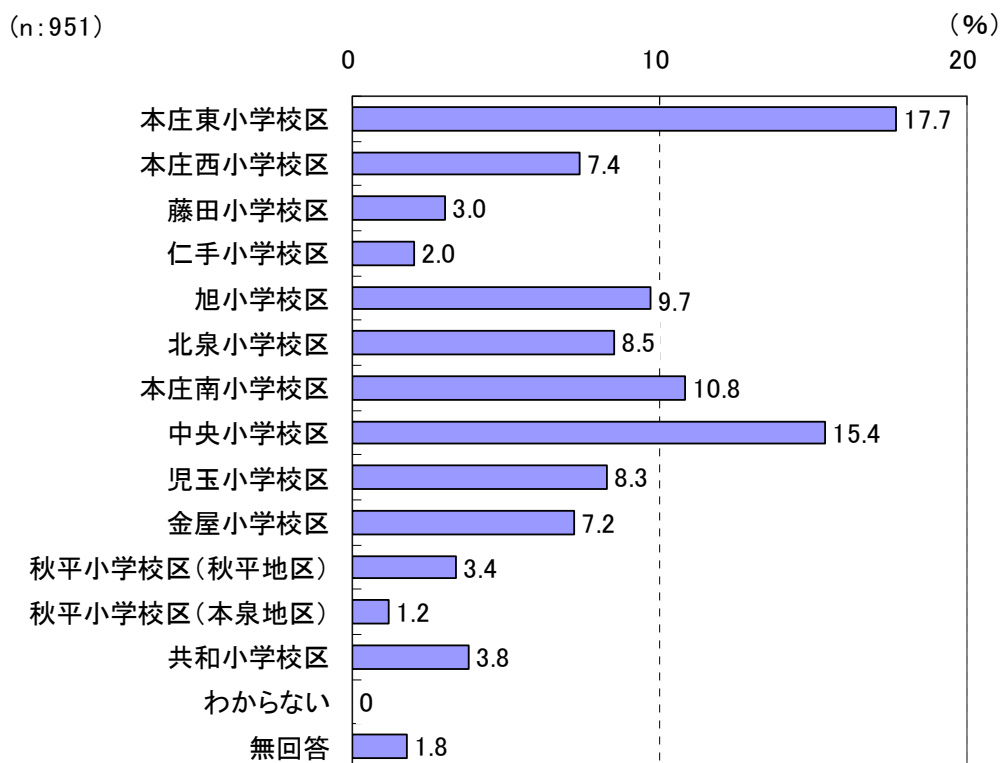
問6 宛名のお子さんの身の回りの世話などを主にしている方として、あてはまる答えの番号に1つだけ○をつけてください。続柄は宛名のお子さんからみた関係です。



子育てを主に行っている人については、「主に母親」が91.5%となっています。

(7) 居住地区

問7 お住まいの地区に○をつけてください。



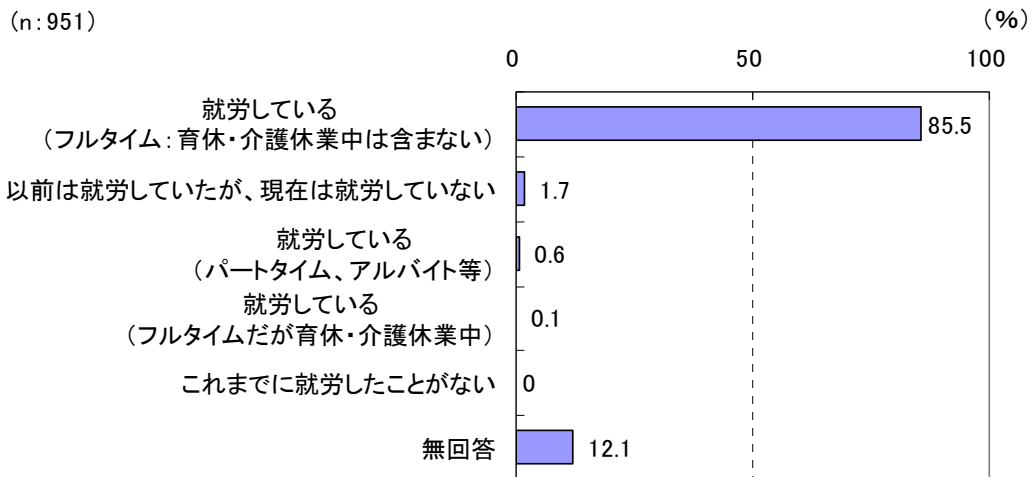
住んでいる地域では、「本庄東小学校区」、「中央小学校区」、「本庄南小学校区」などが多くなっています。

2. 保護者の就労状況について

(1) 保護者の就労状況

問8 現在の就労状況を（自営業、家族従事者含む）お伺いします
 あてはまる答えの番号に1つだけ○をつけてください。併せて、[]に数字を記入してください。（時間は、24時間制で記入してください。）

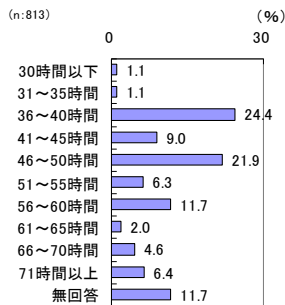
(1) 父親【母子家庭の場合は記入不要】



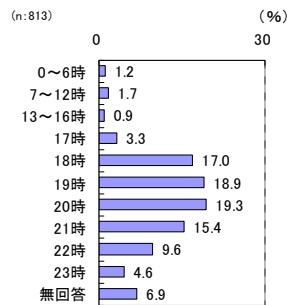
父親の就労状況では、「就労している（フルタイム：育休・介護休業中は含まない）」が最も多く 85.5%を占めています。また現在就労している人は全体の 86.1%となっています。

■フルタイムで就労している父親の就労時間・帰宅時間

● 1週あたりの就労時間

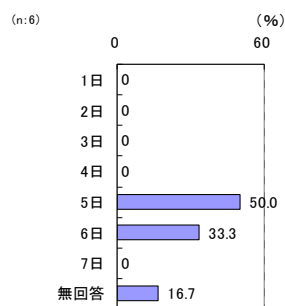


● 帰宅時間

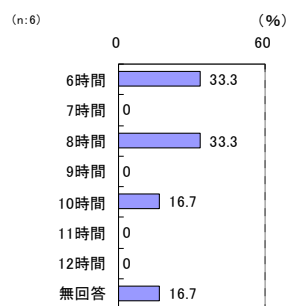


■パートタイム・アルバイトで就労している父親の就労日数・帰宅時間

● 1週あたりの就労日数

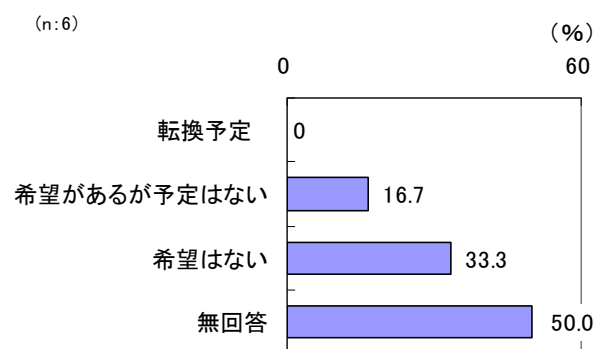


● 1日あたりの就労時間

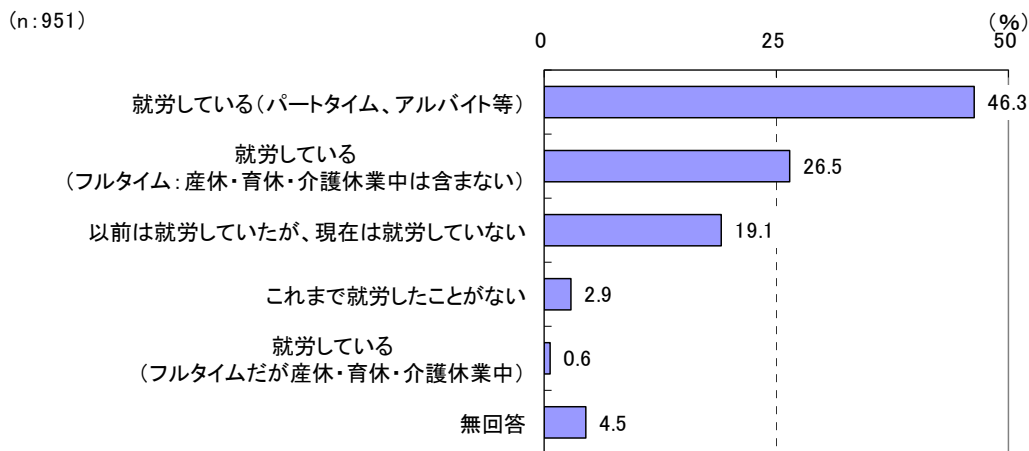


■パートタイム・アルバイトで就労している父親のフルタイムへの転換希望

● フルタイムへの転換希望



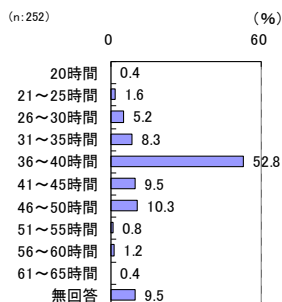
(2) 母親【父子家庭の場合は記入不要】



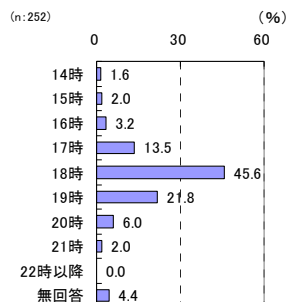
母親の就労状況では、「就労している(パートタイム、アルバイト等)」が最も多く46.3%を占めています。また現在就労している人は全体の72.8%となっています。

■フルタイムで就労している母親の就労時間・帰宅時間

● 1週あたりの就労時間

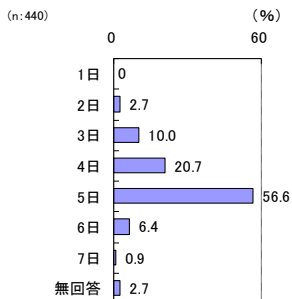


● 帰宅時間

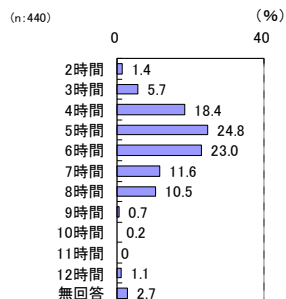


■パートタイム・アルバイトで就労している母親の就労日数・帰宅時間

● 1週あたりの就労日数

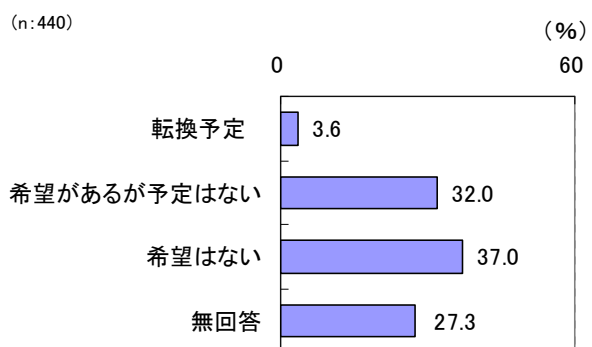


● 1日あたりの就労時間



■パートタイム・アルバイトで就労している母親のフルタイムへの転換希望

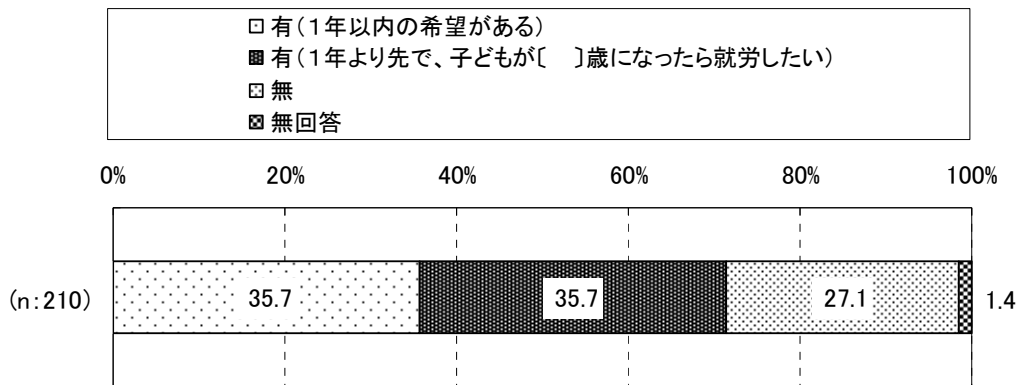
●フルタイムへの転換希望



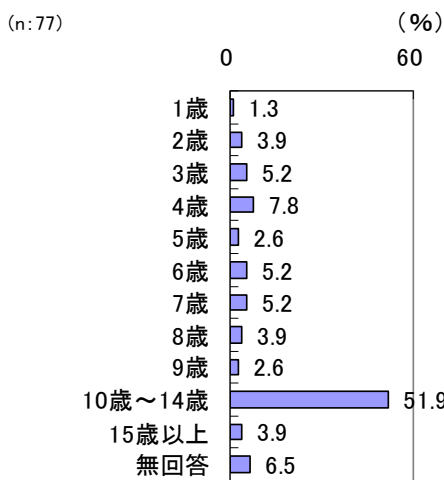
(2) 母親の就労希望

問 14 問 8 の (2) 母親で「4」または「5」を選ばれた方にお伺いします。該当しない方は、問 12 へお進みください
 母親の就労希望はありますか。あてはまる答えの番号に1つだけ○をつけてください。併せて、[] に数字を記入してください。

■ 母親の就労希望



■ 就労予定の目安になる子どもの年齢



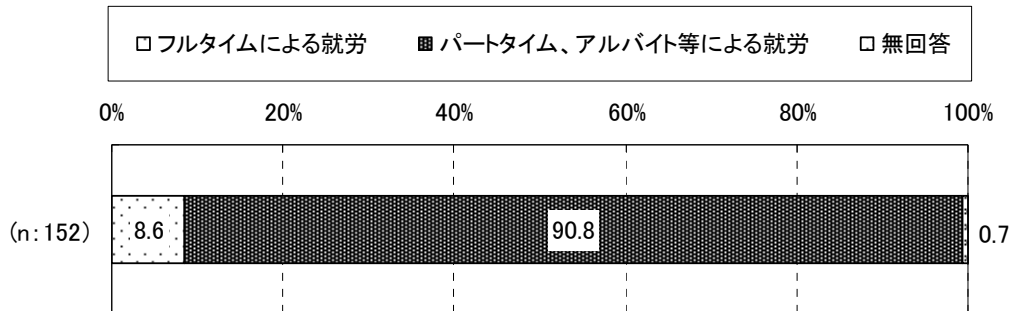
現在就労していない母親 210 人については、71.4%に今後の就労希望がある（「1年以内に希望がある」(35.7%)と「1年より先で、子どもが□□歳になったら就労したい」(35.7%)との合計)にみられます。

一番小さい子どもが何歳になった時に就労を希望するかについては、「10歳～14歳」(51.9%)が多くなっています。

(3) 母親の希望する就労形態

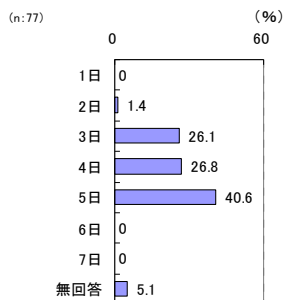
問10 問9で「1」または「2」を選ばれた方にお伺いします
 就労希望の形態はどのようなものですか。あてはまる答えの番号に1つだけ○をつけて
 ください。併せて、〔 〕に数字を記入してください。

■希望する就労形態

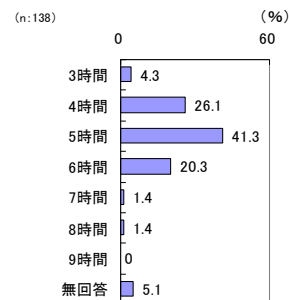


■パートタイム、アルバイト等での希望就労日数・時間

● 1週あたりの希望就労日数



● 1日あたりの希望就労時間

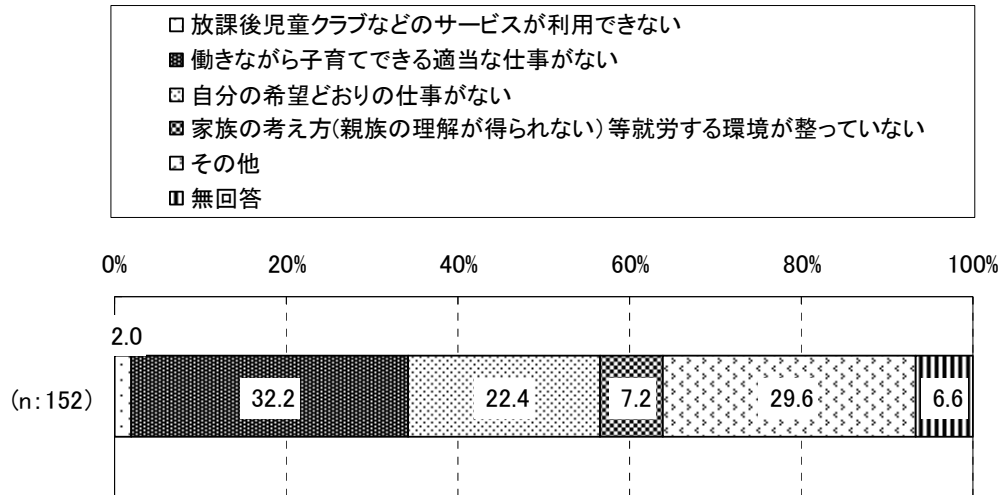


希望する就労形態では、「フルタイムによる就労」が8.6%、「パートタイム、アルバイト等による就労」が90.8%となっています。

パートタイム、アルバイト等での就労を希望する者の1週間の就労希望日数は、「5日」が40.6%で最も多く、また、1日あたりの就労時間の希望では、「5時間」が41.3%で最も多くなっています。

(4) 現在働いていない理由

問11 問9で「1」または「2」を選ばれた方にお伺いします
 就労希望がありながら、現在働いていない理由は何ですか。もっとも近い答えの番号に
 1つだけ○をつけてください。

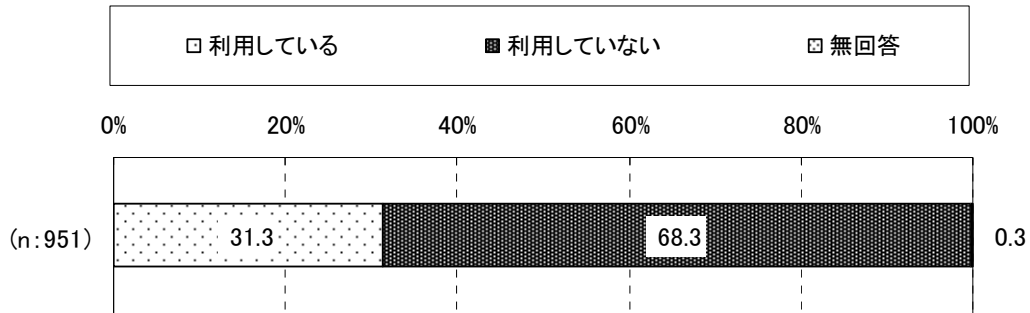


就労希望がありながら現在働いていない理由では、「働きながら子育てできる適当な仕事がない」が32.2%で最も多く、次いで「自分の希望どおりの仕事がない」(22.4%)となっています。

3. 放課後児童クラブ（学童保育）の利用及び放課後の過ごし方について

(1) 放課後児童クラブの利用の有無

問 12 宛名のお子さんについて、現在、放課後児童クラブ(学童保育)を利用していますか。あてはまる答えの番号に1つだけ○をつけてください。



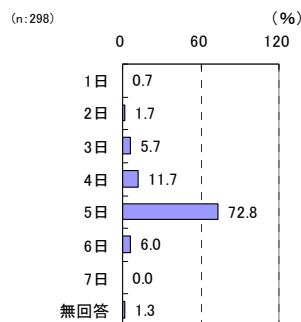
放課後児童クラブの利用状況は、「利用している」が31.3%、「利用していない」が68.3%と「利用していない」が「利用している」を37ポイント上回っています。

(2) 放課後児童クラブの利用状況

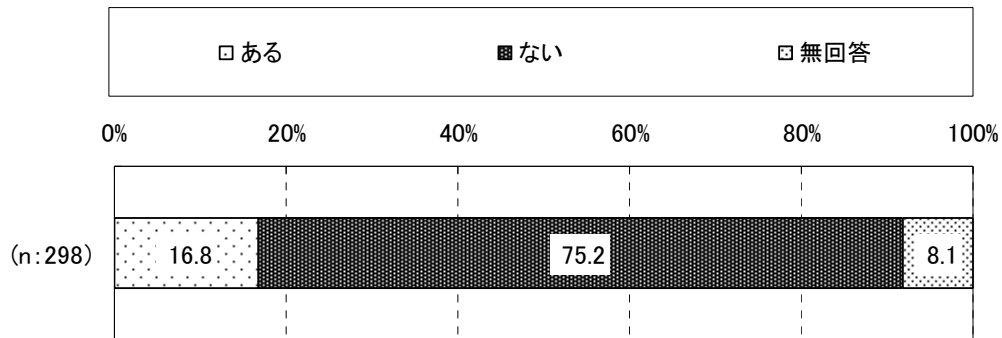
問 13 問 12で「1」を選ばれた方にお伺いします。
宛名のおさんは、現在、放課後児童クラブ(学童保育)の利用日数はどれくらいですか。また、利用している理由について、あてはまる答えの番号に1つだけ○をつけてください。

■放課後児童クラブの利用状況

●一週あたりの利用日数

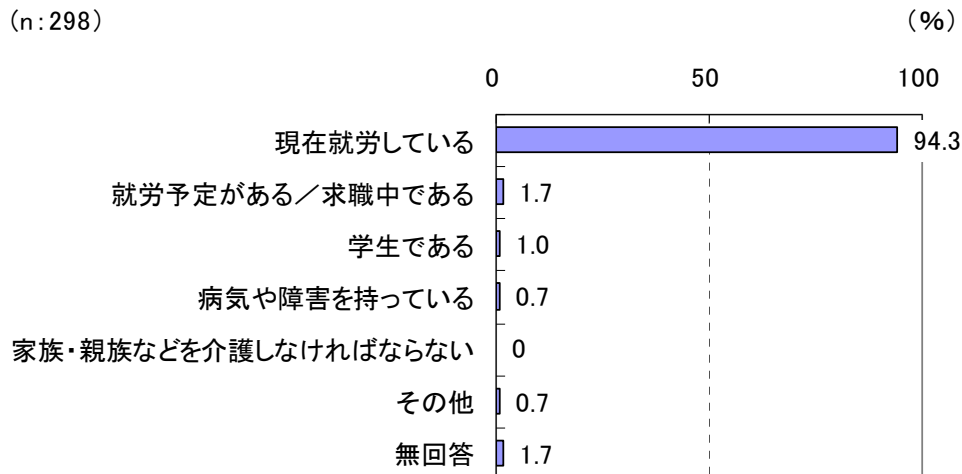


●土曜日の利用状況



放課後児童クラブの土曜日の利用状況は、「ある」が16.8%、「ない」が75.2%となっています。

■放課後児童クラブを利用している理由



放課後児童クラブを利用している理由では、お子さんの身の回りの世話を主にして
いる方（主な保護者）が「現在就労している」が94.3%となっています。

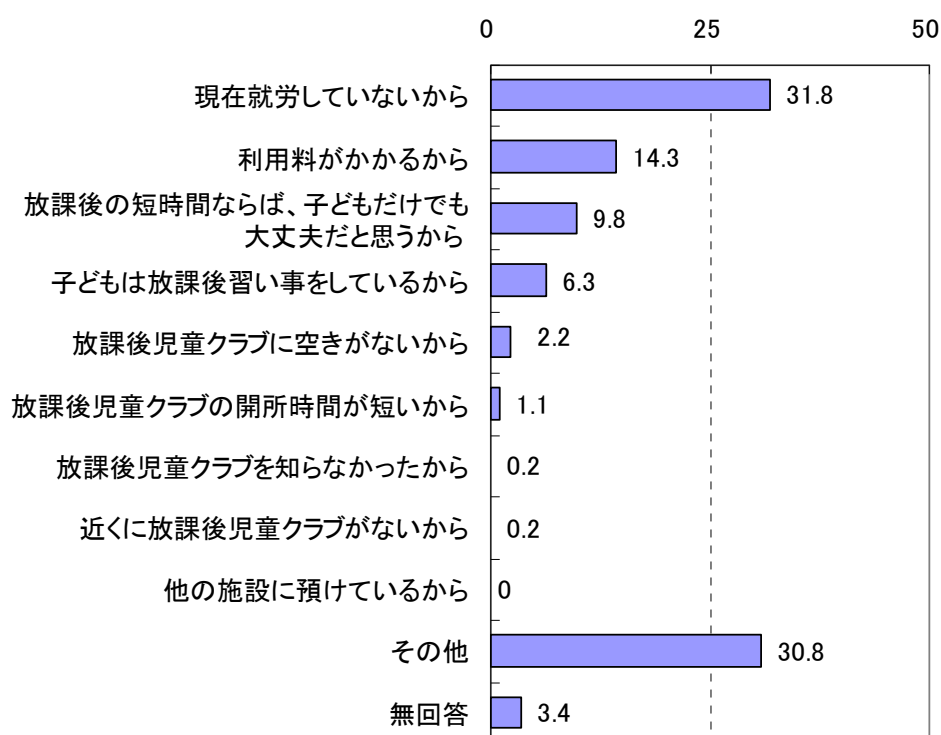
(3) 放課後児童クラブを利用していない理由

問 14 問 12 で「2」を選ばれた方にお伺いします。

利用していない理由について、もっともあてはまる答えの番号に1つだけ○をつけてください。

(n: 650)

(%)

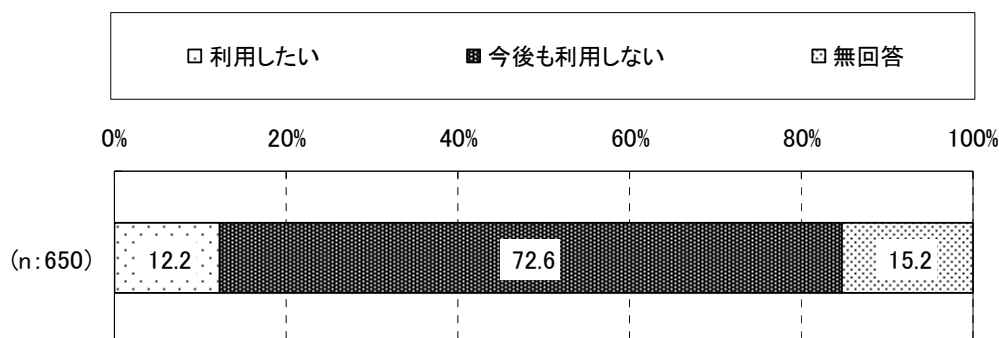


放課後児童クラブを利用していない理由では、お子さんの身の回りの世話を主にしている方（主な保護者）が「現在就労していないから」が31.8%で最も多くなっています。

(4) 放課後児童クラブの利用意向

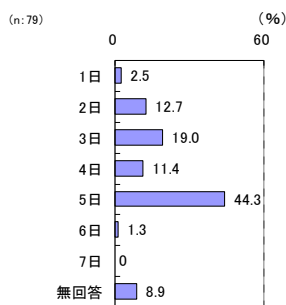
問 15 問 12 で「2」を選ばれた方にお伺いします。
 宛名のお子さんについて、今後、放課後児童クラブ(学童保育)を利用したいとお考えですか。あてはまる答えの番号に1つだけ○をつけてください。「1. 利用したい」を選ばれた方は、利用希望について記入してください。(時間は、24 時間制で記入してください)。

■放課後児童クラブの利用意向

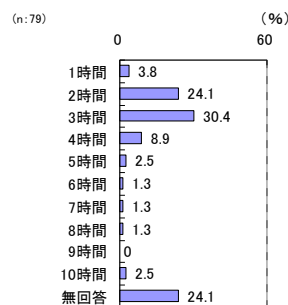


放課後児童クラブを現在利用していない方の今後の利用意向を尋ねたところ「今後も利用しない」が72.6%となっています。

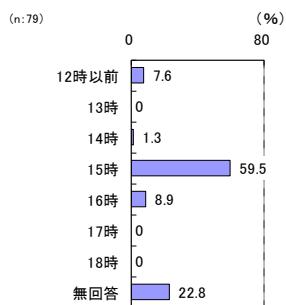
● 1 週あたりの利用希望日数



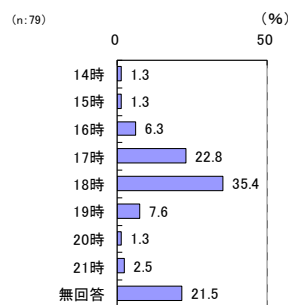
● 1 日あたりの利用希望時間



● 利用希望開始時間

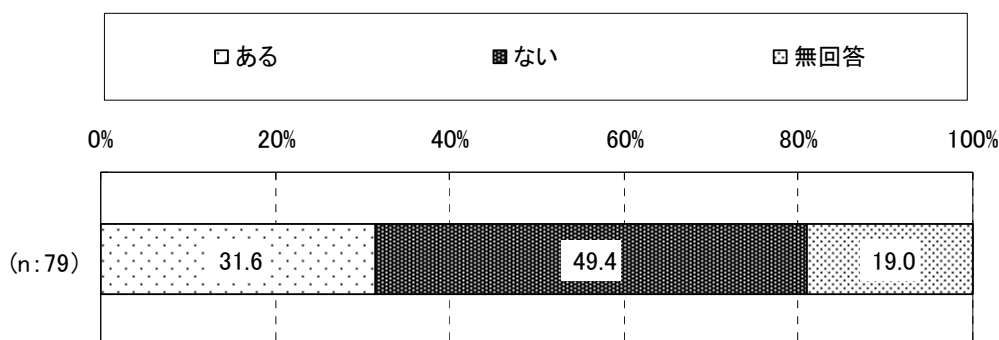


● 利用希望終了時間



1 週あたりの利用希望日数は「5 日」、1 日あたりの利用時間は「3 時間」、利用開始時間は「15 時」、利用終了時間は「18 時」がそれぞれ最も多くなっています。

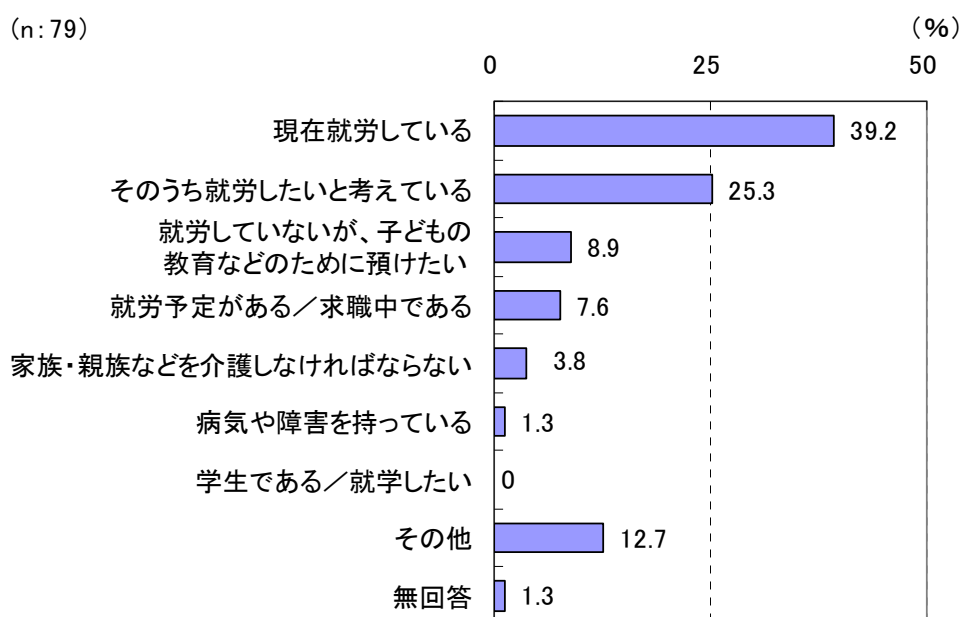
●土・日曜日の利用希望



放課後児童クラブの土・日曜日の利用希望は「ある」が31.6%、「ない」が49.4%となっています。

(5) 放課後児童クラブを今後利用したい理由

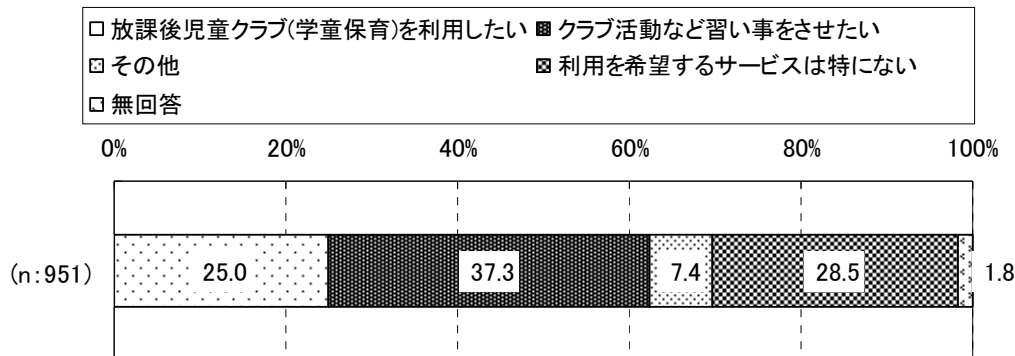
問16 問15で「1」を選ばれた方にお伺いします
 利用したい理由について、もっともあてはまる答えの番号に1つだけ○をつけてください。



お子さんの身の回りの世話を主にしている方（主な保護者）が放課後児童クラブを今後利用したい理由では「現在就労しているから」が39.2%、次いで「そのうち就労したいと考えている」が25.3%となっています。

(6) 小学校高学年時の放課後の過ごし方

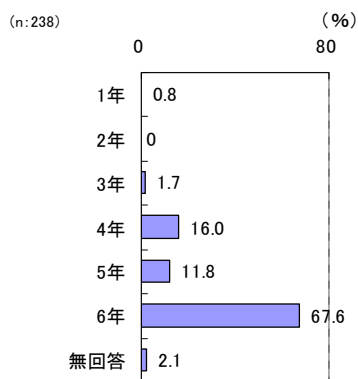
問 17 宛名のお子さんについてお伺いします。小学4年生以降の放課後の過ごし方について、どのようなことを望みますか。あてはまる答えの番号に1つだけ○をつけてください。



小学4年生以降の放課後の過ごし方について、どのようなことを望んでいるか尋ねたところ、「クラブ活動など習い事をさせたい」が37.3%で最も多く、次いで「利用を希望するサービスは特にない」が28.5%、「放課後児童クラブ(学童保育)を利用したい」が25.0%となっています。

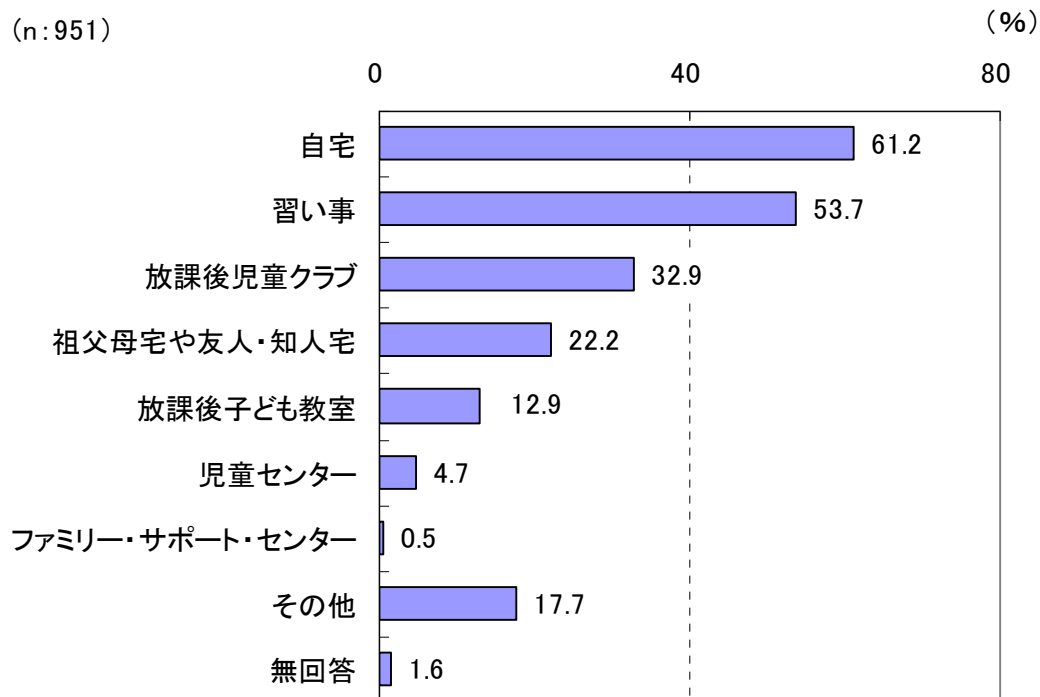
放課後児童クラブ(学童保育)を利用したい」と回答した方に利用させたい年齢を尋ねたところ、「小学6年生まで」が67.6%と最も多くなっています。

●放課後児童クラブを利用させたい学年



(7) 低学年時の放課後の過ごし方の希望

問 18 宛名のお子さんについて、小学校低学年（1～3年生）のうち、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。（あてはまる番号すべてに○、希望する週あたりの日数を記入、「6. 放課後児童クラブ（学童保育）」の場合には利用を希望する時間を記入）

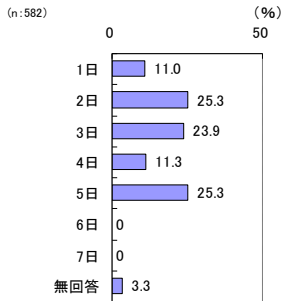


小学校低学年（1～3年生）のうち放課後の時間をどこで過ごさせたいかを尋ねたところ、「自宅」が61.2%と最も多く、次いで「習い事」（53.7%）、「放課後児童クラブ」（32.9%）、「祖父母宅や友人・知人宅」（22.2%）、「放課後子ども教室」（12.9%）の順となっています。

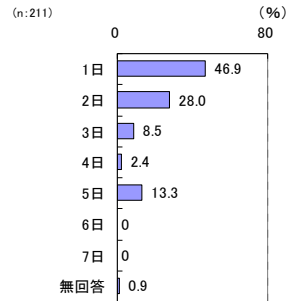
第2部 調査結果(小学生保護者)

■週あたりの利用希望日数

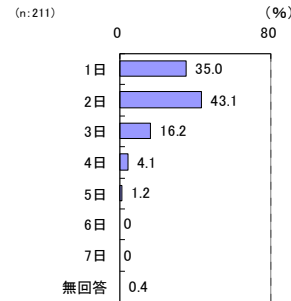
●自宅



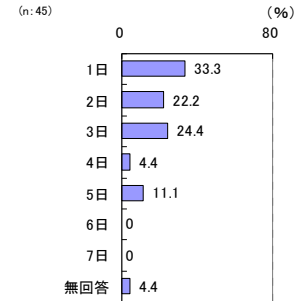
●祖父母宅や友人・知人宅



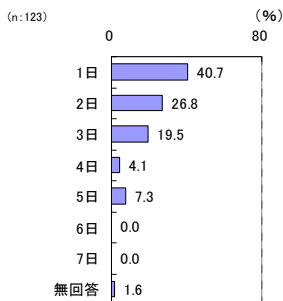
●習い事



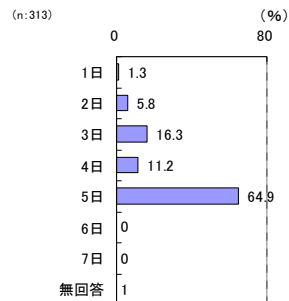
●児童センター



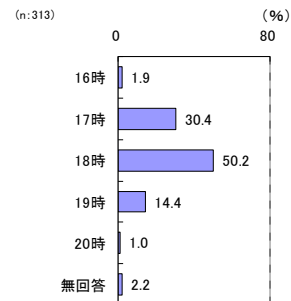
●放課後子ども教室



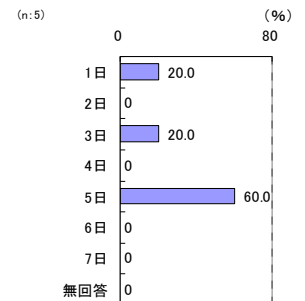
●放課後児童クラブ(学童保育) ⇒利用希望時間(下校時から)



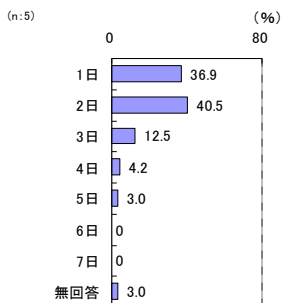
⇒利用希望時間(下校時から)



●ファミリー・サポート・センター



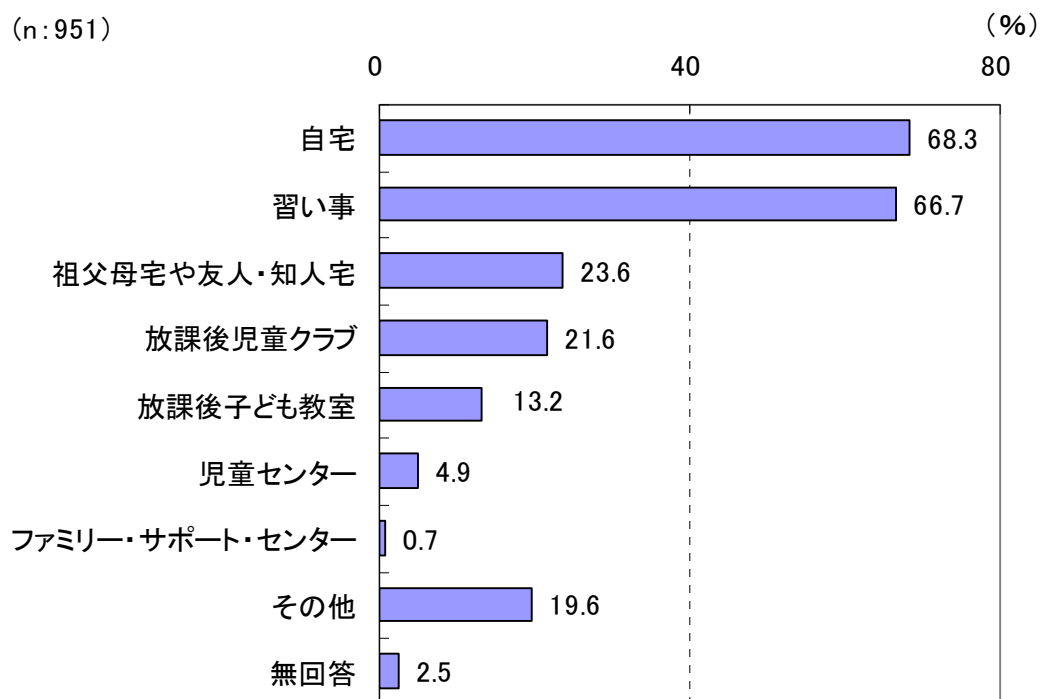
●その他



(8) 高学年時の放課後の過ごし方の希望

問19 宛名のお子さんについて、小学校高学年（4～6年生）になったら、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。（あてはまる番号すべてに○、希望する週あたりの日数を記入、「6. 放課後児童クラブ（学童保育）」の場合には利用を希望する時間を記入）

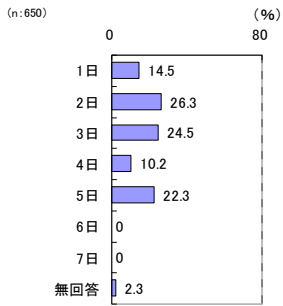
※先のことになります。現在お持ちのイメージでお答えください。



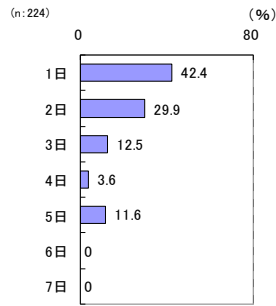
小学校高学年（4～6年生）のうち放課後の時間をどこで過ごさせたいかをたずねたところ、「自宅」が68.3%と最も多く、次いで「習い事」（66.7%）、「祖父母宅や友人・知人宅」（23.6%）、「放課後児童クラブ」（21.6%）の順となっています。

■ 週あたりの利用希望日数

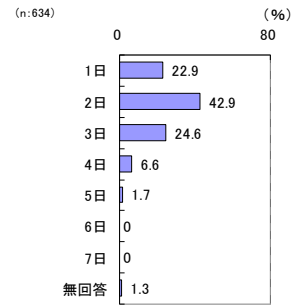
● 自宅



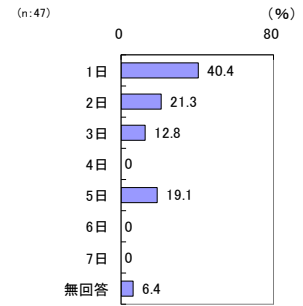
● 祖父母宅や友人・知人宅



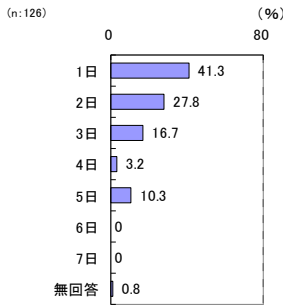
● 習い事



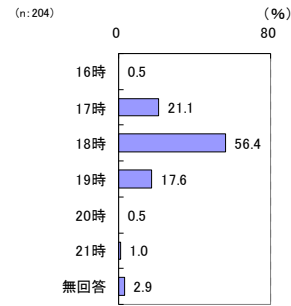
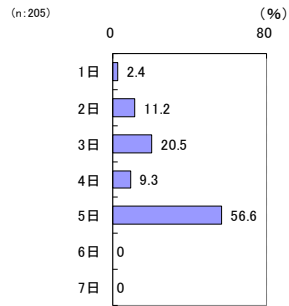
● 児童センター



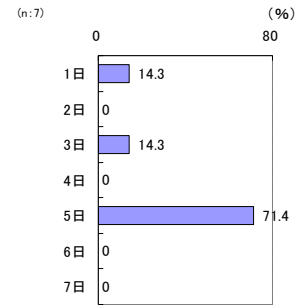
● 放課後子ども教室



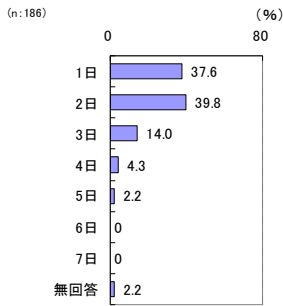
● 放課後児童クラブ (学童保育) ⇒ 利用希望時間 (下校時から)



● ファミリー・サポート・センター



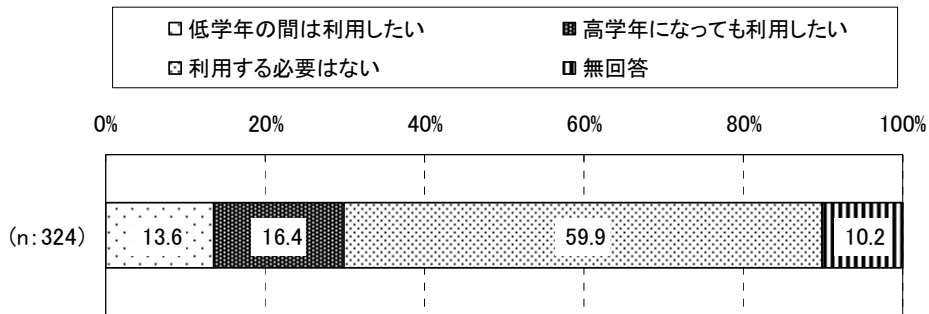
● その他



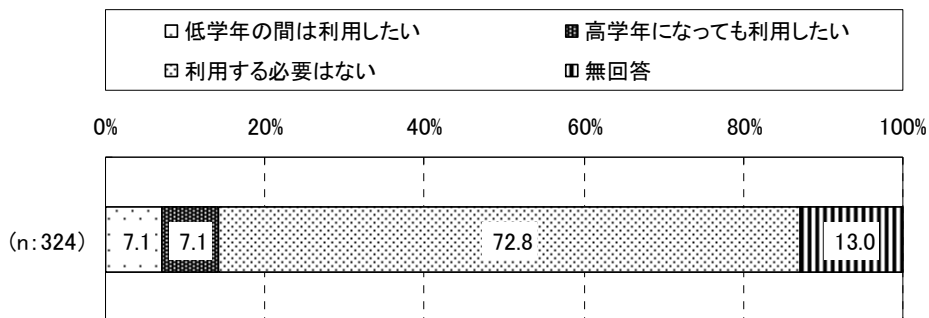
(9) 土曜日、日曜日・祝日の放課後児童クラブの利用希望

問 20 問 18 または問 19 で「6. 放課後児童クラブ (学童保育)」に○をつけた方のみ宛名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、放課後児童クラブの利用希望はありますか。なお、事業の利用には一定の利用料がかかります。(それぞれ1つに○、利用したい場合は時間帯を記入)

●土曜日



●日曜日・祝日



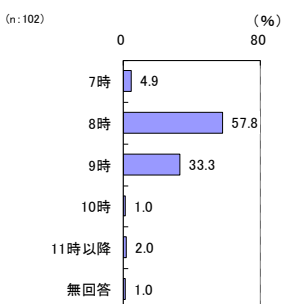
小学校の低学年または高学年に「放課後児童クラブ (学童保育)」を利用させたいと回答した 324 人に、土曜日・日曜日・祝日の放課後児童クラブ (学童保育) の利用希望をたずねたところ、土曜日は「低学年の間は利用したい」が 13.6%、「高学年になっても利用したい」が 16.4%と、全体の 40.0%に利用希望がみられます。

日曜日・祝日は「低学年の間は利用したい」が 7.1%、「高学年になっても利用したい」が 7.1%と、全体の 14.2%に利用希望がみられます。

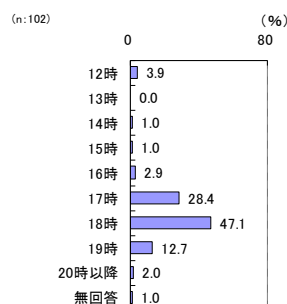
一方、72.8%が「利用する必要はない」と回答しています。

■土曜日の利用希望

●利用希望開始時間

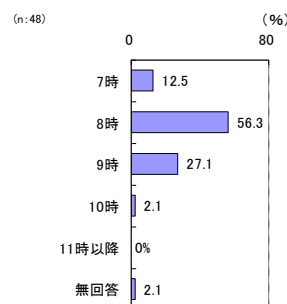


●利用希望終了時間

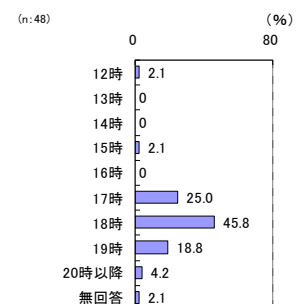


■日曜日・祝日の利用希望

●利用希望開始時間

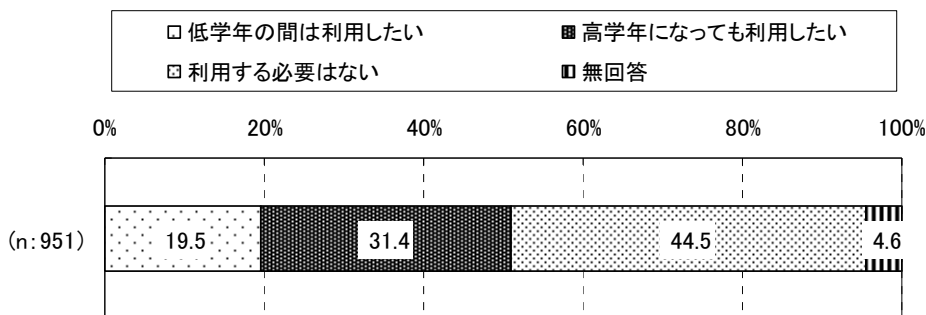


●利用希望終了時間



(10) 長期休暇中の放課後児童クラブの利用希望

問 21 宛名のお子さんについて、お子さんの夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中の放課後児童クラブの利用希望はありますか。なお、事業の利用には一定の利用料がかかります。
 (1つに○、利用したい場合は時間帯を記入)



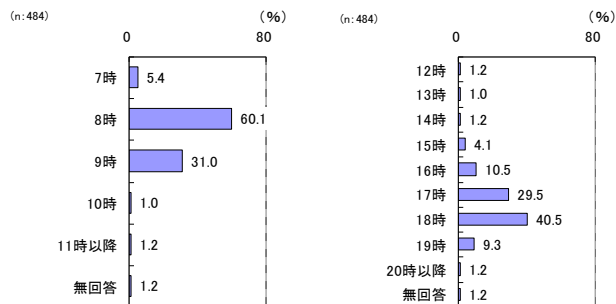
長期休暇期間中の放課後児童クラブ（学童保育）の利用希望については、「低学年の間は利用したい」が19.5%、「高学年になっても利用したい」が31.4%と、全体の50.9%に長期休暇期間中の利用希望がみられます。

一方、44.5%が「利用する必要はない」と回答しています。

■長期休暇中の利用希望

●利用希望開始時間

●利用希望終了時間

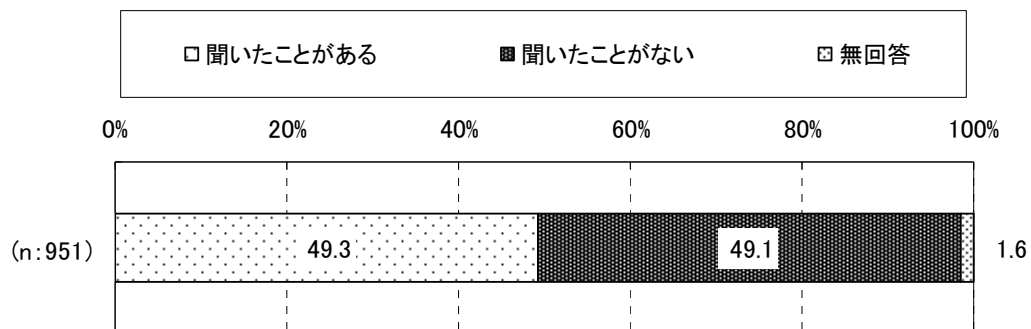


4. 病児・病後児の対応について

(1) 「病児・病後児保育」という言葉の認知度

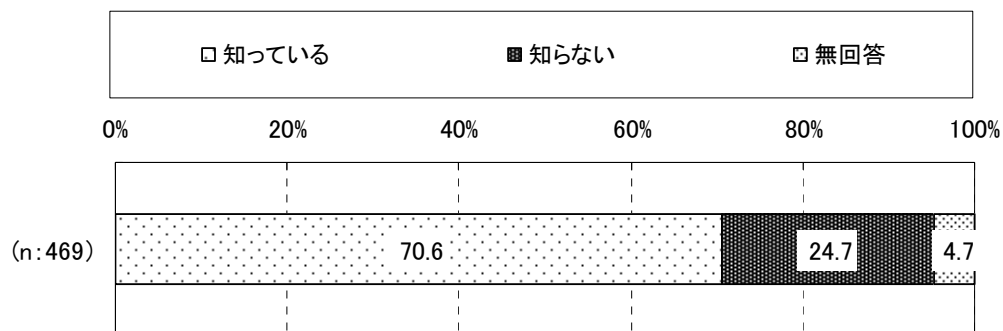
問 22 「病児・病後児保育」という言葉を聞いたことがありますか。また、聞いたことがある方はその意味をご存じですか。「知っている」「知らない」のどちらかに○をつけてください。

● 「病児・病後児保育」の言葉の認知状況



「病児・病後児保育」の言葉の認知状況を見ると、「聞いたことがある」が49.3%、「聞いたことがない」が49.1%とほぼ同数となっています。

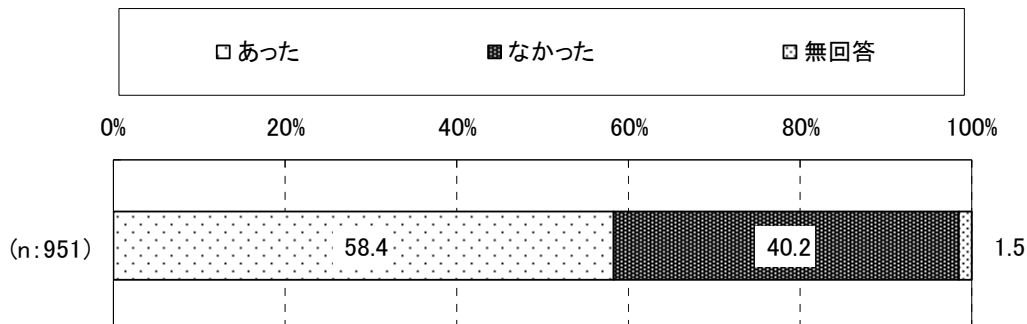
● 「病児・病後児保育」の意味の認知状況



「病児・病後児保育」の意味の認知状況を見ると、「知っている」が70.6%、「知らない」が27.4%となっています。

(2) 病気やケガで学校を休んだことの有無

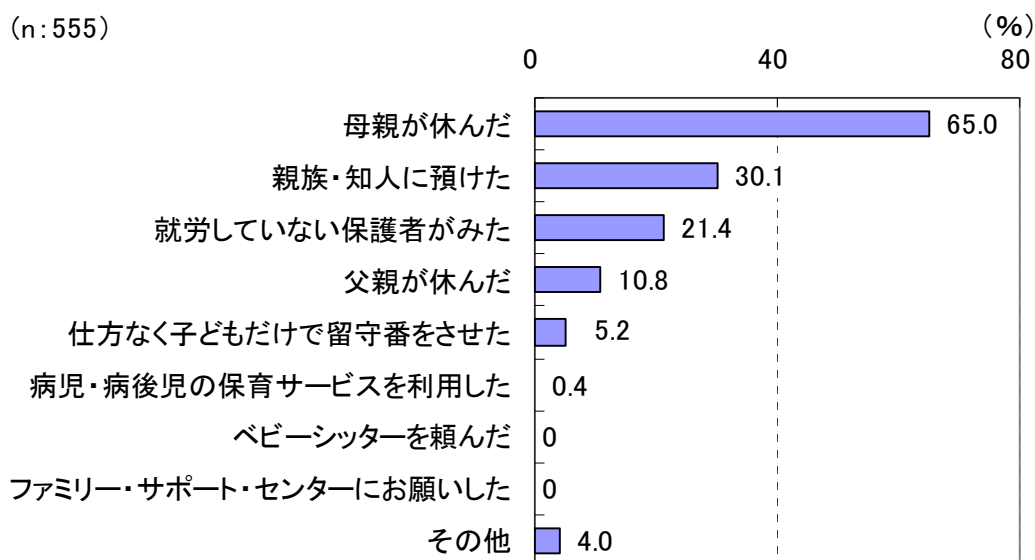
問 23① この1年間に、宛名のお子さんが病気やケガで学校を休まなければならなかったことはありますか。あてはまる答えの番号に1つだけ○をつけてください。



この1年間に病気やケガで学校を休んだことがあるかをみると、「あった」が58.4%、「なかった」が40.2%となっています。

(3) 病気やケガで学校を休んだ際の対処方法

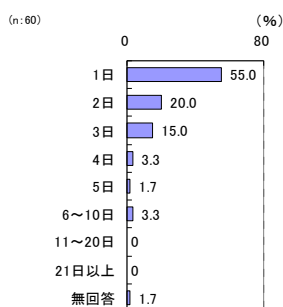
問 23② 問 23①で「1. あった」に○をつけた方のみ
この1年間どのように対処しましたか。また、それぞれの日数はどのくらいありましたか。あてはまる答えの番号すべてに○をつけ、それぞれの日数を記入してください。半日程度についても1日としてカウントしてください。



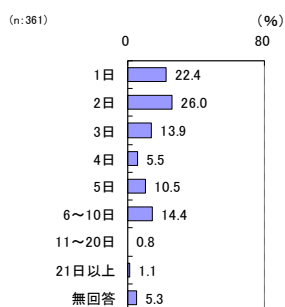
子どもが病気やケガで学校を休まなければならないことがあったと回答した555人に、1年間における対処方法をたずねたところ、「母親が休んだ」が65.0%で最も多く、次いで、「親族・知人に預けた」(30.1%)、「就労していない保護者がみた」(21.4%)、「父親が休んだ」(10.8%)などとなっています。

■ 1年間の対処方法別日数

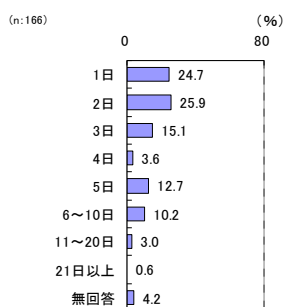
●父親が休んだ



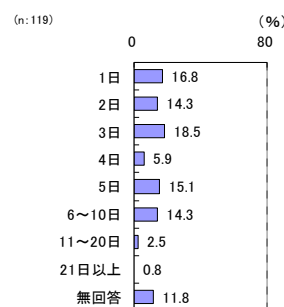
●母親が休んだ



●親族・知人に預けた



●就労していない保護者がみたら



●病児・病後児の保育サービスを利用した

3日：2人

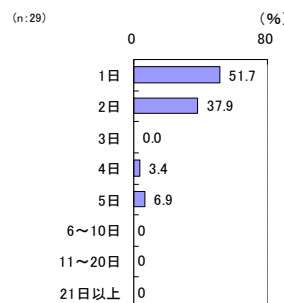
●ベビーシッターを頼んだ

回答者なし

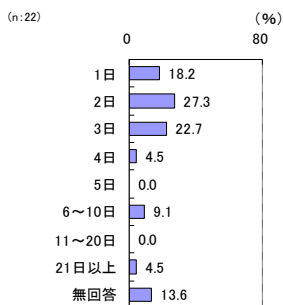
●ファミリー・サポート・センターにお願いした

回答者なし

●仕方なく子どもだけで留守番をさせた



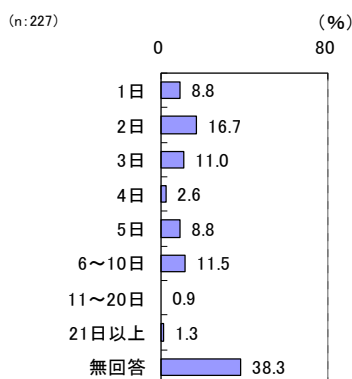
●その他



(4) 病児・病後児保育施設等の利用希望

問 24 問 23 の②で「1」～「3」を選ばれた方にお伺いします
 その際、できれば施設に預けたいと思われた日数はどれくらいありますか。枠内に日数を記入してください。

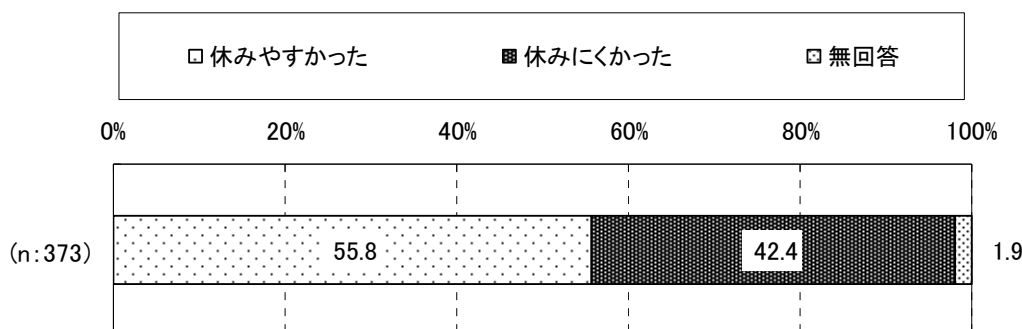
■ 病児・病後児保育施設等を利用したい日数



病児・病後児のための保育施設を利用したいと思ったかをみると、「2日」、「6～10日」、「2日」の割合が高くなっています。

(5) 親が休んだときの職場環境

問 25 問 23 の②で「1」～「2」を選ばれた方にお伺いします
 父親または母親が休んだときの職場環境は休みが取りやすかったですか。あてはまる答えの番号に1つだけ○をつけてください。



父親または母親が休んだときの職場の状況では「休みやすかった」が55.8%と半数以上となっていますが、逆に「休みにくかった」が42.4%となっています。

(6) 病児・病後児保育の満足度

問26 問23の②で「5」を選ばれた方にお伺いします

「病児・病後児保育」の利用に満足していますか。「満足」「やや満足」「どちらでもない」「やや不満」「不満」のいずれかに○をつけてください。

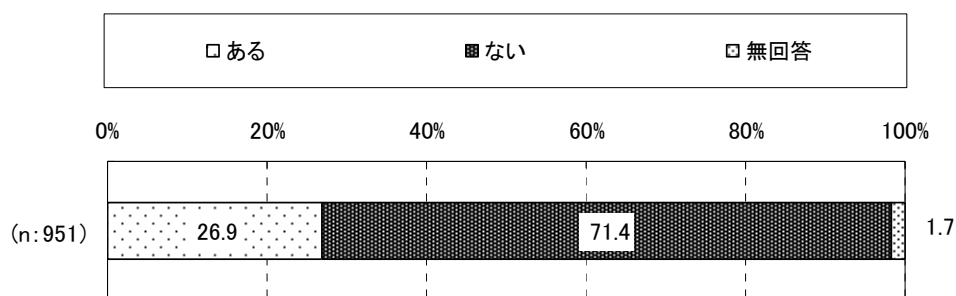
2人の回答があり、1名が「どちらでもない」、1名が「不満」と回答しています。

5. 一時預かりについて

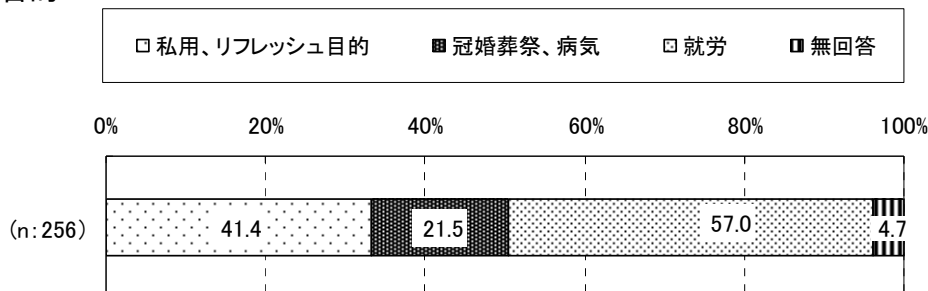
(1) 私用等の目的での一時預かりの有無

問 27 この1年間で、私用（買物、習い事、スポーツ、会合、美容院など）やリフレッシュ目的、冠婚葬祭や病気、あるいは就労のため、お子さんを家族以外の誰かに一時的に預けたことはありましたか。あてはまる答えの番号に1つだけ○をつけてください。「1. ある」を選ばれた方は、枠内に日数を記入してください。半日程度についても1日としてカウントしてください。

■一時預かりの利用有無



■利用目的

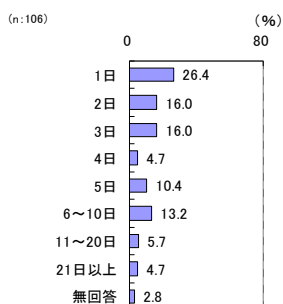


1年間に私用等の目的で「一時預かり」の利用有無を見ると「ある」が26.9%となっています。

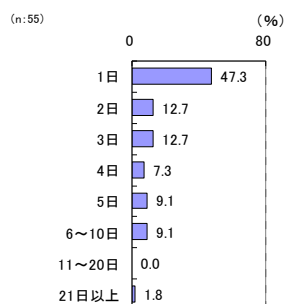
利用目的では、「就労」が57.0%、「仕様、リフレッシュ目的」が41.4%、「冠婚葬祭、病気」が21.5%となっています。

■一時預かりの利用日数

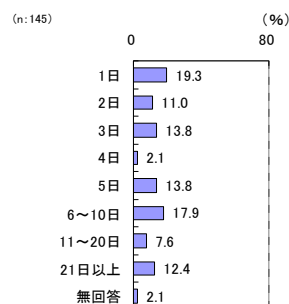
●私用、リフレッシュ目的



●冠婚葬祭、病気



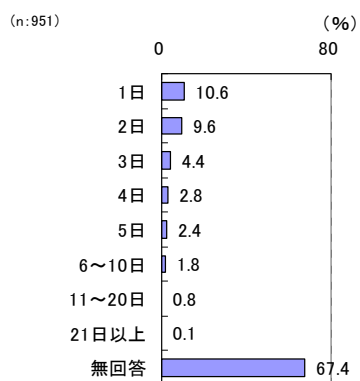
●就労



(2) 今後の一時預かりの希望

問 28 一時預かりを今は必要としていないが後日必要になるかもしれない、あるいは、日数を増やしたいと思いませんか。希望がある方は枠内に日数を記入してください。

■月あたりの利用希望日数

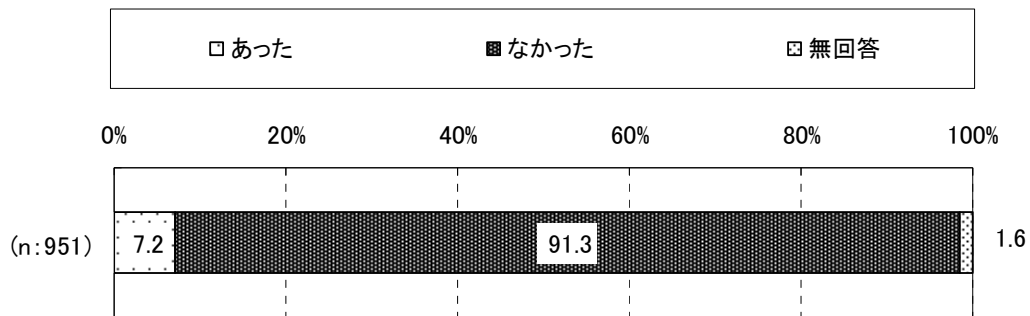


一時預かりを今は必要としていないが後日必要になるかもしれない、あるいは、増やしたいと思う日数をみると、「1日」が10.6%で最も多くなっています。

6. 宿泊を伴う一時預かりについて

(1) 宿泊を伴う一時預かりの有無

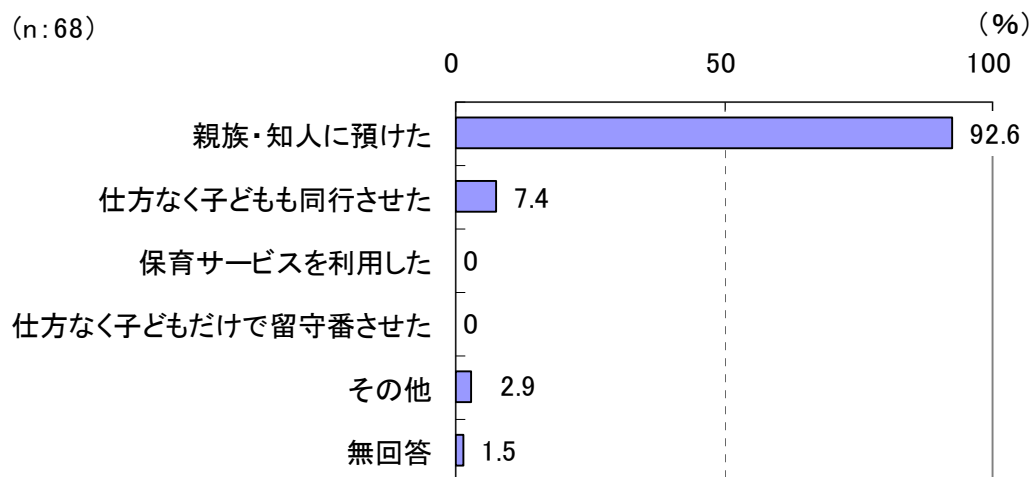
問 29① この1年間に、保護者の用事などにより、お子さんを泊まりがけで家族以外に預けなければならないことはありましたか。あてはまる答えの番号に1つだけ○をつけてください。



この1年間に、保護者の用事などにより、お子さんを泊まりがけで家族以外に預けなければならないことがあったか尋ねたところ、「あった」が7.2%となっています。

(2) 宿泊を伴う一時預かりの有無

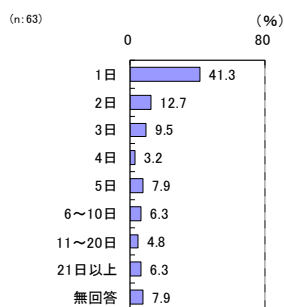
問 29② ①で「1」とお答えの方にお伺いいたします。この1年間どのように対処しましたか。あてはまる答えの番号すべてに○をつけ、それぞれの泊数を記入してください。また、「親族・知人に預けた」場合の頼みやすさはどの程度でしたか。あてはまる答えの番号に1つだけ○をつけてください。



対処方法では「親族・知人に預けた」が92.6%となっています。

■ 対処方法別泊数

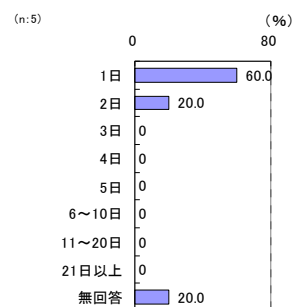
● 親族・知人に預けた



● 保育サービスを利用した

回答者無し

● 仕方なく子どもも同行させた



● 子どもだけで留守番をさせた

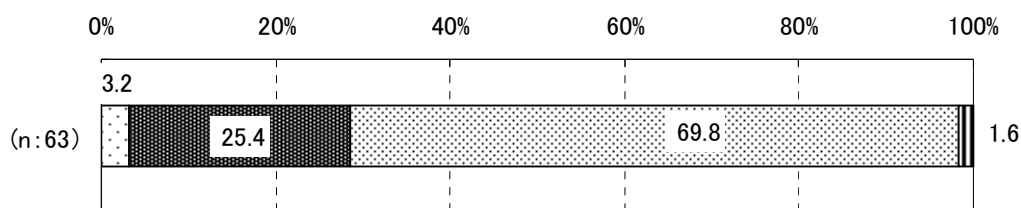
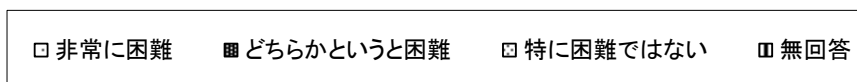
た

回答者無し

● その他

回答者無し

■ 親族・知人に預けた際の頼みやすさ

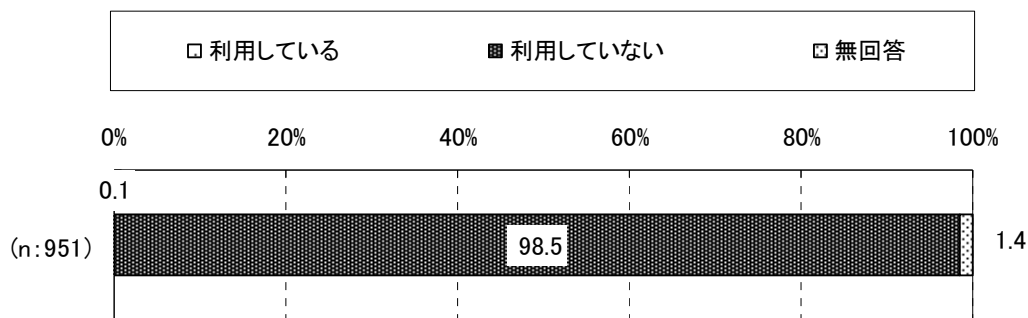


親族・知人に預けた際の頼みやすさをみると「特に困難ではない」が69.8%となっていますが、「非常に困難」が3.2%、「どちらかというと困難」が25.4%となっています。

7. ベビーシッターの利用について

(1) ベビーシッターの利用の有無

問30 ベビーシッターを利用していますか。



ベビーシッターの利用状況では、1人の利用があります。

(2) ベビーシッターの利用目的

問31 問30で「1」を選ばれた方にお伺います
 どのような目的で利用していらっしゃいますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください
 回答無し

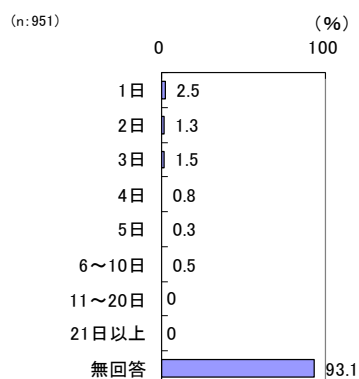
(3) ベビーシッターの利用頻度

問32 問30で「1」を選ばれた方にお伺います
 どれくらいの頻度で利用していらっしゃいますか。枠内に数字をご記入ください。
 月に3日の利用。
 1回あたり2時間程度の利用。

(4) ベビーシッターの今後の利用希望

問33 今は利用していないが、できれば利用したい、あるいは、利用日数・回数を増やしたい
 と思いますか。希望がある方は枠内に数字をご記入ください。

●今後の月当たりの利用希望日数



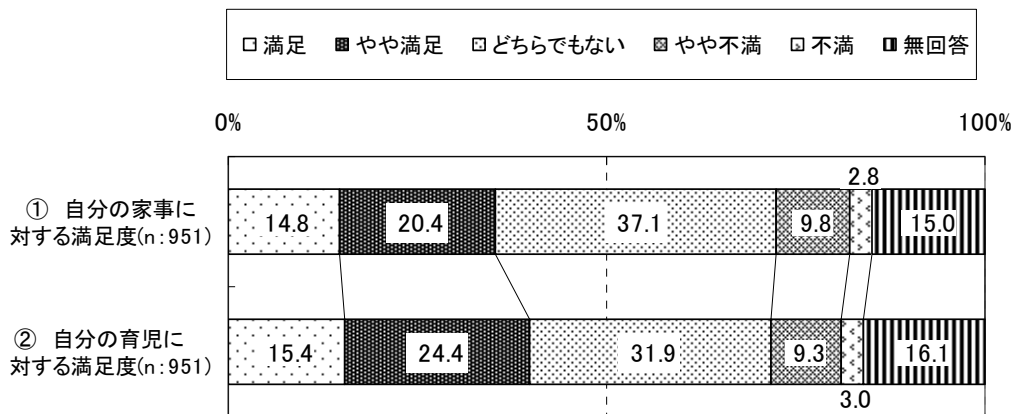
ベビーシッターの今後の月当たりの利用希望日数
 では、1日から5日程度が6.9%となっています。

8. 家事・育児について

(1) 自分の家事・育児に関する満足度

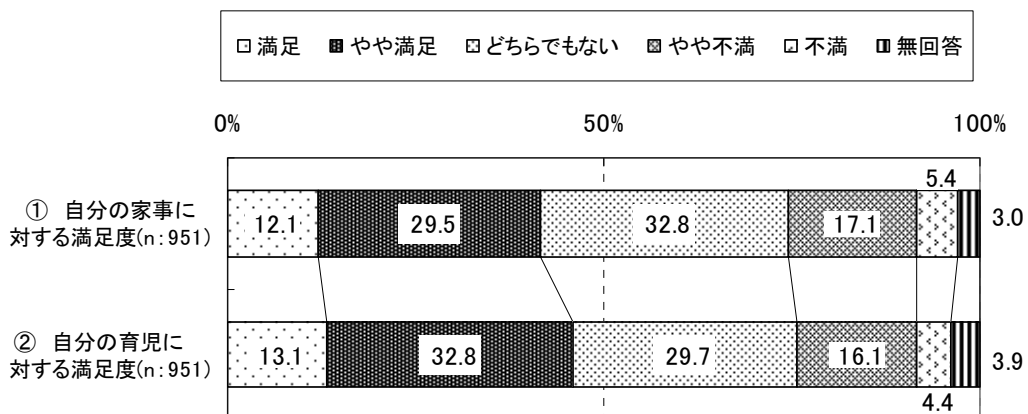
問 34 ご自分の家事・育児に関する現在の満足度はどうですか。いずれか1つに○をつけてください。

(1) 父親



父親の自分の家事に対する満足度は35.2%（「満足」(14.8%)と「やや満足」(20.4%)の合計)で育児に対する満足度は39.8%（「満足」(15.4%)と「やや満足」(24.4%)の合計)で育児が家事の満足度を上回っています。

(2) 母親

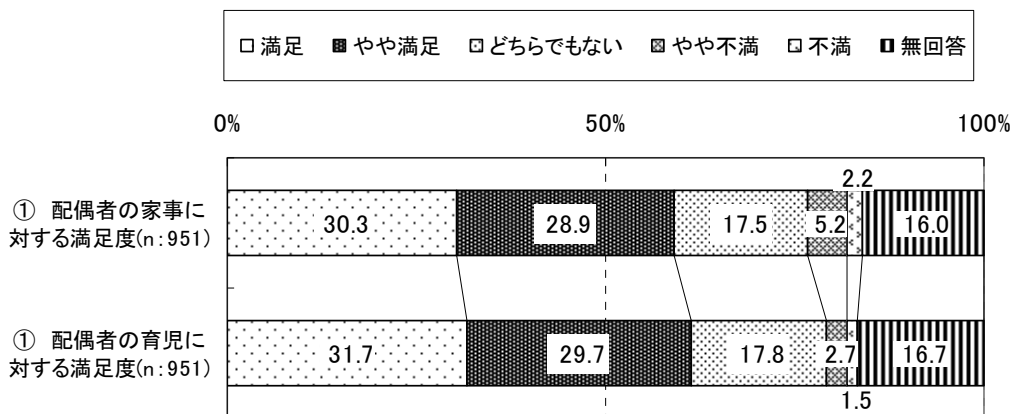


母親の自分の家事に対する満足度は41.6%（「満足」(12.1%)と「やや満足」(29.5%)の合計)で育児に対する満足度は45.9%（「満足」(13.1%)と「やや満足」(32.8%)の合計)で育児が家事の満足度を上回っています。

(2) 配偶者の家事・育児に関する満足度

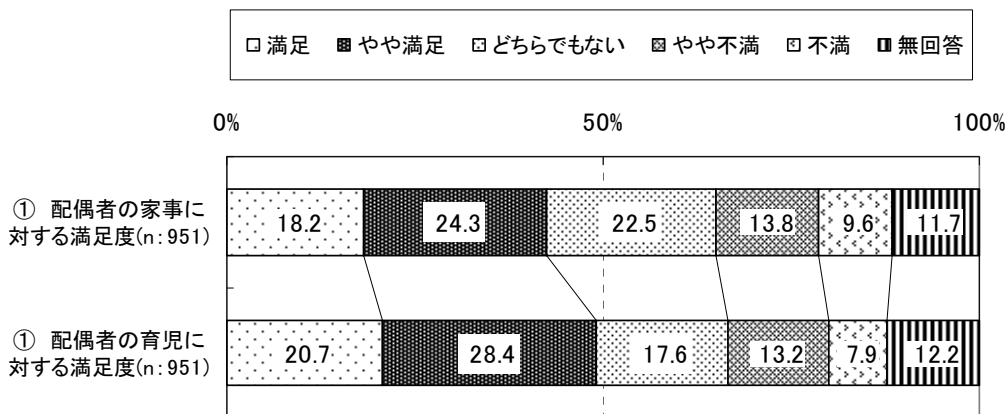
問 35 配偶者の家事・育児に対する満足度はどうですか。いずれか1つに○をつけてください。

(1) 父親



父親の配偶者の家事に対する満足度は59.2%（「満足」(30.3%)と「やや満足」(28.9%)の合計)で育児に対する満足度は61.4%（「満足」(31.7%)と「やや満足」(29.7%)の合計)で育児が家事の満足度を上回っています。

(2) 母親



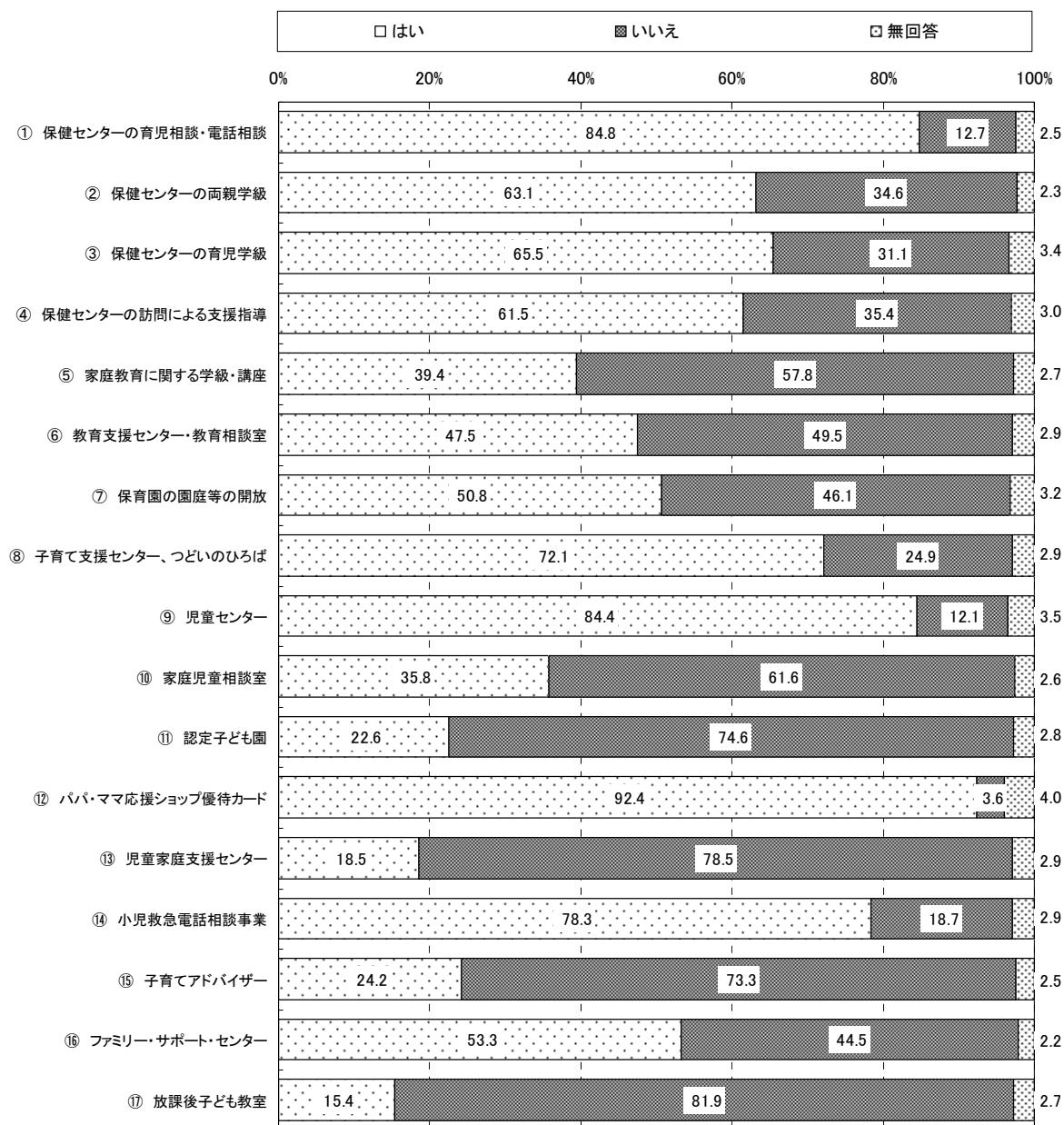
母親の配偶者の家事に対する満足度は42.5%（「満足」(18.2%)と「やや満足」(24.3%)の合計)で育児に対する満足度は49.1%（「満足」(20.7%)と「やや満足」(28.4%)の合計)で育児が家事の満足度を上回っています。

9. 子育て支援サービスについて

(1) 子育て支援サービスについて

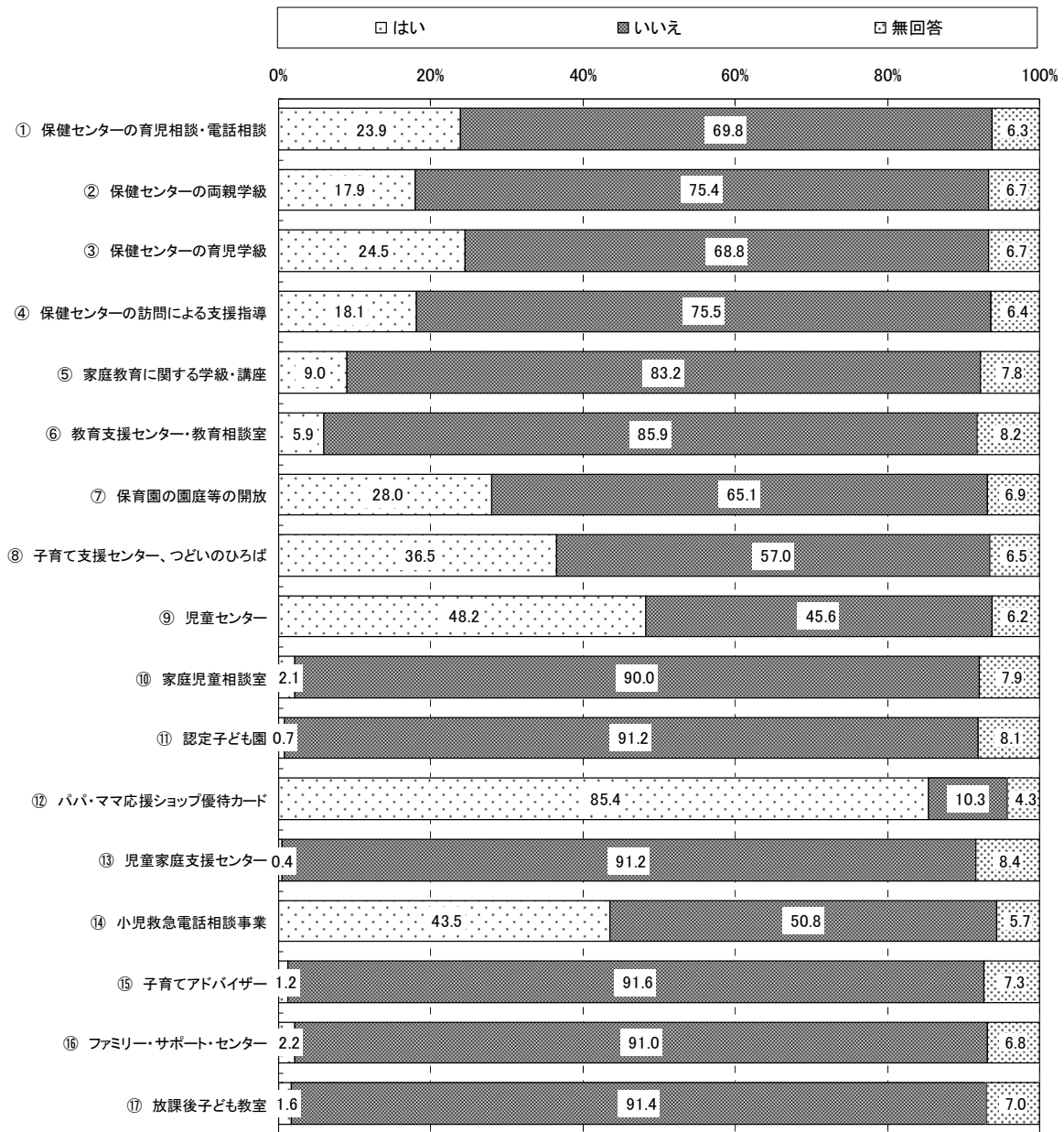
問 36 下記のサービスを知っていたり、これまでに利用したことはありますか。また、今後、利用したいと思いますか。サービスごとに、A～Cのそれぞれについて、「はい」、「いいえ」のどちらかに○をつけてください。

■ 認知状況（知っている）



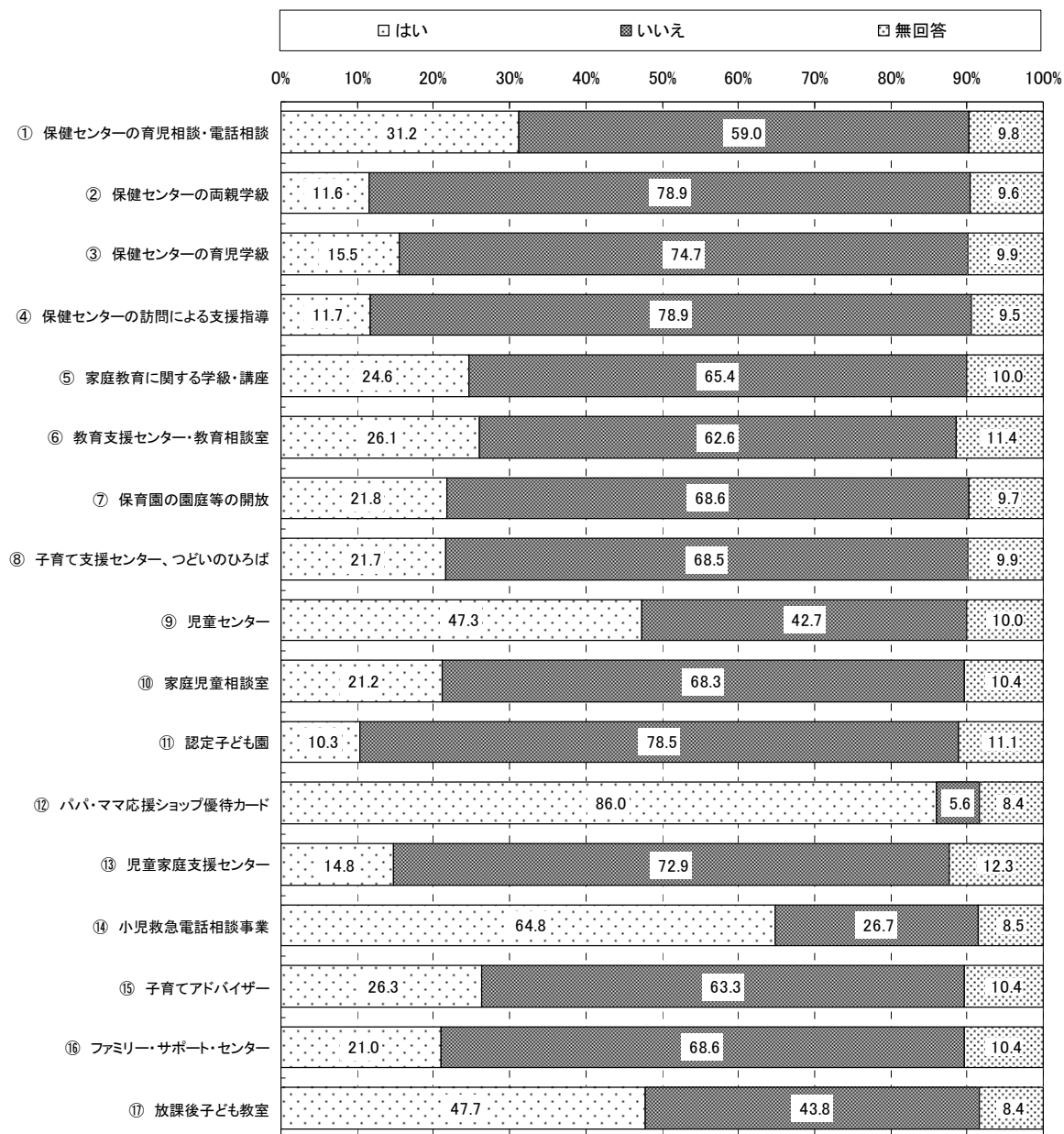
認知状況では、割合が高い順に「⑫ パパ・ママ応援ショップ優待カード」、「① 保健センターの育児相談・電話相談」、「⑨ 児童センター」、「⑭ 小児救急電話相談事業」、「⑧ 子育て支援センター、つどいのひろば」の順となっています。

■利用状況（これまでに利用したことがある）



利用状況では、割合が高い順に「⑫ パパ・ママ応援ショップ優待カード」、「⑭ 小児救急電話相談事業」、「⑰ 放課後子ども教室」、「⑨ 児童センター」、「① 保健センターの育児相談・電話相談」の順となっています。

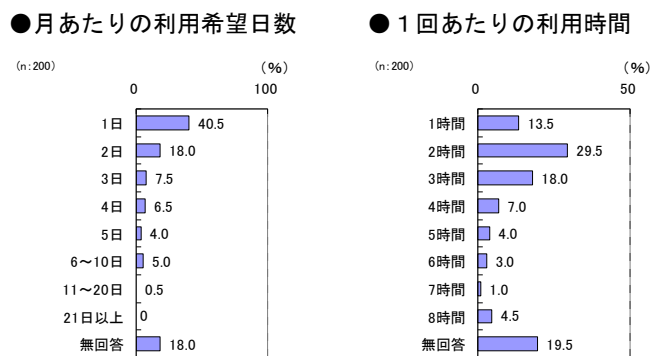
■利用意向（今後利用したい）



利用意向では、割合が高い順に「⑫ パパ・ママ応援ショップ優待カード」、「⑨ 児童センター」、「⑭ 小児救急電話相談事業」、「⑧ 子育て支援センター、つどいのひろば」、「⑦ 保育園の園庭等の開放」の順となっています。

(2) ファミリー・サポート・センターの利用希望

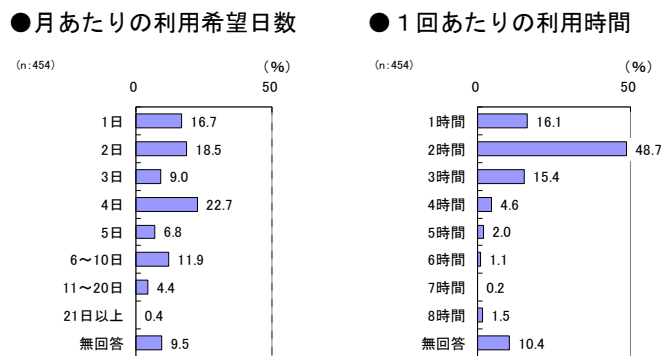
問 37 問 36 の⑯で「今後利用したい」に『はい』と回答した方にお伺いします
どのくらいの頻度で利用したいと思いますか。枠内に数字をご記入ください。



「ファミリー・サポート・センター」を今後利用したいと回答した 200 人の月当たりの利用回数では「1にち」が最も多く、1回あたりの時間では「2時間」が最も多くなっています。

(3) 放課後子ども教室の利用希望

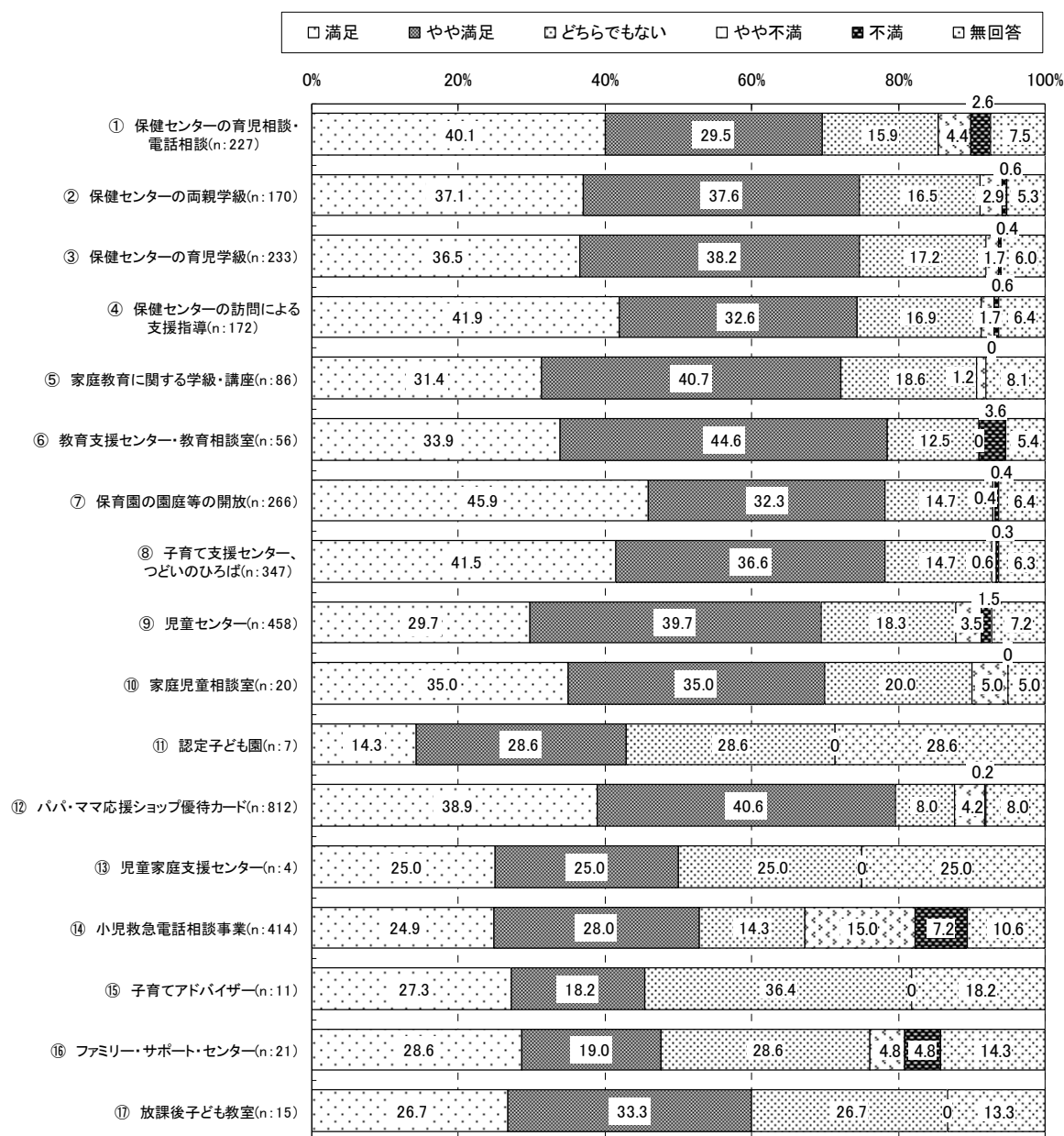
問 38 問 36 の⑰で「今後利用したい」に『はい』と回答した方にお伺いします
どのくらいの頻度で利用したいと思いますか。枠内に数字をご記入ください。



「放課後こども教室」を今後利用したいと回答した 454 人の月当たりの利用回数では「4にち」が最も多く、1回あたりの時間では「2時間」が最も多くなっています。

(4) 子育て支援サービスの満足度

問 39 問 36 で「これまでに利用したことがある」に『はい』と回答した方にお伺いします
 利用に満足していますか。「満足」「やや満足」「どちらでもない」「やや不満」「不満」のい
 ずれかに○をつけてください。



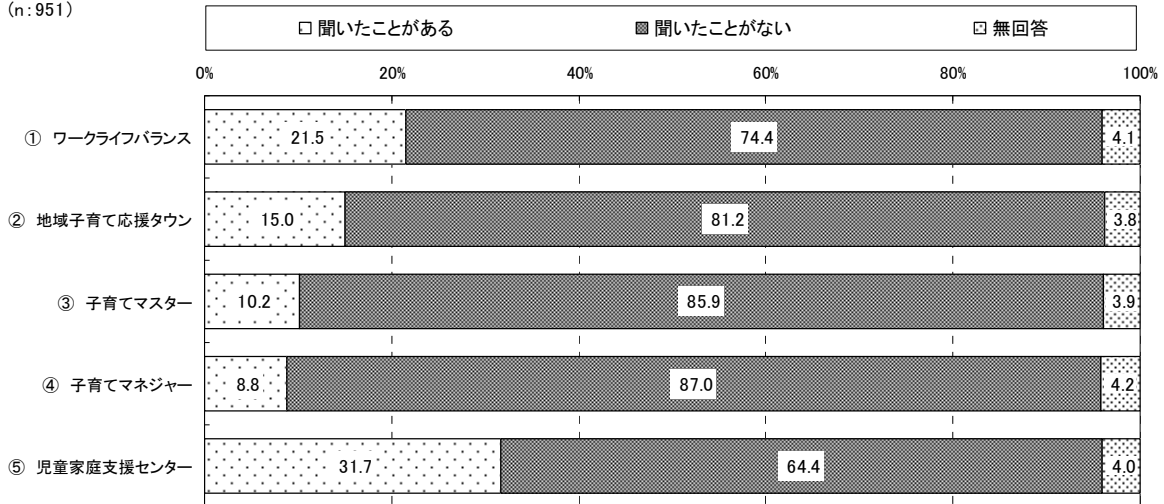
満足度（「満足」と「やや満足」の合計）の多い順に「⑫ パパ・ママ応援ショップ優待カード」、「⑥ 教育支援センター・教育相談室」、「⑦ 保育園の園庭等の開放」、「⑧ 子育て支援センター、つどいのひろば」、「② 保健センターの両親学級」、「③ 保健センターの育児学級」となっています。

(5) 子育て支援に関する言葉の認知度

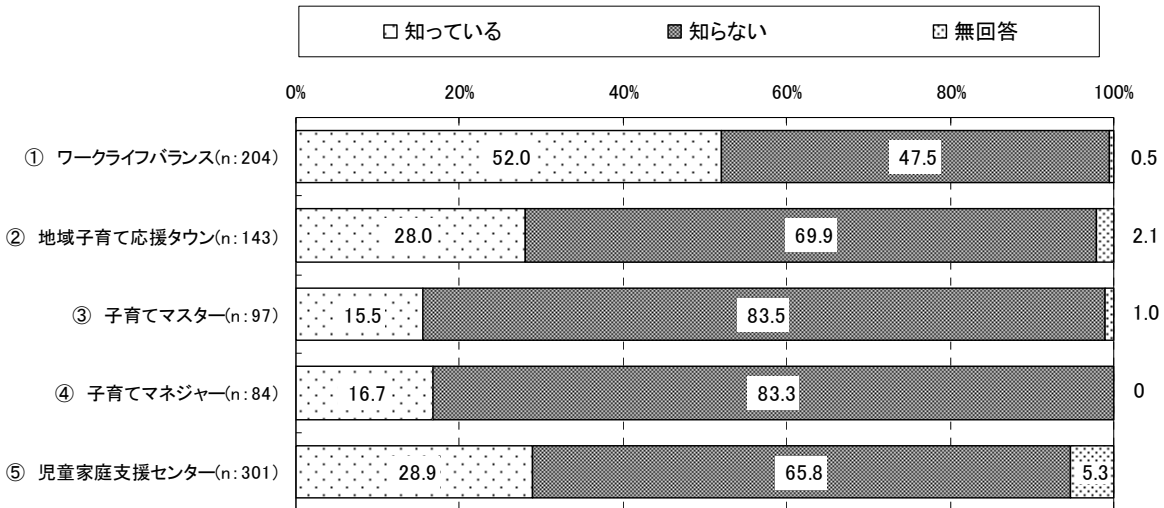
問 40 子育て支援に関係する、下記の言葉を聞いたことがありますか。また、聞いたことがある方は、意味をご存じですか。「知っている」「知らない」のどちらかに○をつけてください。

■ 認知度

(n: 951)



■ 意味の理解

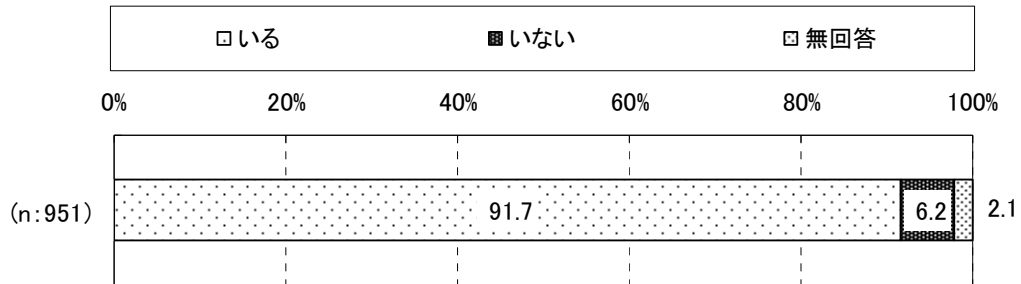


子育て支援に関する言葉の認知度では「⑤ 児童家庭支援センター」が最も多く、言葉の意味の理解度では「① ワークライフバランス」が最も多くなっています。

10. 地域医療について

(1) かかりつけ医の有無

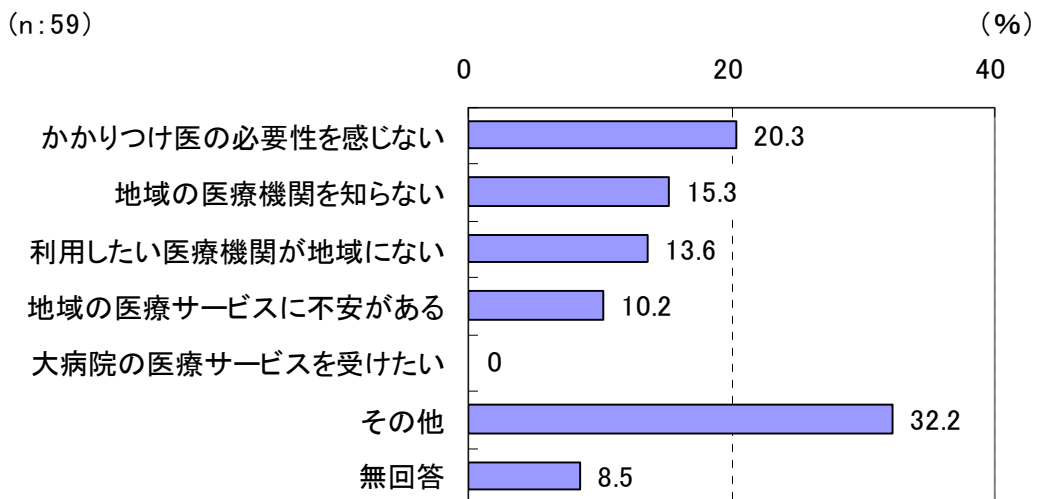
問 41 お子さんにかかりつけ医はいますか。「いる」「いない」のどちらかに○をつけてください。



かかりつけ医の状況は、「いる」が91.7%、「いない」は6.2%となっています。

(2) かかりつけ医がない理由

問 42 問 41 で「2」を選ばれた方にお伺いします
現在いない理由はどのようなことですか。次の中からもっともあてはまるものを1つだけ選んで○をつけてください。



かかりつけ医がない理由では、「かかりつけ医の必要性を感じない」、「地域の医療機関を知らない」、「利用したい医療機関が地域にない」が上位に挙げられています。

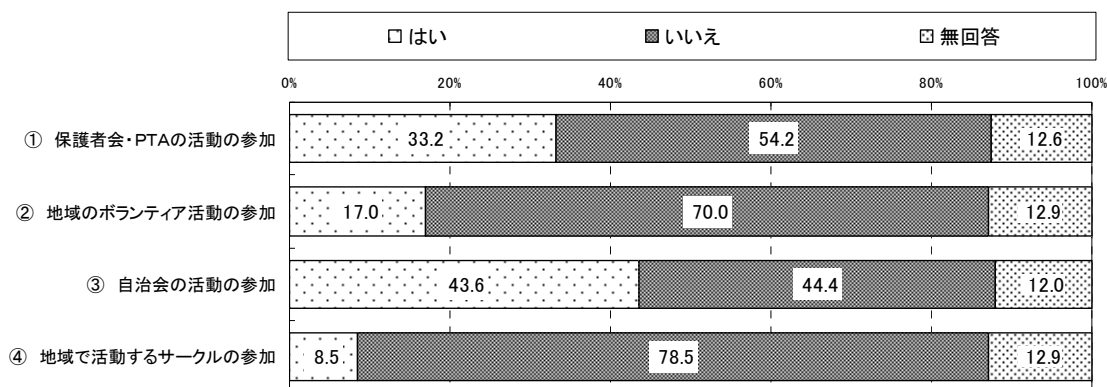
11. 地域社会への関わりについて

(1) 地域活動への参加状況

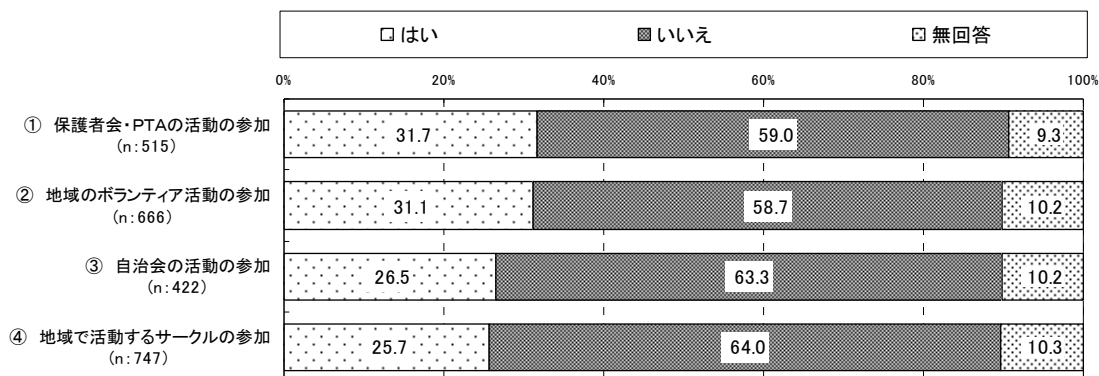
問 43 下記の行事や組織に参加していますか。また、参加していないが、今後参加したいとお考えですか。それぞれについて、「はい」、「いいえ」のどちらかに○をつけてください。また、「今後参加したいですか」で「2. いいえ」を選んだ方は理由もお書きください

(1) 父親

■現在の参加状況



■今後の参加意向

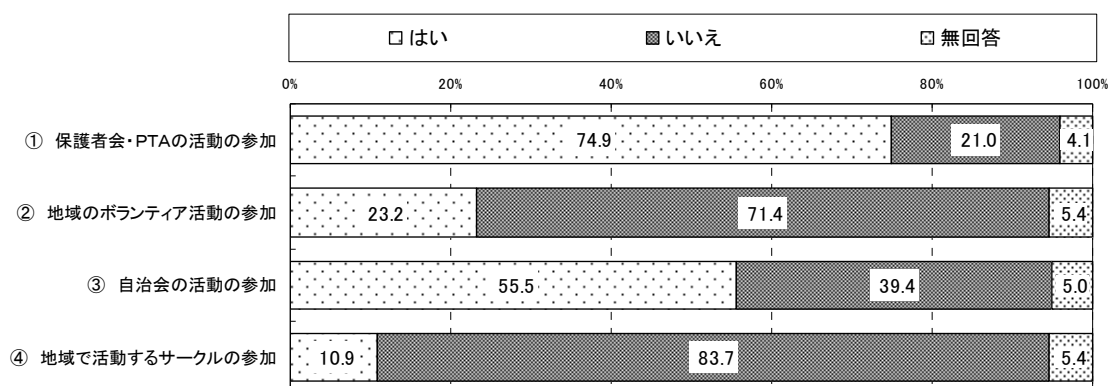


父親の地域の行事や組織への参加状況では、「③ 自治会の活動の参加」が43.6%で最も多く、次いで「① 保護者会・PTAの活動の参加」が33.2%となっています。

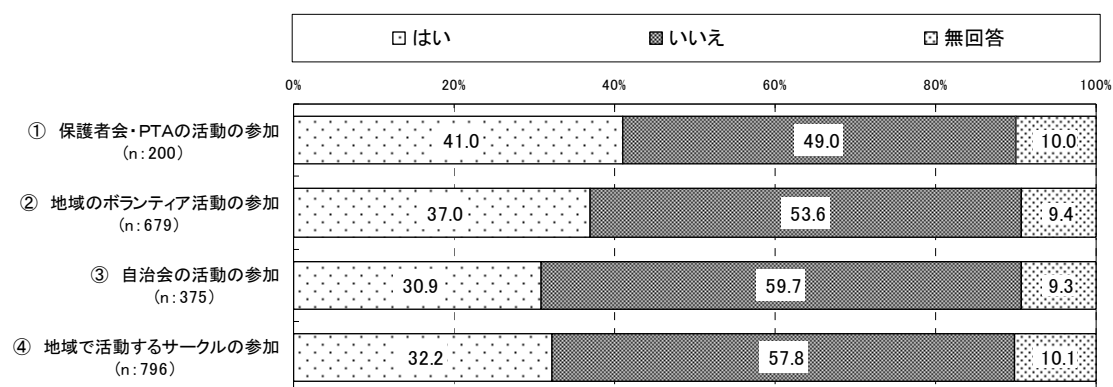
また、現在参加していない行事・組織への今後の参加意向では「① 保護者会・PTAの活動の参加」、「② 地域のボランティア活動の参加」が多くなっています。

(2) 母親

■現在の参加状況



■今後の参加意向



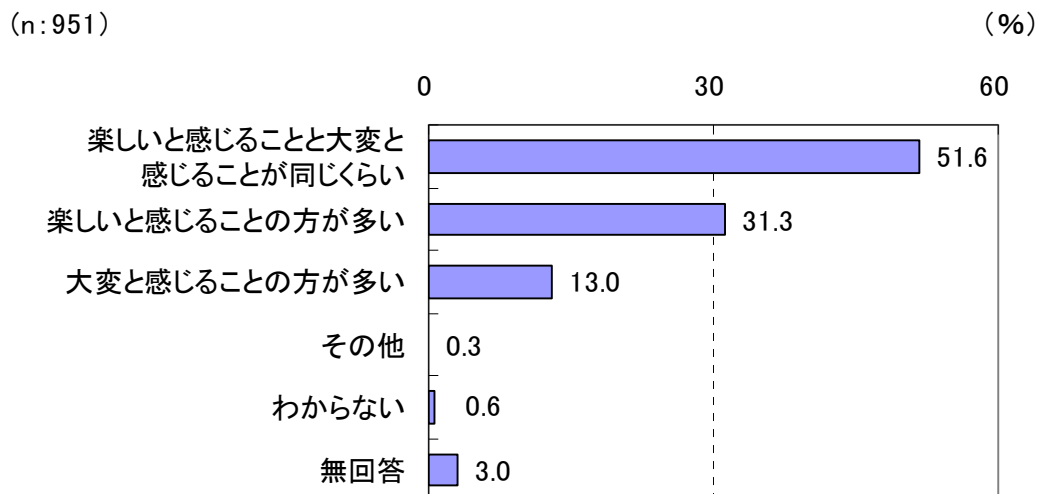
母親の地域の行事や組織への参加状況では、「① 保護者会・PTAの活動の参加」が74.9%で最も多く、次いで「③ 自治会の活動の参加」55.5%となっています。

また、現在参加していない行事・組織への今後の参加意向では「① 保護者会・PTAの活動の参加」、「② 地域のボランティア活動の参加」が多くなっています。

12. 子育ての楽しさなどについて

(1) 子育ての楽しさ

問 44 あなたは、自分にとって子育てを楽しいと感じるときが多いと思いますか。それとも大変と感じるときが多いと思いますか。あてはまる答えの番号に1つだけ○をつけてください。



子育てについて「楽しい」か「大変」であるか尋ねたところ、「楽しいと感じることと大変と感じることが同じくらい」が51.6%となっています。

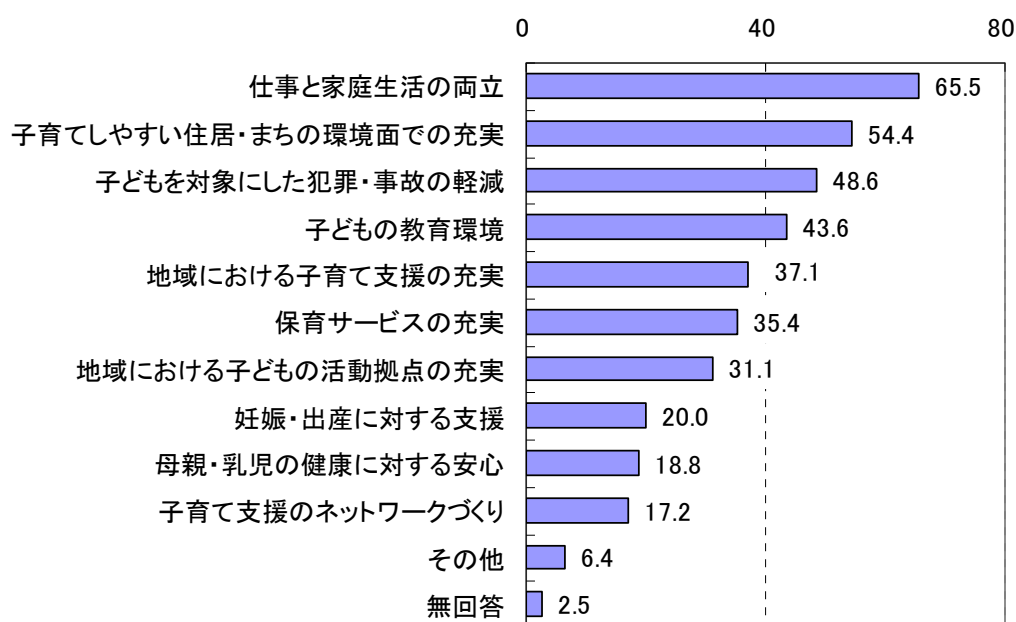
(2) 有効だと思う子育て支援・対策

問 45 問 44 で「1」～「3」を選ばれた方にお伺いします

子育てをする中で、どのような支援・対策が有効(自分にとって子育ての大変さを解消するために必要なこと)と感じますか。あてはまる答えの番号すべてに○をつけてください。

(n:913)

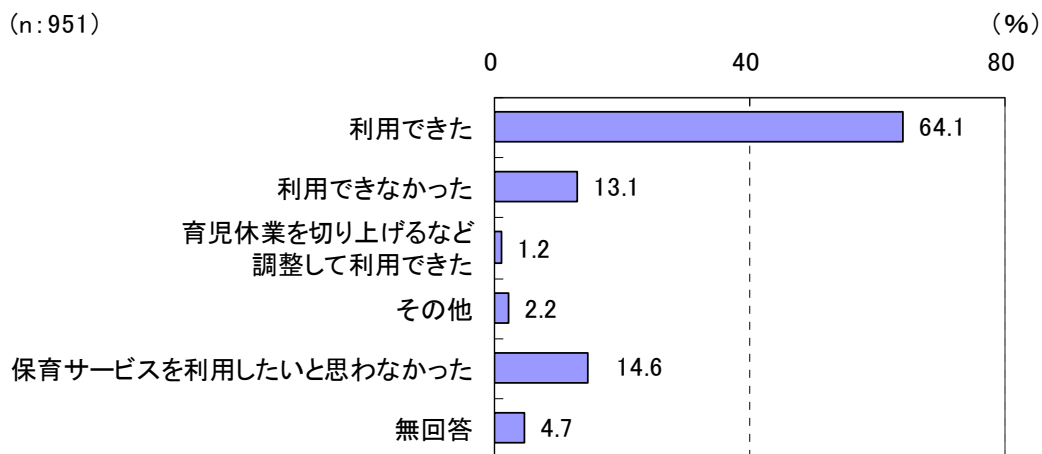
(%)



前問で「楽しいと感じることの方が多い」、「楽しいと感じることと大変と感じることが同じくらい」、「大変と感じることの方が多い」と回答した方に、子育てをする中で、どのような支援・対策が有効(自分にとって子育ての大変さを解消するために必要なこと)と感じますか尋ねたところ、「仕事と家庭生活の両立」、「子育てしやすい住居・まちの環境面での充実」を半数以上が挙げています。

(3) 希望した時期に保育サービスを利用できたか

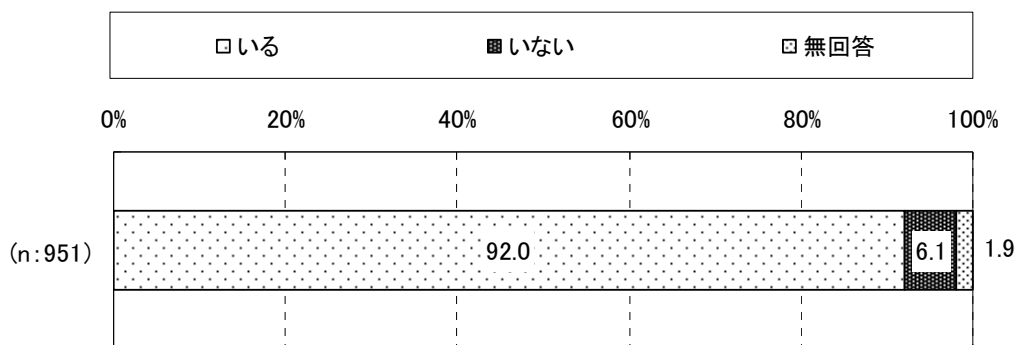
問 46 あなたは、希望した時期に、希望した保育サービスを利用することができましたか。あてはまる答えの番号に1つだけ○をつけてください。また、「2」を選んだ方は、どのように調整したか内容を具体的に記述してください。



希望した時期に、希望した保育サービスを利用することができたか尋ねたところ、「利用できた」が64.1%となっています。

(4) 子育てについての相談相手の有無

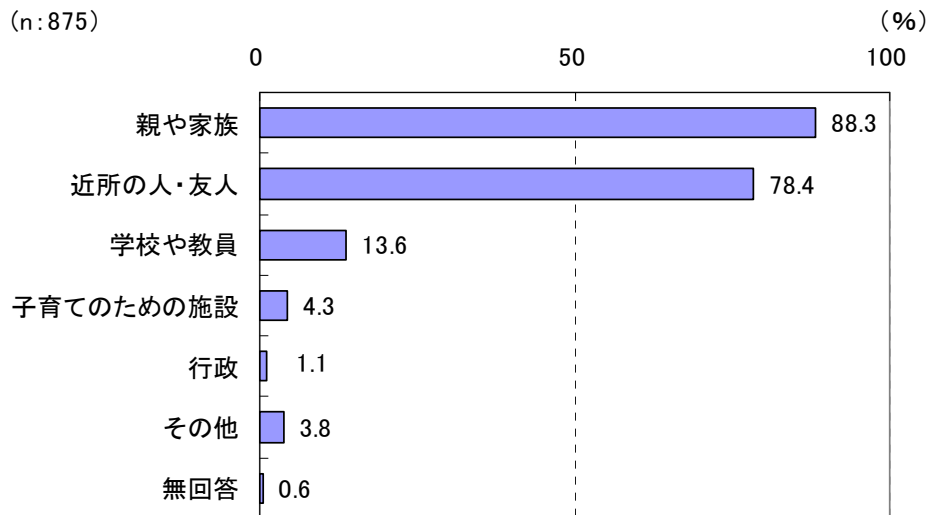
問 47 あなたには、子育てについて、気軽に相談できる人（近所の人・友人等）がいますか。「いる」「いない」のどちらかに○をつけてください。



子育てについて気軽に相談できる人の有無では、「いる」が92.0%となっています。

(5) 子育てについての相談相手

問 48 問 47 で「1」を選ばれた方にお伺いします
 気軽に相談できる人はどなたですか。あてはまる答えの番号すべてに○をつけてください。

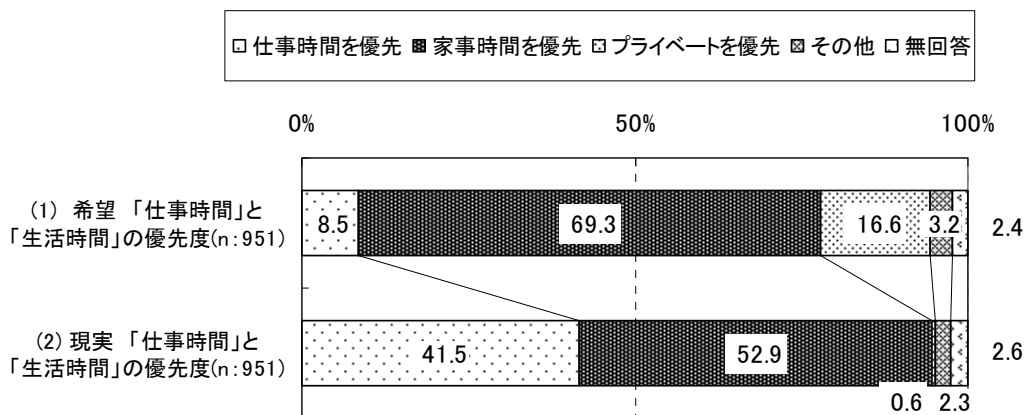


子育てについて気軽に相談できる人がいると回答した方に具体的に尋ねたところ。「親や家族」が88.3%で最も多く、次いで「近所の人、友人」が78.4%となっています。

13. 「仕事時間」と「生活時間」の優先度について

(1) 「仕事時間」と「生活時間」の優先度

問 49 あなたは、自分にとって子育てを楽しんでいると感じるときが多いと思いますか。それとも大変と感じるときが多いと思いますか。あてはまる答えの番号に1つだけ○をつけてください。

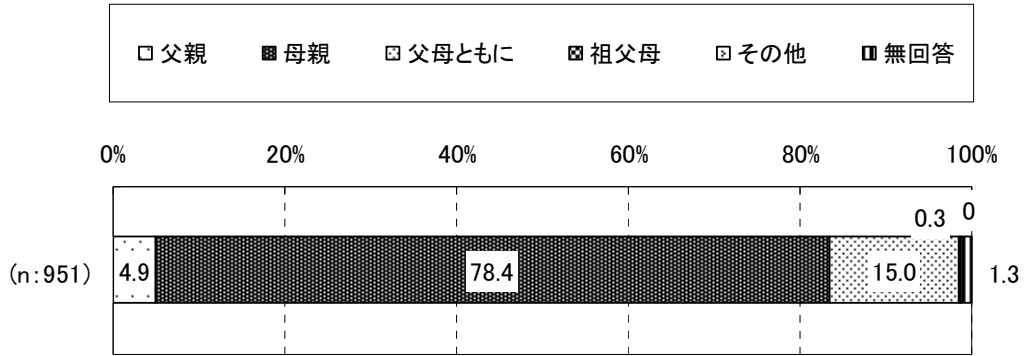


「仕事時間」と「生活時間」の優先度では「仕事時間を優先」は「希望」では8.5%で「現実」では41.5%と現実の「仕事時間優先」のウエイトが大きくなっています。

14. その他

(1) 調査票回答者

問 50 この調査にはどなたがご回答くださいましたか。あてはまる答えの番号に1つだけ○をつけてください。お子さんからみた続柄でお答えください。



今回の調査票の回答者は「母親」が78.4%と圧倒的に多く、「父母ともに」は15.0%、「父親」は4.9%となっています。

資料編 アンケート調査票

本庄市子ども子育てニーズ調査
調査報告書

発行／本庄市
編集／本庄市福祉部子育て支援課
〒367-8501
本庄市本庄 3-5-3
TEL0495-25-1111（代表）
発行／平成 26 年 3 月
